

交 野 市
子ども・子育て支援事業計画に
かかるニーズ調査
集計結果

平成 26 年 2 月
交 野 市

目次

I. 調査の概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 実施要領.....	1
3 報告書の見方.....	1
II. 就学前児童保護者対象調査結果.....	2
1 家族構成や保護者の就労状況.....	2
2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	15
3 病気時の対応（平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）.....	21
4 平日に定期的に利用したい教育・保育事業の利用希望.....	25
5 教育・保育事業の土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望.....	26
6 育児休業など、仕事と子育ての両立.....	31
7 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	40
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用.....	49
9 地域の子育て支援サービス利用状況.....	54
10 市役所などへの要望.....	61
11 子どもの生活習慣.....	62
12 子育てを支援する生活環境整備や子どもの安全確保.....	64
13 子育てに対する意識.....	66
III. 小学生保護者対象調査結果.....	70
1 家族構成や保護者の就労状況.....	70
2 放課後児童会の利用状況.....	81
3 病気時の対応や不定期な一時預かりについて.....	96
4 仕事と子育ての両立について.....	102
5 市役所などへの要望.....	105
6 子どもの生活習慣.....	106
7 子どもの普段の過ごし方.....	108
8 地域での自然体験などへの参加.....	109
9 子育てを支援する生活環境整備や子どもの安全確保.....	111
10 子育てに対する意識.....	112

1. 調査の概要

1 調査目的

本市では、平成27年度から本格施行される予定である「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「交野市子ども・子育て会議」を設置し、子ども・子育て支援事業計画の策定など、新制度に向けた準備を進めているところです。

この度、本市では、計画策定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者の方を対象に子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況等を把握するために「子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査」を実施しました。

2 実施要領

- 調査地域 交野市全域
- 調査対象 交野市内在住の「未就学児」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）1,800人
交野市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者（小学生調査）1,200人
- 調査期間 平成25年12月19日～平成26年1月16日
- 調査方法 住民基本台帳を基に対象児童を持つ世帯を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収
- 回収結果 就学前児童調査：856件（回収率：47.6%）
小学生調査：564件（回収率：47.0%）

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N数（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 就学前児童保護者対象調査結果

1 家族構成や保護者の就労状況

問1 小学校区（単数回答）

- 回答者の小学校区は、「交野小学校」区が最も高く（14.1%）、次いで「郡津小学校」区（13.6%）、「倉治小学校」区（13.0%）となっています。

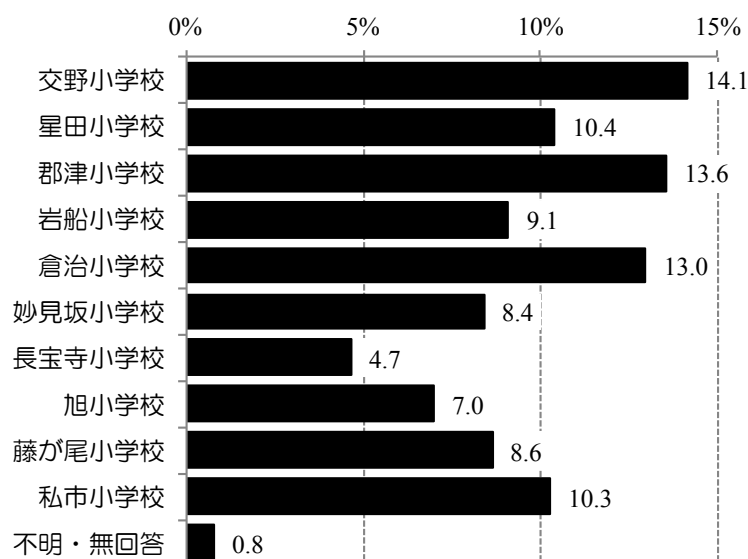


図 1 小学校区 (N=856)

問2 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（96.0%）。

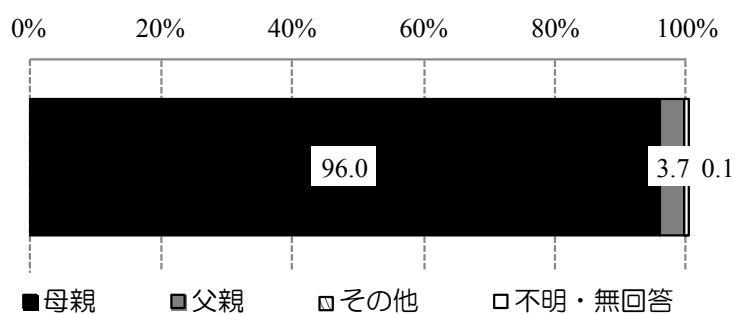


図 2 調査票記入者 (N=856)

問3 対象の子どもの年齢（数量回答）

- 子どもの年齢は、「1歳（H23.10-H24.9）」が最も高くなっています（19.2%）

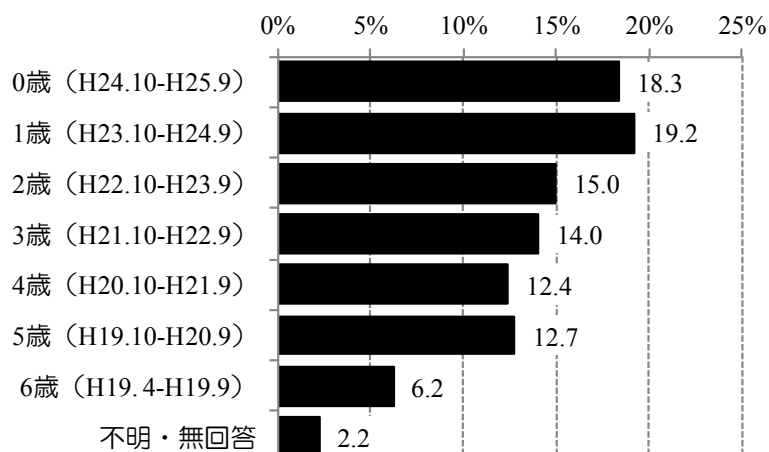


図 3 子どもの年齢 (N=856)

注) H25.10・11 生まれも 0 歳に含めている。

問4 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（45.9%）。
- 子どもが2人以上の場合、末子の年齢は、「0歳」が最も高くなっています（16.9%）。

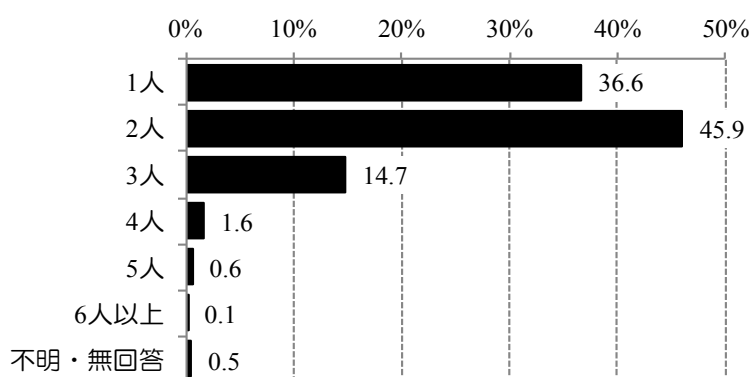


図 4 子どもの人数 (N=856)

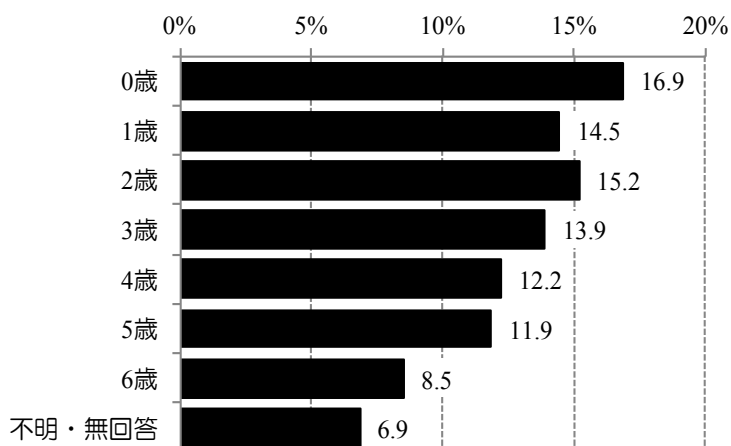


図 5 末子の年齢 (N=539)

問5 希望の子どもの人数（数量回答）

- 希望の子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（50.0%）。

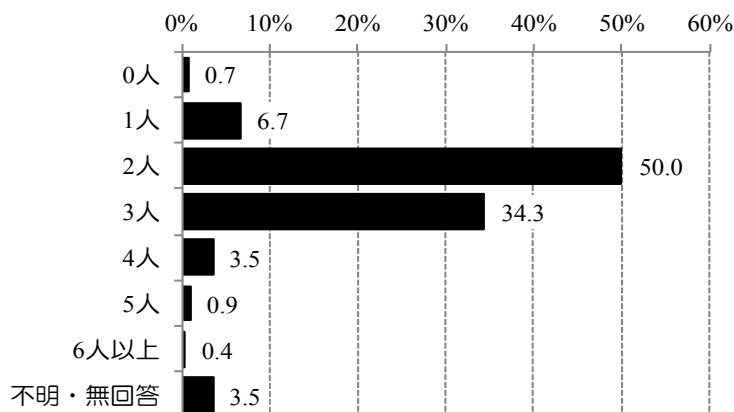


図 6 希望の子どもの人数 (N=856)

問6 もう1人以上の子どもの生みたいか（単数回答）

- もう1人以上の子どもの生みたいかは、約6割（57.7%）の方が「生みたいとは思わない」と回答しています。

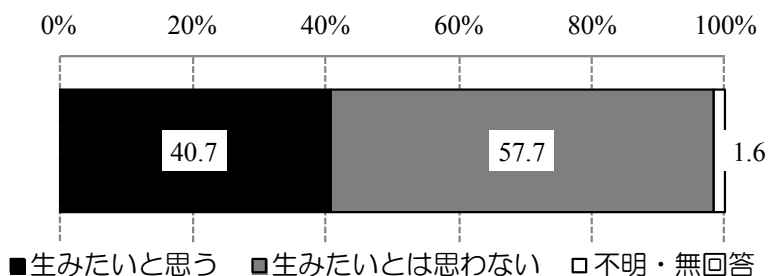


図 7 もう1人以上の子どもの生みたいか (N=856)

問6-1 どのような環境が整えば、子どもを生みたいと思うか（単数回答）

※ 問6で「生みたいとは思わない」と回答した方を集計

- どのような環境が整えば、子どもを生みたいと思うかは、「収入が増えれば生みたい」が最も高くなっています（44.7%）。

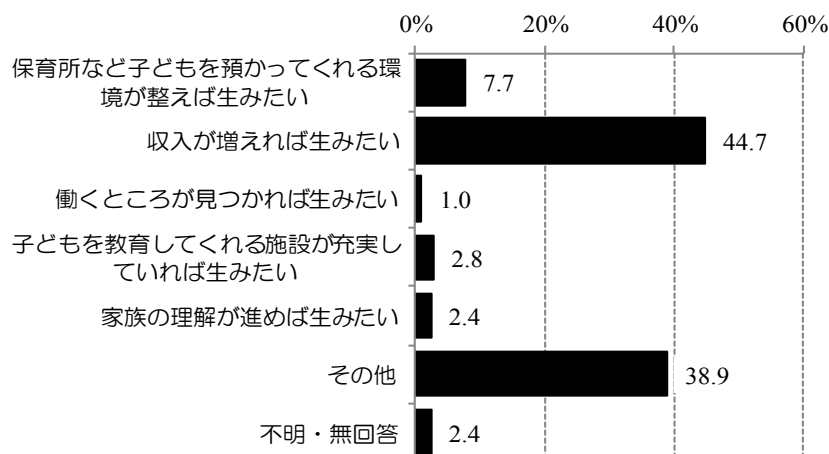


図 8 どのような環境が整えば、子どもを生みたいと思うか (N=494)

問7 家族構成（複数回答）

- 家族構成は、「父と母と一緒に住んでいる」が最も高く（91.5%）、次いで「祖母が近所に住んでいる」（32.8%）、「祖父が近所に住んでいる」（27.9%）となっています。

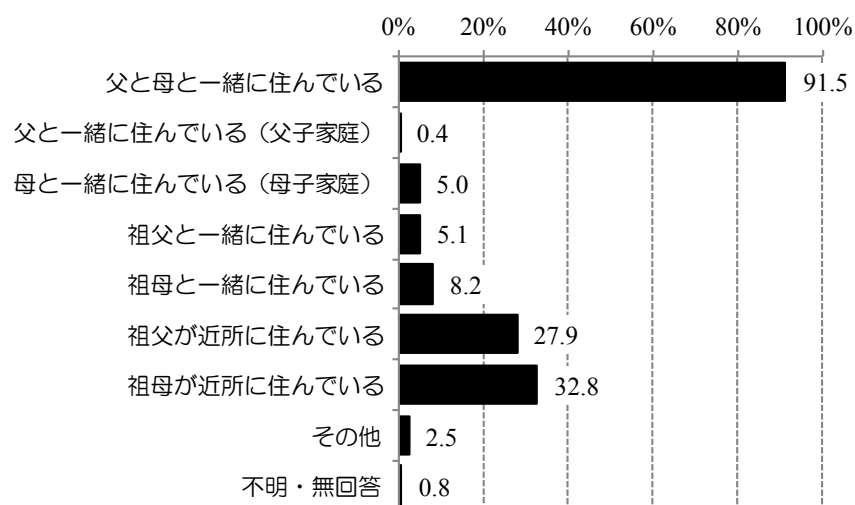


図 9 家族構成 (N=856)

問8 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育てを主に行っている人は、「父母とも」が最も高く（54.4%）、次いで「主に母親」となっています（43.9%）。

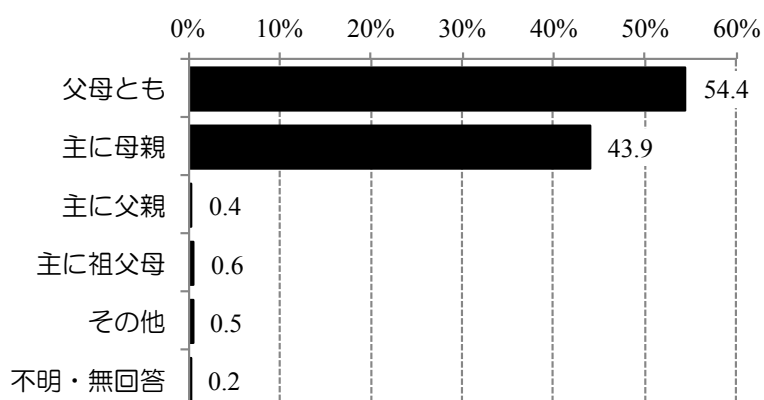


図 10 子どもの子育てを主に行っている人 (N=856)

問9 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

- 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事的时候にはご自身の親や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も高くなっています（61.3%）。

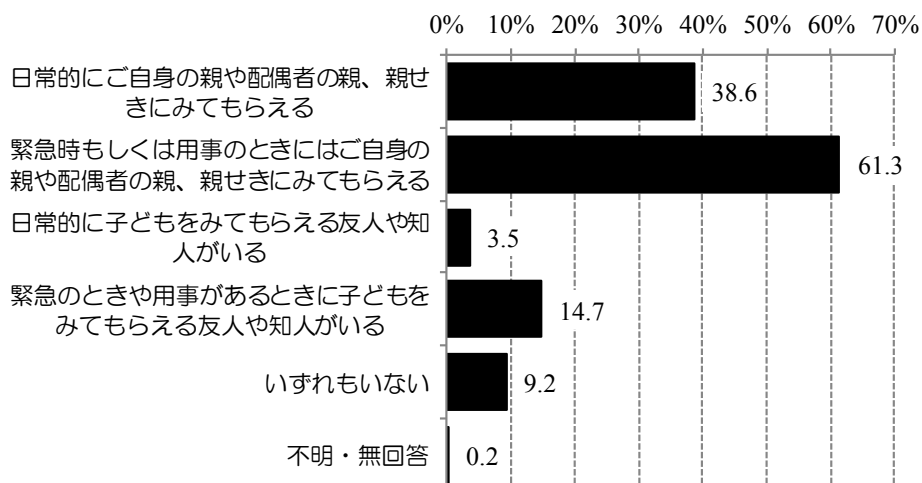


図 11 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（N=856）

問10 気軽に相談できる先（人、場所）の有無（単数回答）

- 気軽に相談できる先は、95.2%の方が「いる／ある」と回答しています。

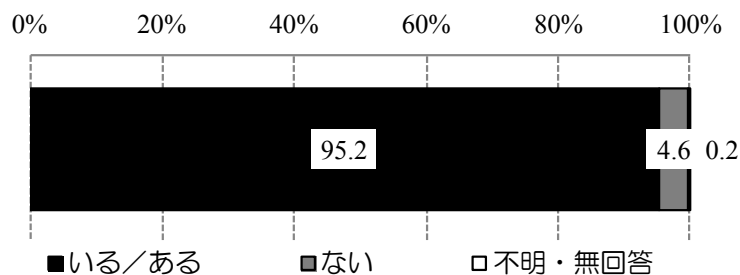


図 12 気軽に相談できる先（人、場所）の有無（N=856）

問 10-1 気軽に相談できる先（人、場所）（単数回答）

※ 問 10 で「いる／ある」と回答した方を集計

- 気軽に相談できる先は、「配偶者」が最も高く（92.0%）、次いで「友人や知人」（90.4%）、
「ご自身の親や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」（90.2%）、となっています。

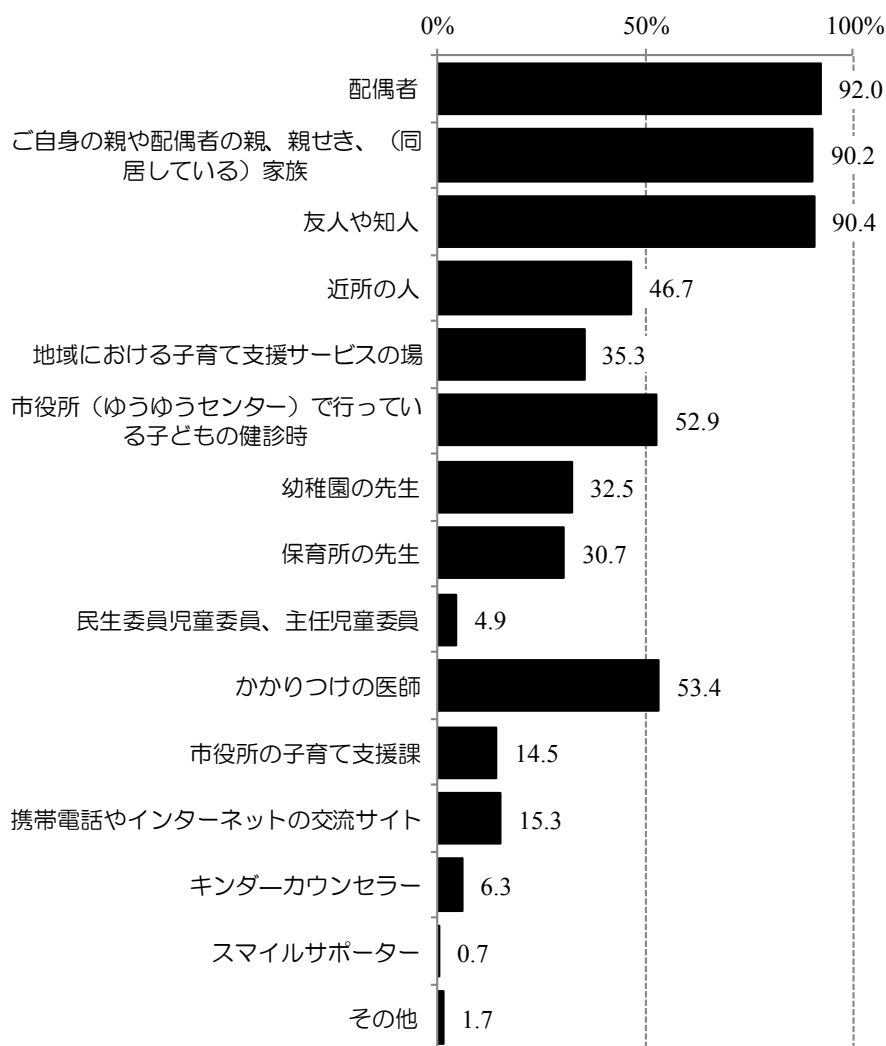


図 13 気軽に相談できる先（人、場所）（N=815）

問11 母親の就労状況（単数回答）

問12 父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「以前は働いていたが、今は働いていない」が最も高くなっています（43.3%）
- 父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が最も高くなっています（96.1%）。

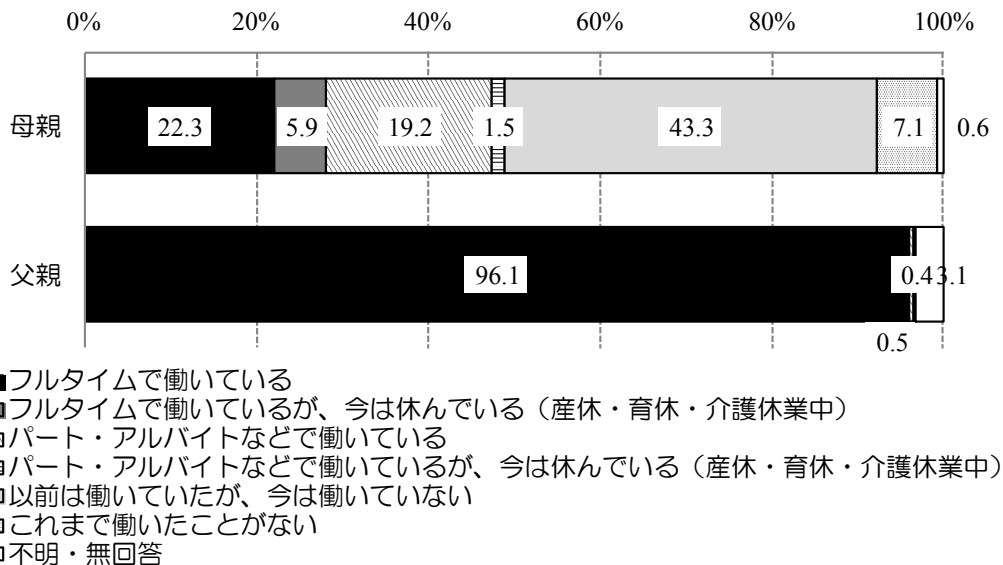


図 14 就労状況[母親 (N=826)、父親 (N=786)]

問11・12-1 就労日数/週、就労時間/日

※ 問11、12で「働いている [1. 2. 3. 4.]」と回答した方を集計

①就労日数/週（数量回答）

- 母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（59.7%）、次いで「6日以上」（16.6%）となっています。
- 父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（56.4%）、次いで「6日以上」（39.7%）となっています。

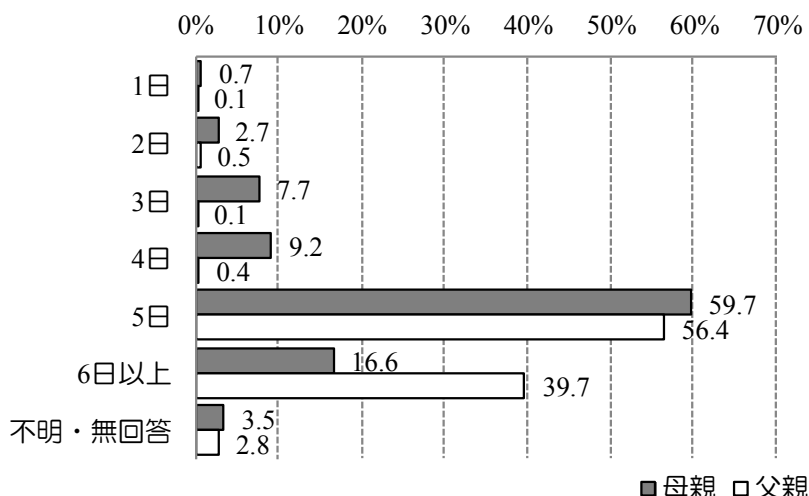


図 15 就労日数/週[母親 (N=404)、父親 (N=759)]

②就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が最も高く（31.9%）、次いで「6～7時間未満」（17.3%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が最も高く（26.6%）、次いで「10～11時間未満」（22.3%）となっています。

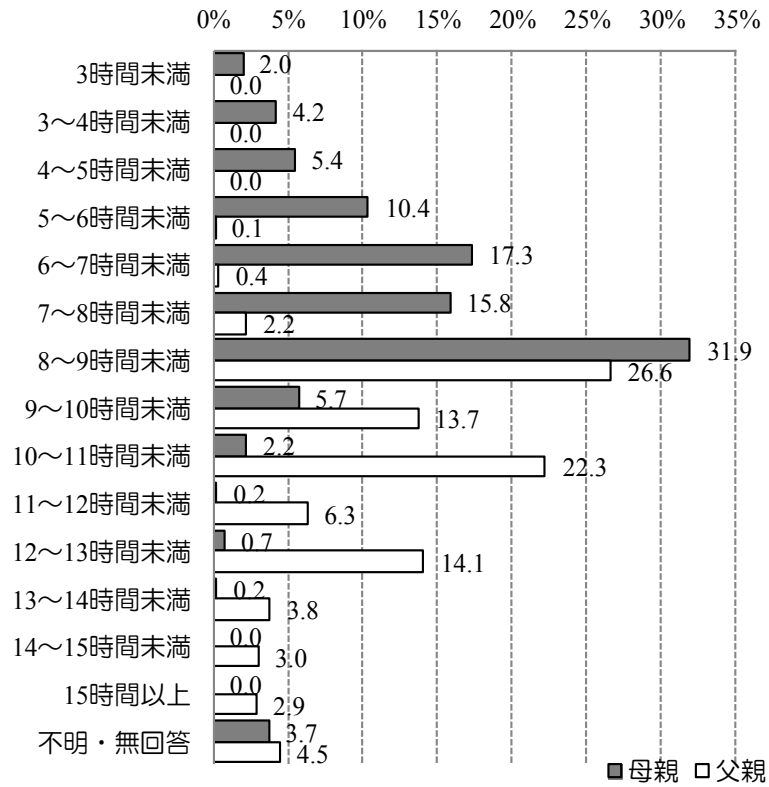


図 16 就労時間/日[母親 (N=404)、父親 (N=759)]

問 11・12-2 出宅時間、帰宅時間

※ 問 11、12で「働いている [1. 2. 3. 4.]」と回答した方を集計

①出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時～9時」が最も高く（45.0%）、次いで「7時～8時」（31.4%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時～8時」が最も高く（46.0%）、次いで「8時～9時」（21.6%）となっています。

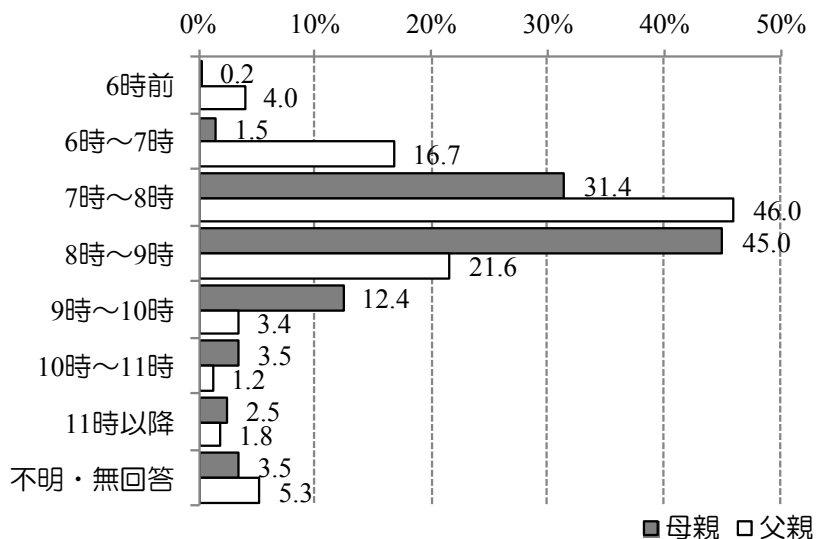


図 17 出宅時間[母親 (N=404)、父親 (N=759)]

②帰宅時間（数量回答）

- 母親の帰宅時間は、「18時～19時」が最も高く（35.9%）、次いで「17時～18時」（23.3%）となっています。
- 父親の帰宅時間は、「22時以降」が最も高く（19.8%）、次いで「20時～21時」（19.0%）となっています。

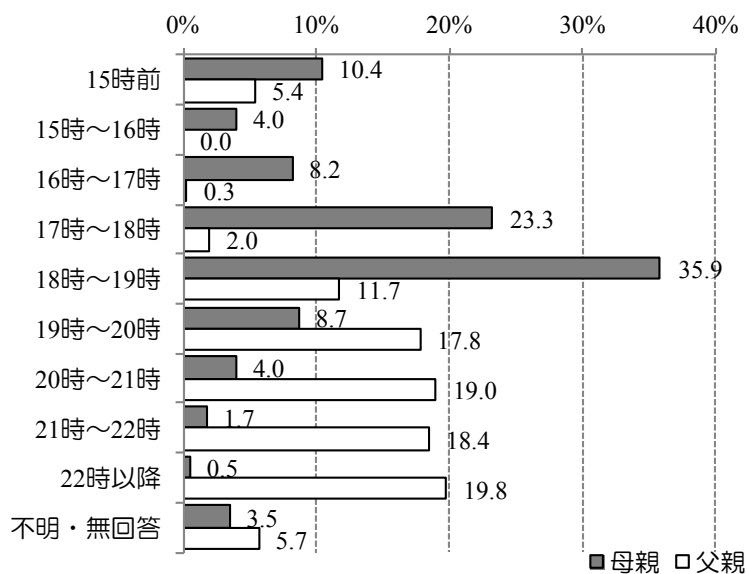


図 18 帰宅時間[母親 (N=404)、父親 (N=759)]

問13 フルタイム就労への転換希望（単数回答）

※ 問11、12で「パート・アルバイトなどで働いている [3. 4.]」と回答した方を集計

- 母親のフルタイム就労への転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が最も高くなっています（36.8%）。
- 父親のフルタイム就労への転換希望は、各選択肢に同数の回答があります（25.0%）。

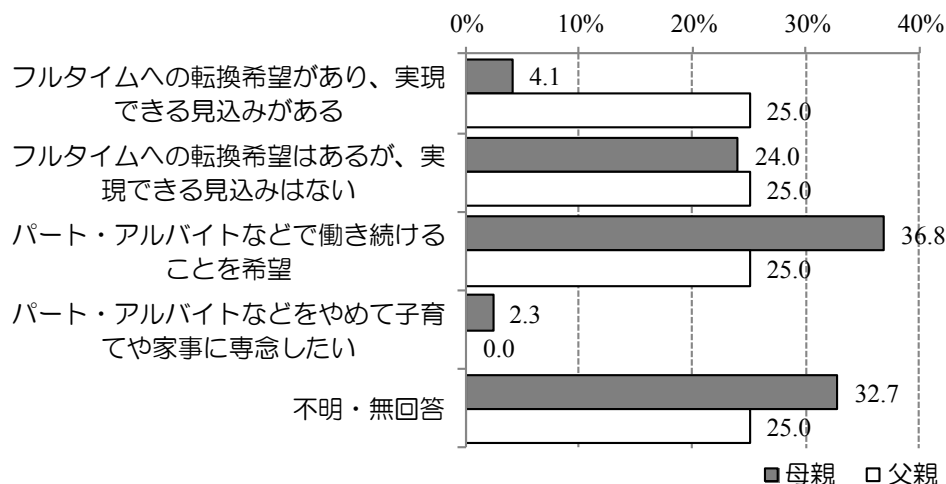


図 19 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=171)、父親 (N=4)]

問14 現在働いていない保護者の就労についての希望

※ 問11、12で「働いていない [5. 6.]」と回答した方を集計

①就労希望（単数回答）

- 母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい」が最も高くなっています（31.2%）。
- 父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が最も高くなっています（66.7%）。

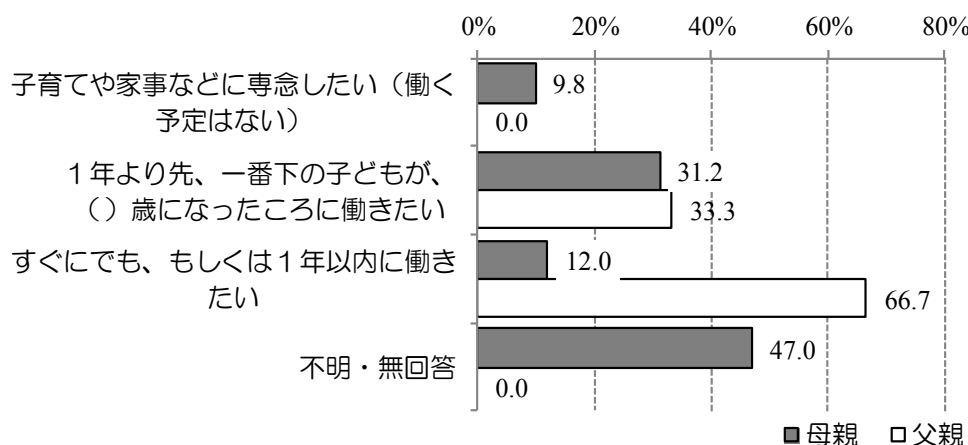


図 20 就労についての希望[母親 (N=417)、父親 (N=3)]

②就労を開始したい時の子どもの年齢（数量回答）

※ ①で「1年より先、就労したい」と回答した方を集計

- 母親の就労を開始したい時の子どもの年齢は、「6歳以上」が最も高く（38.5%）、次いで「3歳」（24.6%）となっています。※父親は回答がありません。

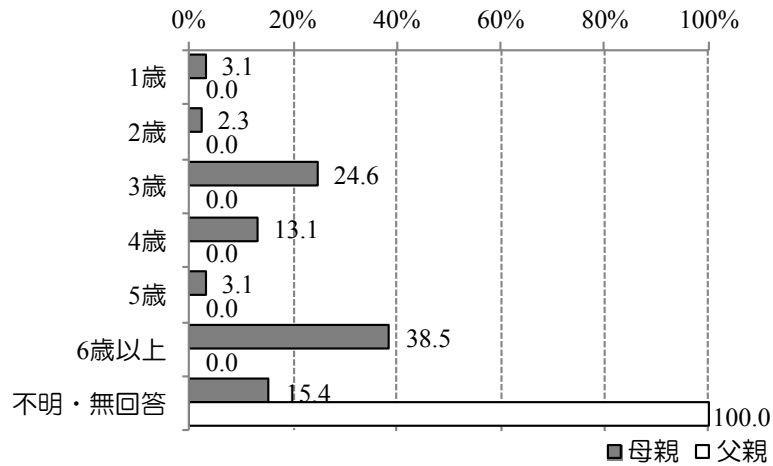


図 21 就労開始時期[母親 (N=130)、父親 (N=1)]

■希望する就労形態、就労日数/週、就労時間/日、就労開始時期

※ 問 14 で「働きたい [2, 3.]」と回答した方を集計

①希望就労形態（単数回答）

- 母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が最も高くなっています（37.8%）。
- 父親の希望就労形態は、「フルタイム」が最も高くなっています（66.7%）。

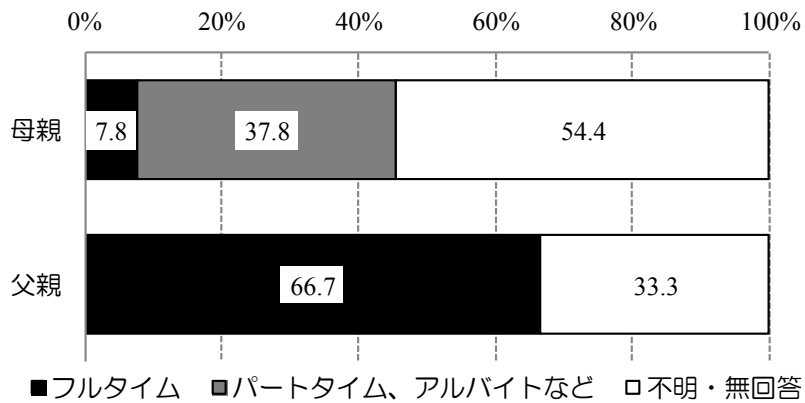


図 22 希望就労形態[母親 (N=180)、父親 (N=3)]

②希望就労日数/週（数量回答）

※ ①で「パートタイム、アルバイトなど」と回答した方を集計

- 母親の1週当たりの希望就労日数は、「4日」が最も高く(44.1%)、次いで「5日」(26.5%)となっています。※父親は該当回答者がありません。

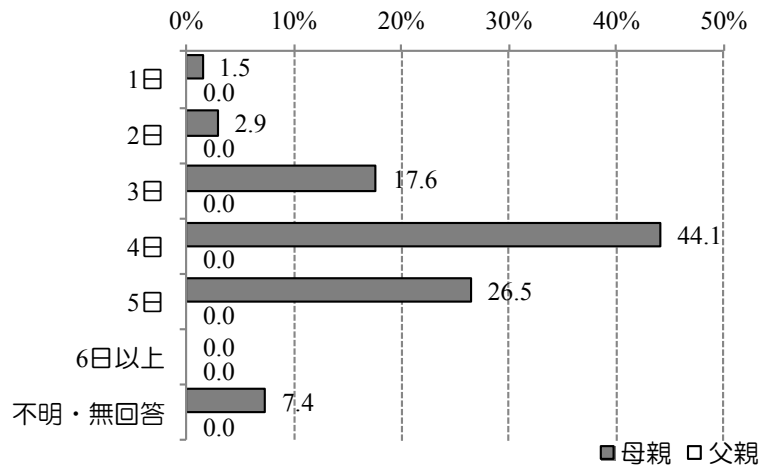


図 23 希望就労日数/週[母親 (N=68)、父親 (N=0)]

③希望就労時間/日当たり（数量回答）

※ ①で「パートタイム、アルバイトなど」と回答した方を集計

- 母親の1日当たりの希望就労時間は、「5～6時間未満」が最も高く(36.8%)、次いで「4～5時間未満」(32.4%)となっています。※父親は該当回答者がありません。

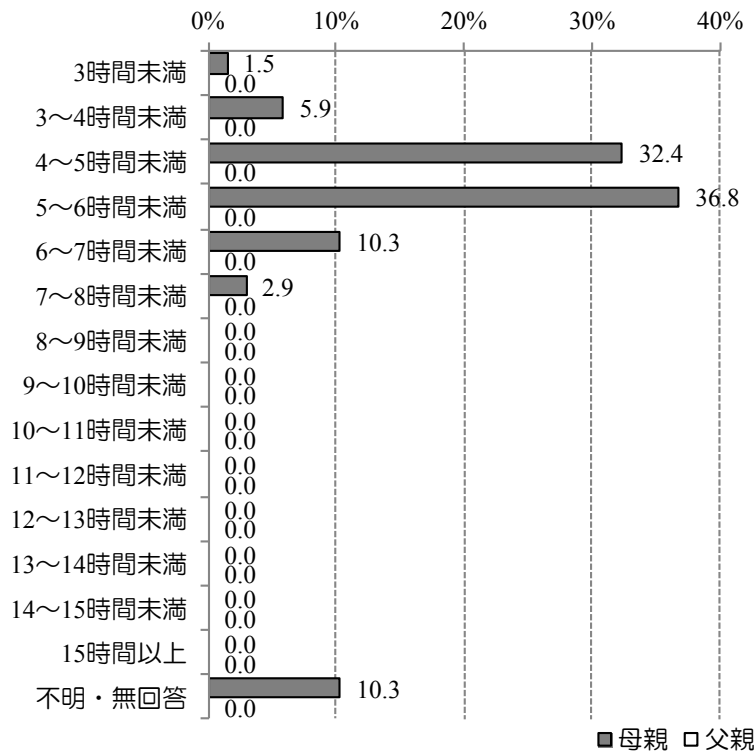


図 24 希望就労時間[母親 (N=68)、父親 (N=0)]

問 14-1 働きたい理由（複数回答）

※ 問 14 で「働きたい [2. 3.]」と回答した方を集計

- 働きたい理由は、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が最も高くなっています（82.4%）。

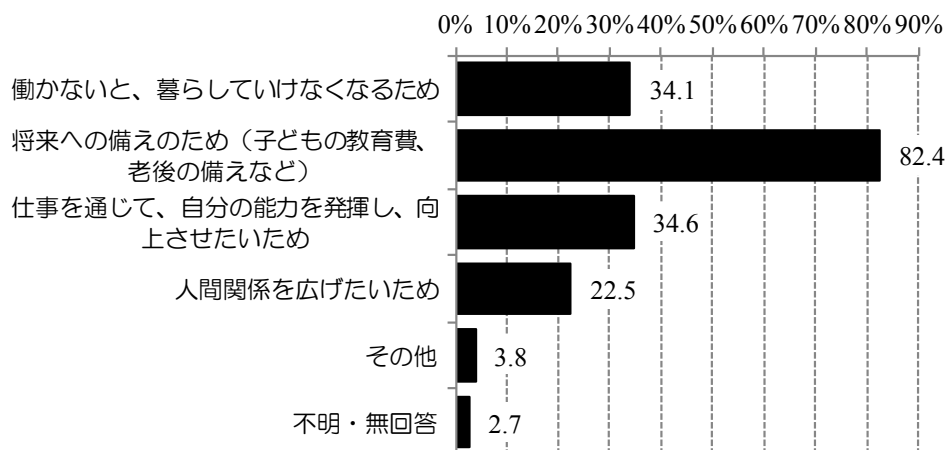


図 25 働きたい理由（N=182）

2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 定期的な教育・保育事業の利用有無（単数回答）

- 定期的な教育・保育事業の利用は、約6割（55.7%）の方が「利用している」と回答しています。

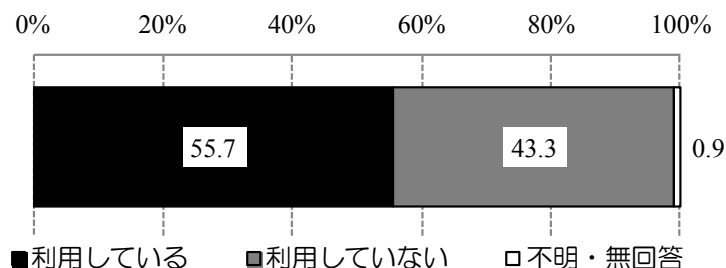


図 26 教育・保育事業の利用有無 (N=856)

問15-1 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

※ 問15で「利用していない」と回答した方を集計

①利用していない理由（複数回答）

- 利用していない理由は、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が最も高く（64.2%）、次いで「子どもがまだ小さいため（）歳くらいになったら利用しようと考えている」（34.8%）となっています。

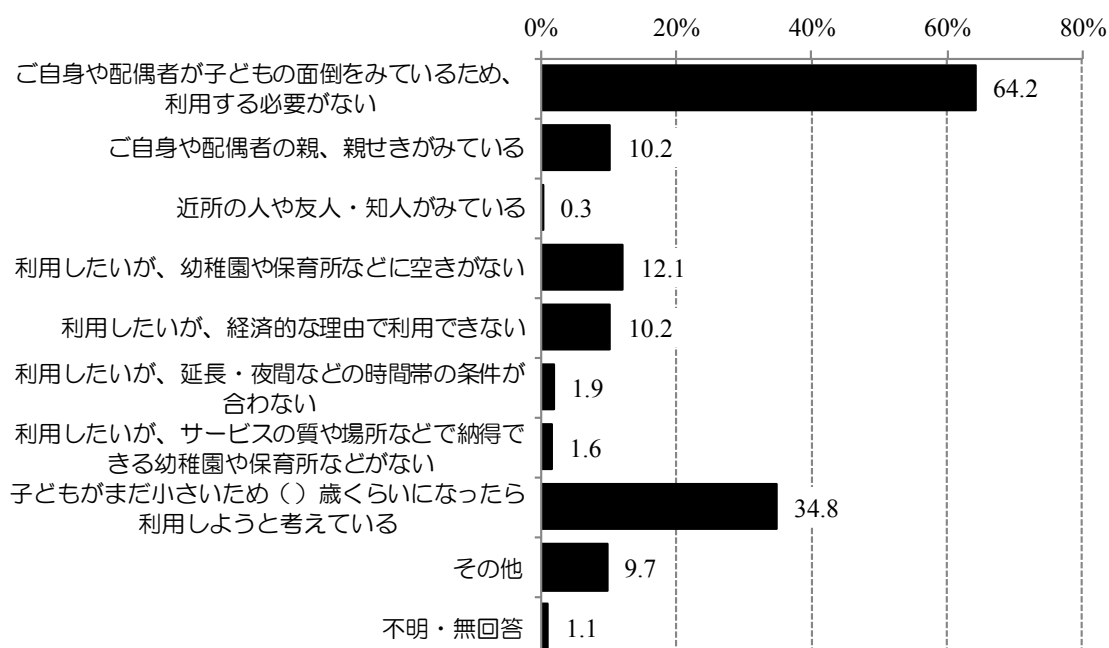


図 27 定期的に教育・保育事業を利用していない理由 (N=371)

②定期的な教育・保育事業の利用を考える子どもの年齢（数量回答）

※ ①で「子どもがまだ小さいため」と回答した方を集計

- 定期的な教育・保育事業の利用を考える子どもの年齢は、「3歳」が最も高く（48.8%）、次いで「4歳」（17.8%）となっています。

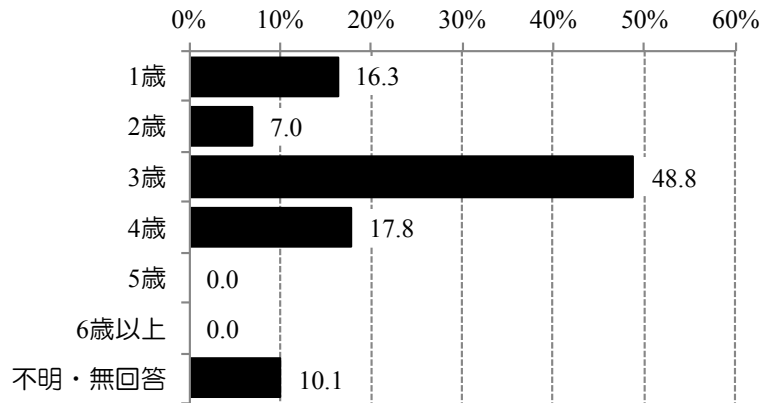


図 28 定期的な教育・保育事業の利用を考える子どもの年齢（N=129）

問 16-2 定期的にご利用している教育・保育事業（複数回答）

※ 問 16 で「利用している」と回答した方を集計

- 定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が最も高く（50.5%）、次いで「幼稚園」（29.8%）となっています。

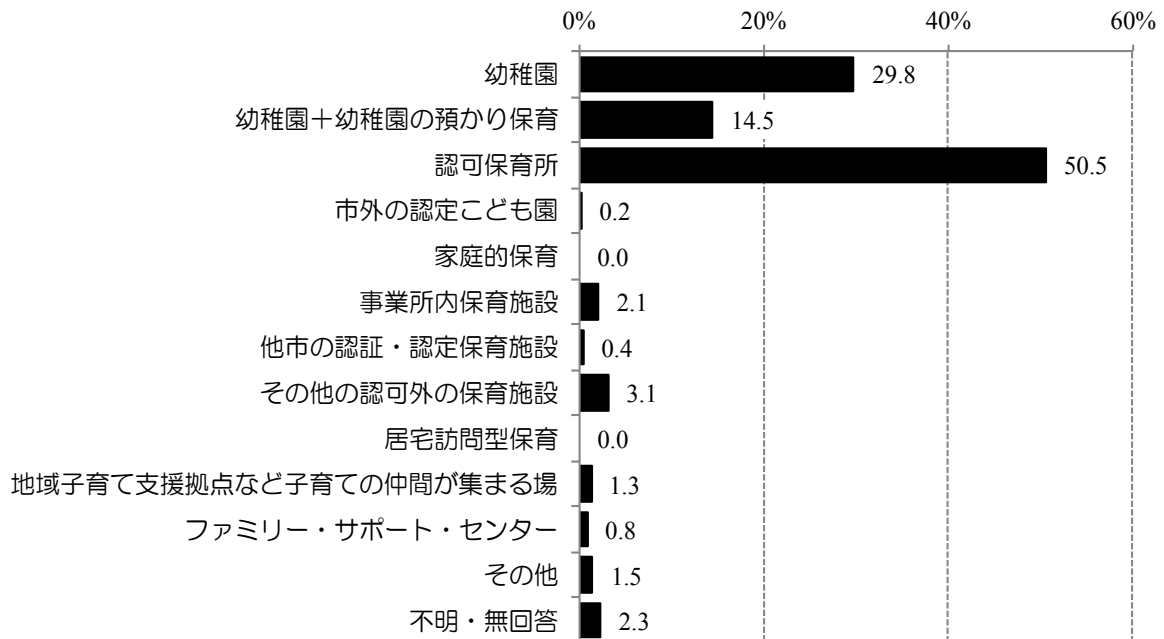


図 29 定期的にご利用している教育・保育事業（N=477）

問 15-3 教育・保育事業の利用日数/週、利用時間/日、利用時間帯（現在・希望）

※ 問 15 で「利用している」と回答した方を集計

(1) 現在

①利用日数/週（数量回答）

- 1 週当たりの利用日数は、「5 日」が最も高く（78.8%）、次いで「6 日以上」（10.7%）となっています。

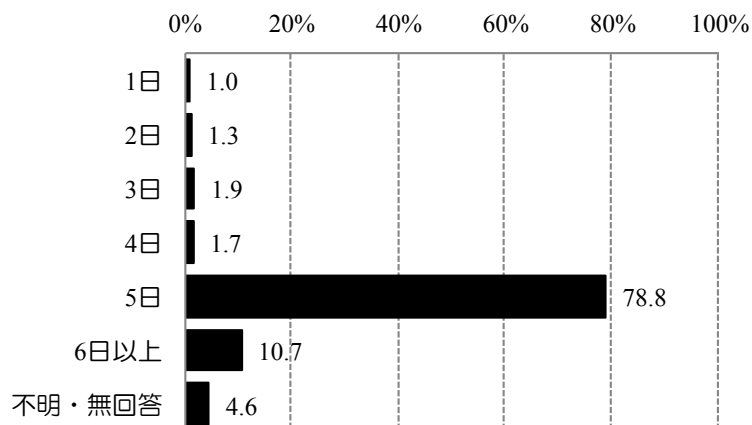


図 30 利用日数/週 (N=477)

②利用時間/日（数量回答）

- 1 日当たりの利用時間は、「10～11 時間未満」が最も高く（16.4%）、次いで「9～10 時間未満」（15.9%）となっています。

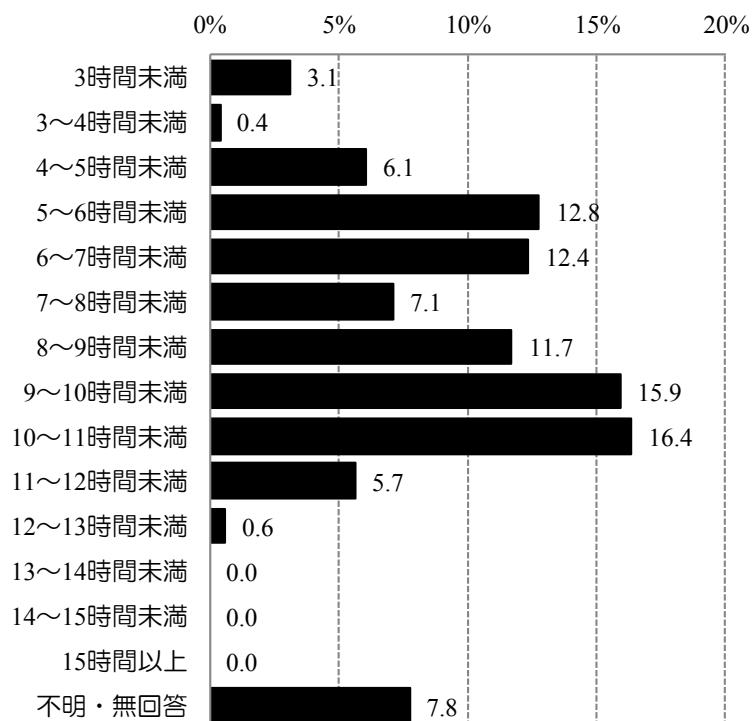


図 31 利用時間/日 (N=477)

③利用時間帯（数量回答）

- 開始は、「8時～9時」が最も高く（39.2%）、次いで「9時～10時」（33.1%）となっています。
- 終了は、「18～19時」が最も高く（26.0%）、次いで「15時前」（25.2%）となっています。

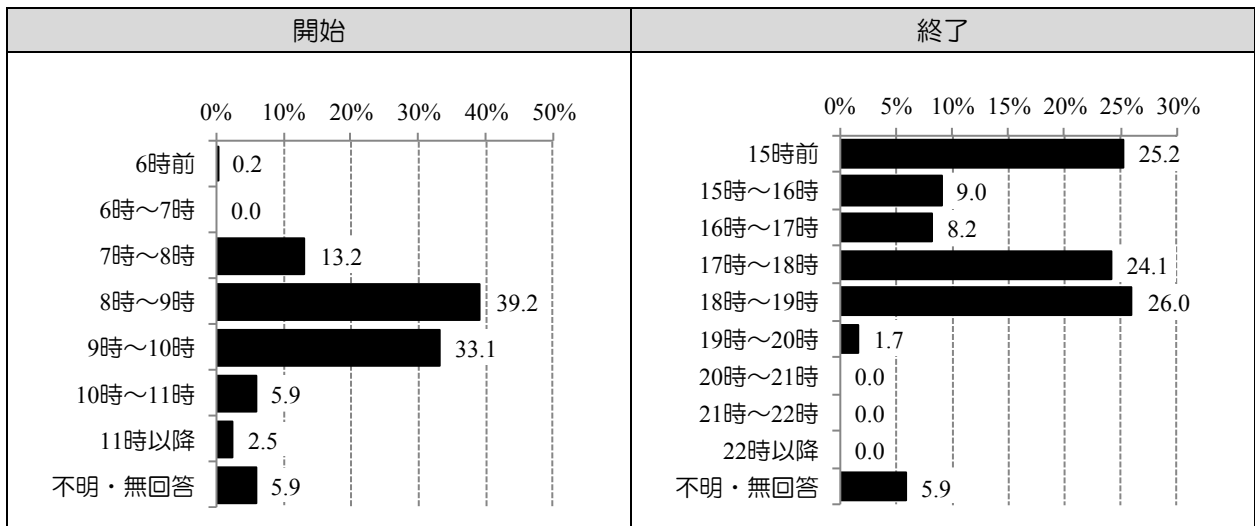


図 32 利用時間帯 (N=477)

(2) 希望

①利用希望日数/週（数量回答）

- 1週当たりの利用希望日数は、「5日」が最も高く（56.0%）、次いで「6日以上」（12.2%）となっています。

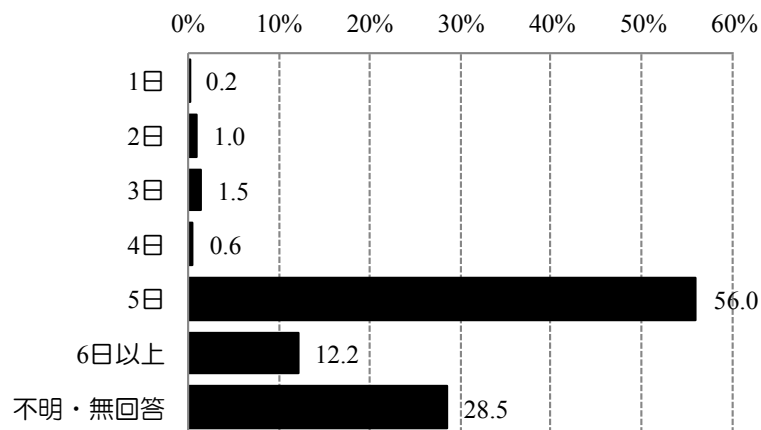


図 33 利用希望日数/週 (N=477)

②利用希望時間/日（数量回答）

- 1日当たりの利用希望時間は、「8～9時間未満」が最も高く（11.9%）、次いで「9～10時間未満」（11.5%）となっています。

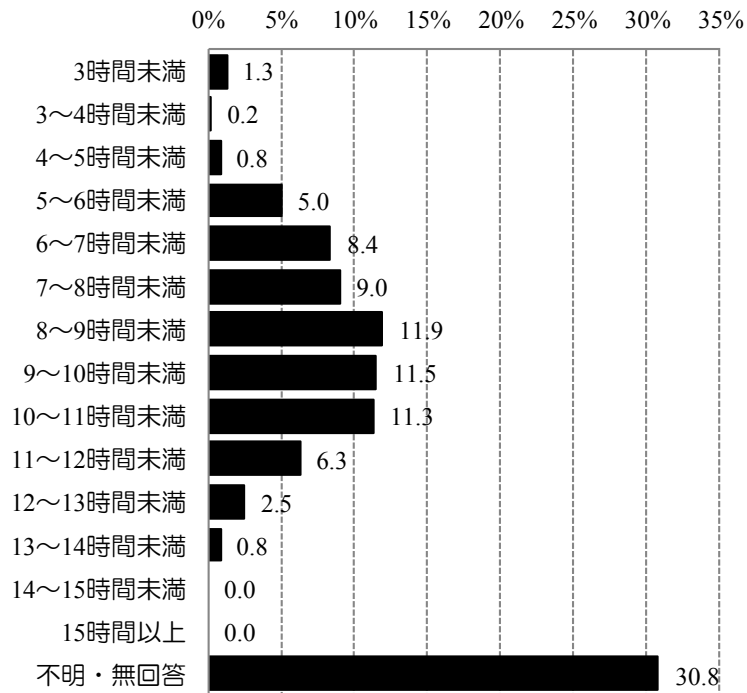


図 34 利用希望時間/日 (N=477)

③利用希望時間帯（数量回答）

- 開始は、「8時～9時」が最も高く（30.8%）、次いで「9時～10時」（24.1%）となっています。
- 終了は、「17時～18時」が最も高く（17.4%）、次いで「18時～19時」（17.2%）となっています。

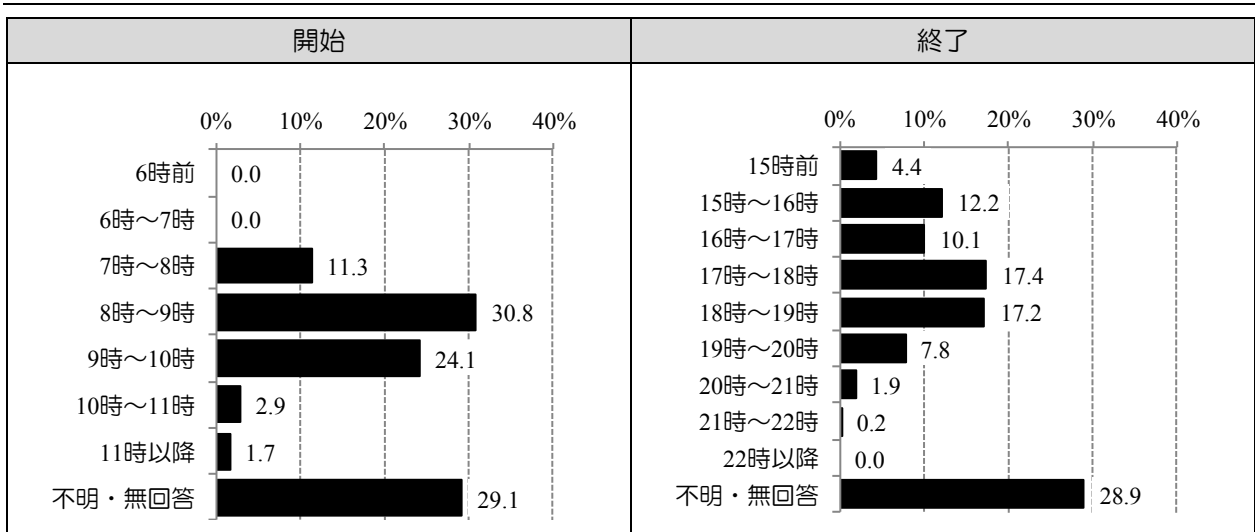


図 35 利用希望時間帯 (N=477)

問 15-4 定期的に利用している教育・保育事業の利用場所（単数回答）

※ 問 15 で「利用している」と回答した方を集計

- 利用している場所は、利用者の約 9 割（89.1%）の方が「交野市内」と回答しています。

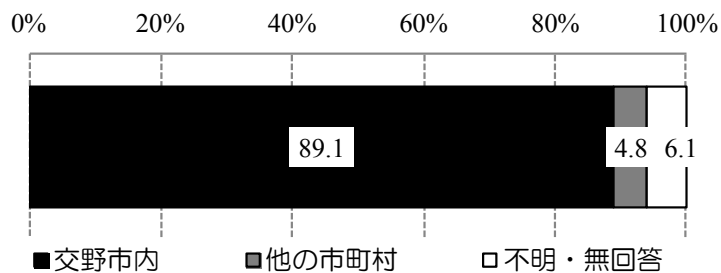


図 36 利用場所 (N=477)

問 15-5 定期的に教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

※ 問 16 で「利用している」と回答した方を集計

- 定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「保護者が働いている」が最も高く（53.5%）、次いで「子どもの教育や発達のため」（38.8%）となっています。

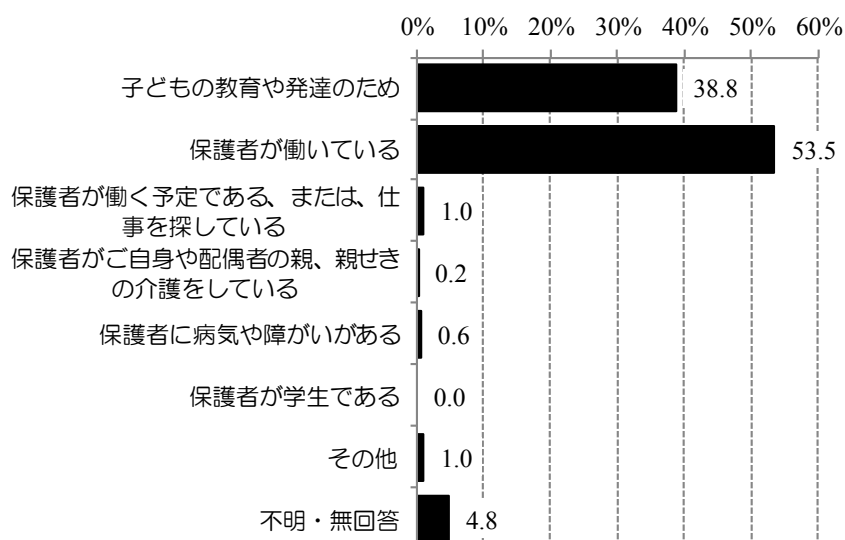


図 37 定期的に教育・保育事業を利用している理由 (N=477)

3 病気時の対応（平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）

問16 この1年間に病気やケガで通常どおりに定期的な教育・保育事業を利用できなかったことがあるか（単数回答）

- 定期的な教育・保育事業を利用している方の約8割（82.4%）が「あった」と回答しています。

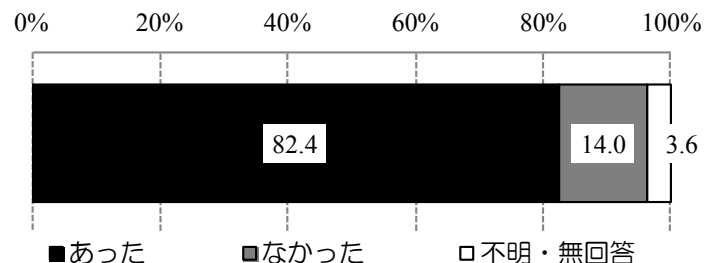


図 38 病気やケガで通常どおりに定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと (N=477)

問17-1 利用できなかった場合の対処方法

※ 問17で「あった」と回答した方を集計

① 対処方法（複数回答）

- 対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も高く（62.6%）、次いで「ご自身の親や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」（50.9%）、「働いていない父親か母親が子どもをみた」（20.9%）となっています。

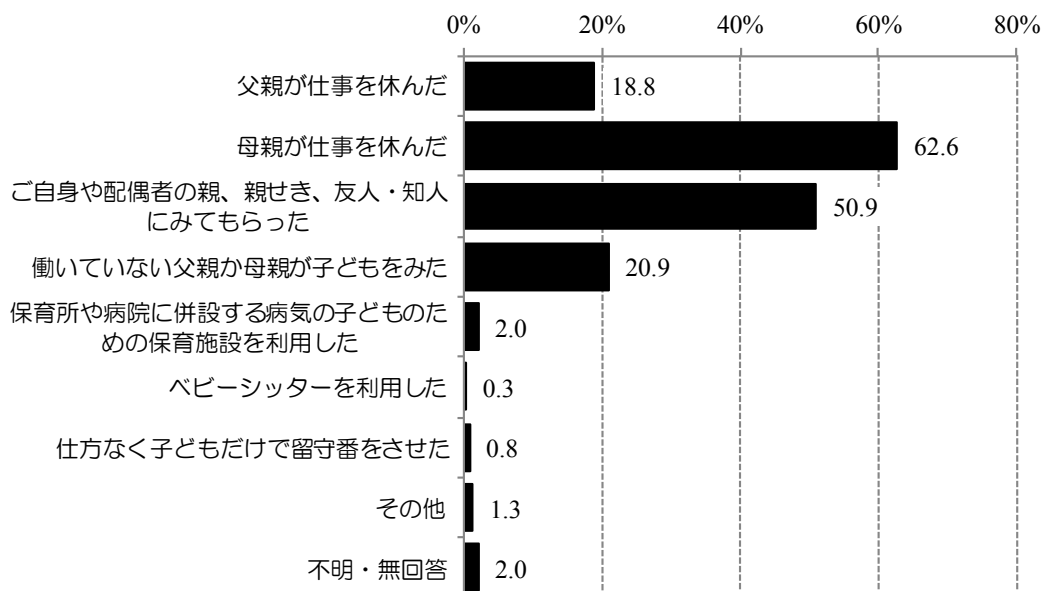


図 39 対処方法 (N=393)

③対処方法別日数（数量回答）

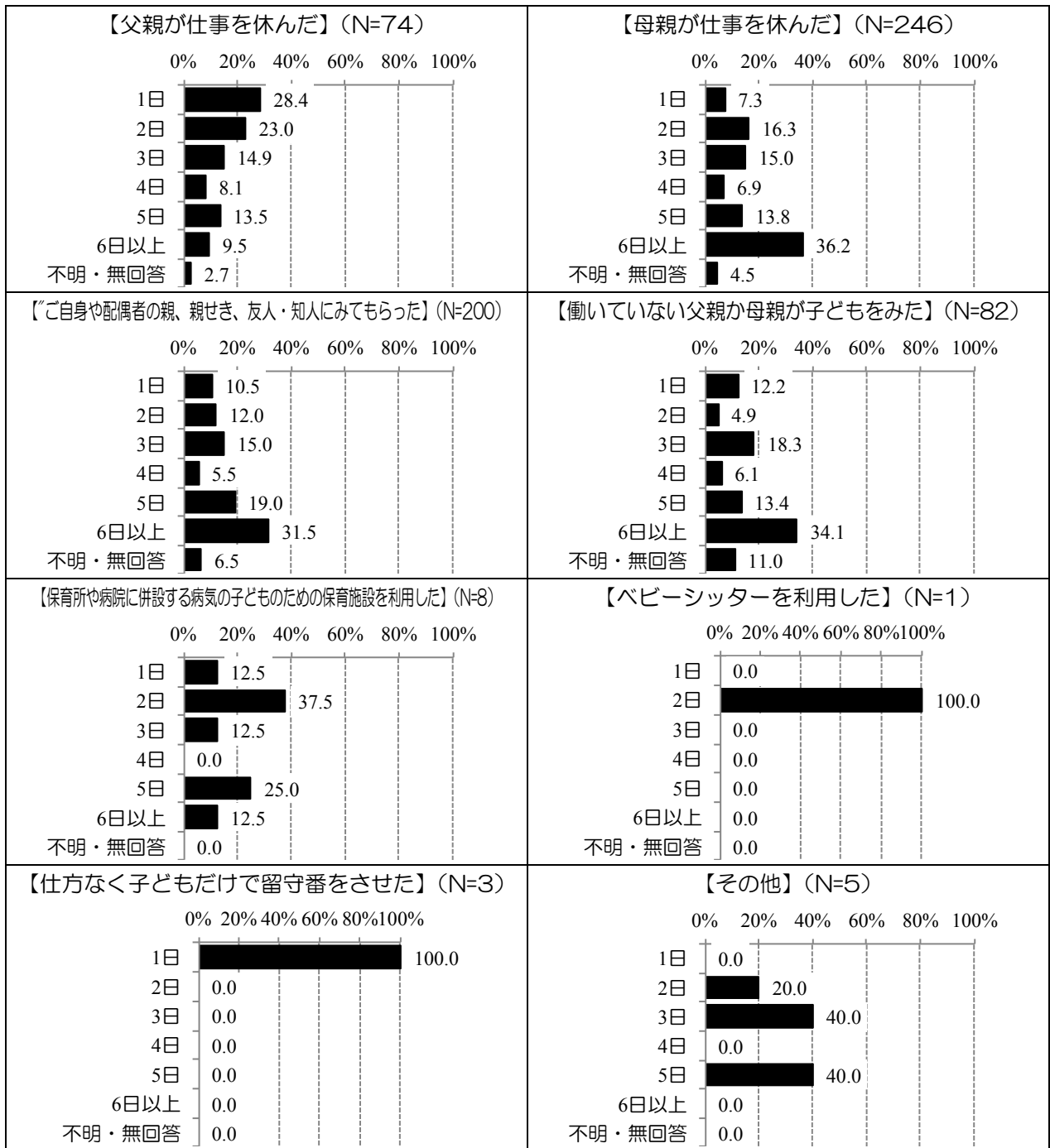


図 40 対処方法別日数

問 16-2 病児・病後児保育の利用希望

※ 問 16-1 で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、約 5 割（51.4%）の方が「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答しています。

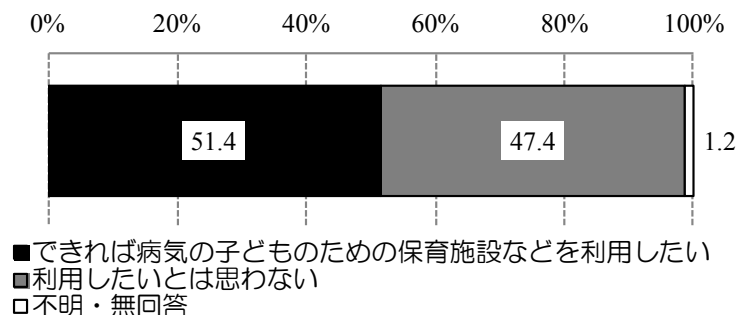


図 41 利用希望 (N=249)

②利用希望日数（数量回答）

※ ①で「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望日数は、「6日以上」が最も高くなっています（22.7%）。

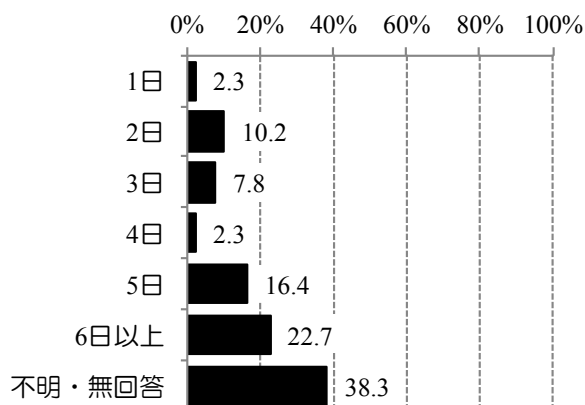


図 42 利用希望日数 (N=128)

問 16-3 望ましい事業形態（複数回答）

※ 問 16-2 で「利用したい」と回答した方を集計

- 望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が最も高く（83.6%）、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」（72.7%）となっています。

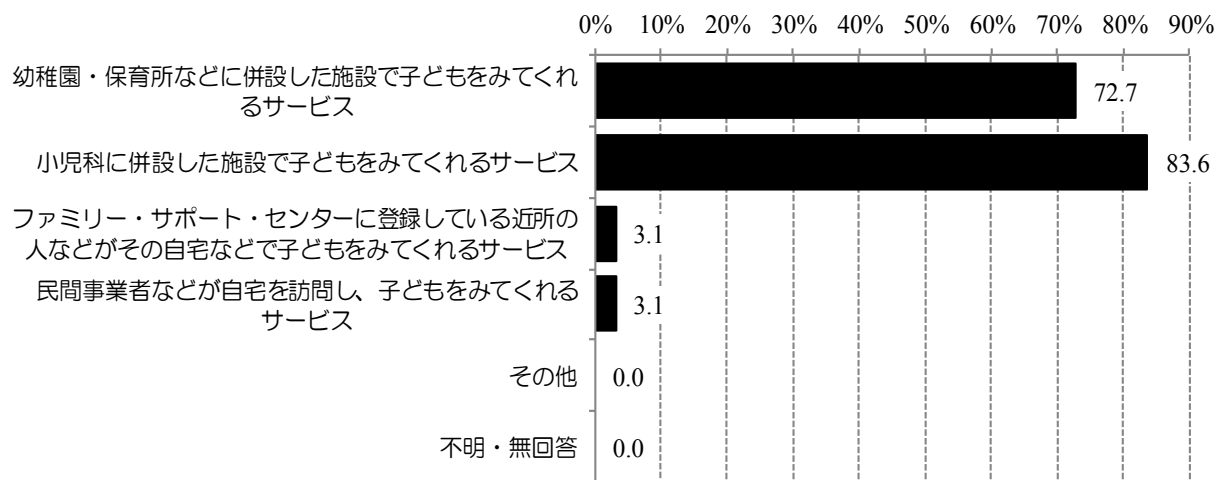


図 43 望ましい事業形態 (N=128)

問 16-4 病児・病後児保育施設を利用したくない理由（複数回答）

※ 問 16-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方を集計

- 病児・病後児保育施設を利用したくない理由は、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が最も高く（55.9%）、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」（43.2%）、「病気の子どもは家族がみるべきである」（41.5%）となっています。

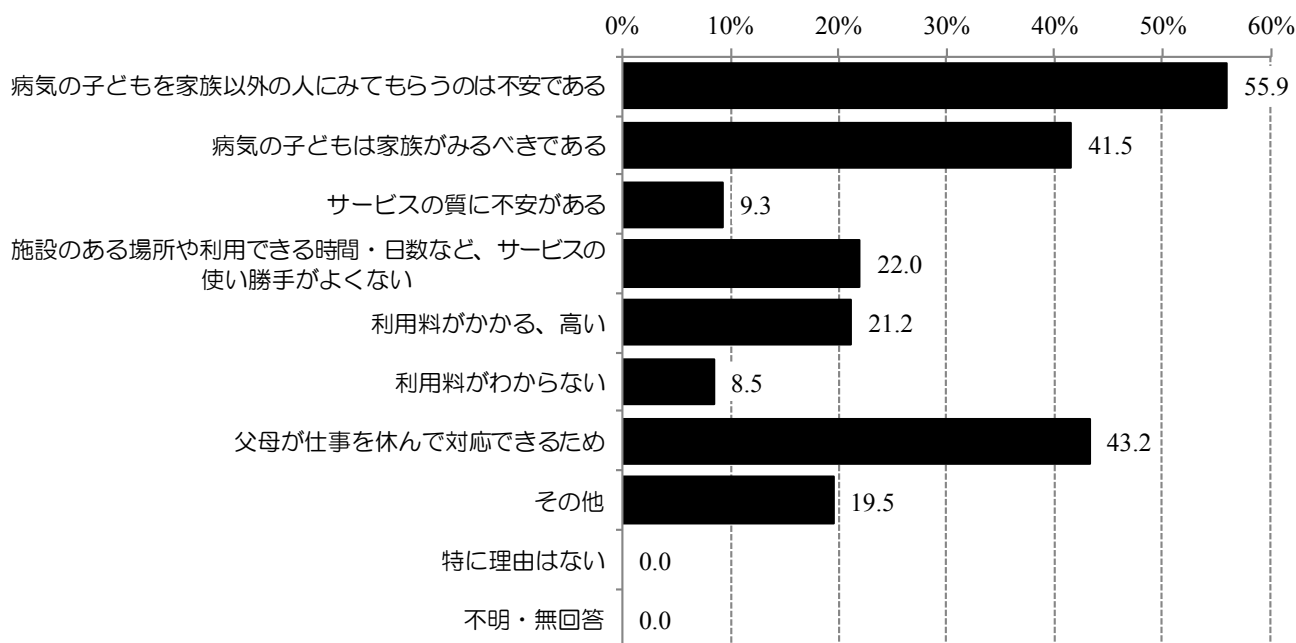


図 44 病児・病後児保育施設を利用したくない理由 (N=118)

4 平日に定期的に利用したい教育・保育事業の利用希望

問17 定期的に利用したい教育・保育事業（複数回答）

- 定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育所」が最も高く（43.3%）、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（38.3%）、「幼稚園」（34.7%）となっています。

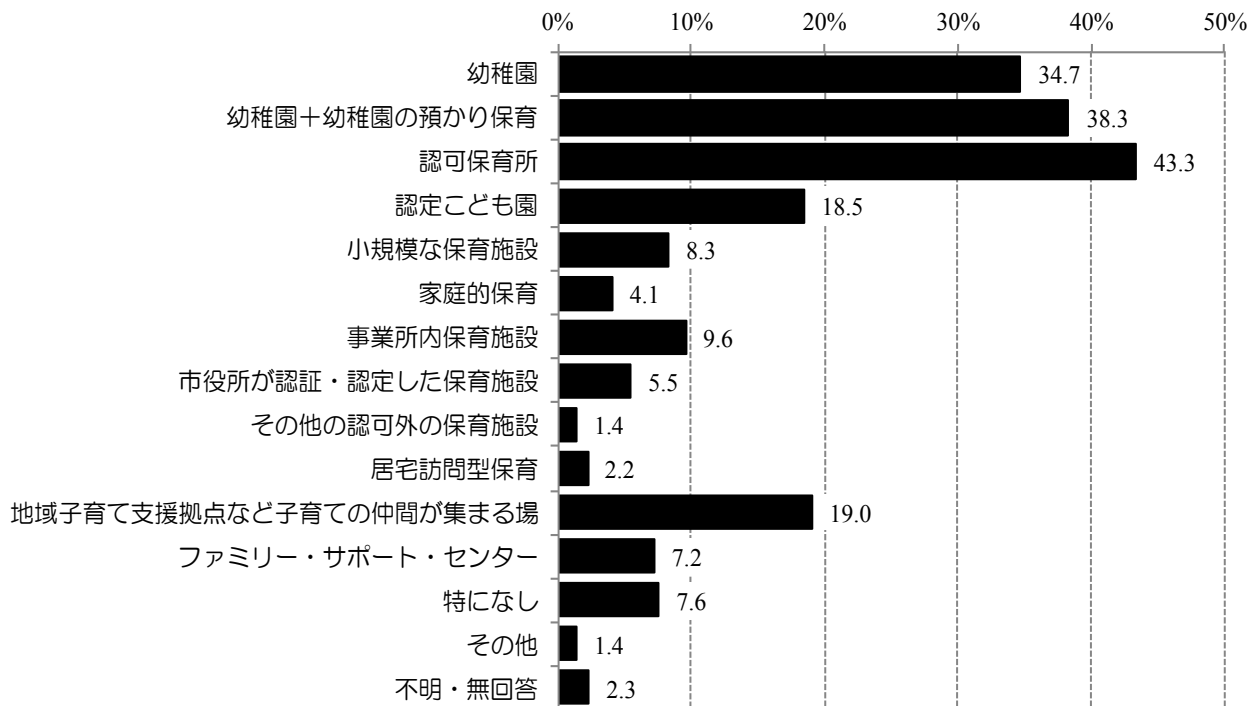


図 45 定期的に利用したい教育・保育事業 (N=856)

5 教育・保育事業の土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望

問18 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日

①利用希望（単数回答）

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、約6割（64.5%）の方が「利用する必要はない」と回答しています。

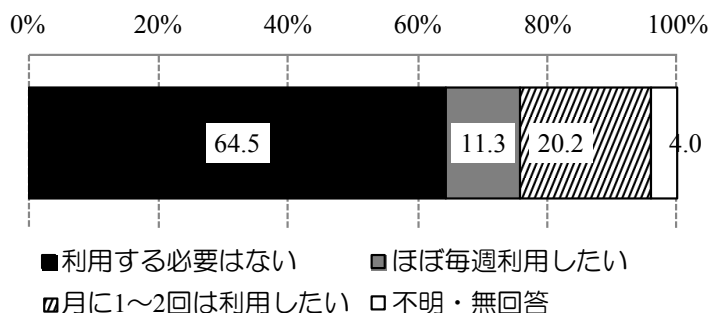


図 46 利用希望 土曜日 (N=856)

②利用希望時間帯_ほぼ毎週利用したい（数量回答）

※ ①で「ほぼ毎週利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高く（36.1%）、次いで「7時～8時」「9時～10時」（26.8%）となっています。
- 終了は、「18時～19時」が最も高く（46.4%）、次いで「17時～18時」（24.7%）となっています。

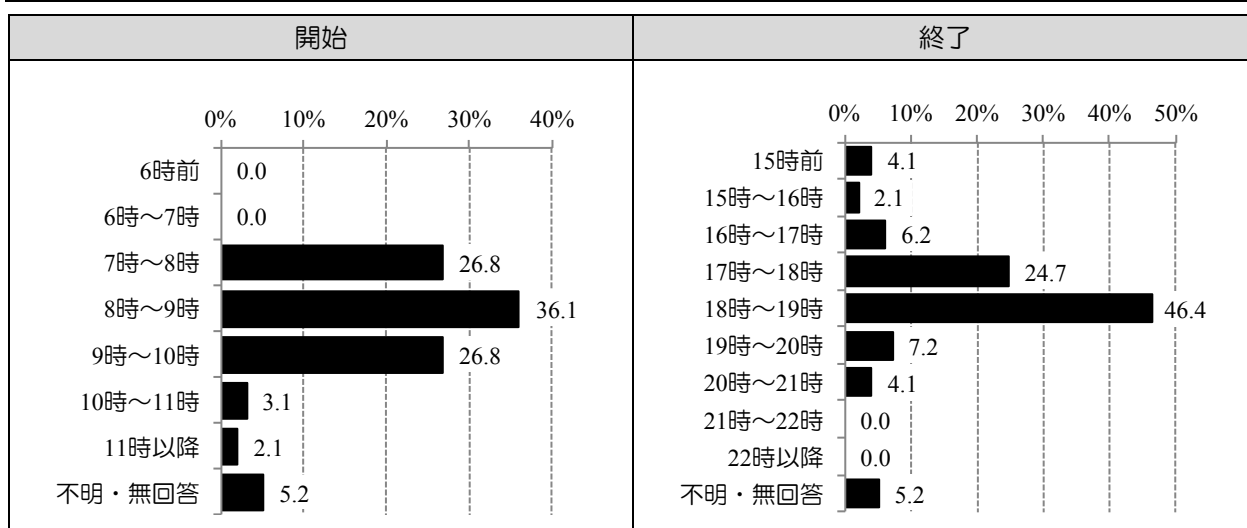


図 47 利用希望時間帯 土曜日_ほぼ毎週利用したい (N=97)

③利用希望時間帯_月に1~2回は利用したい(数量回答)

※ ①で「月に1~2回は利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時~10時」が最も高く(42.8%)、次いで「8時~9時」(30.1%)となっています。
- 終了は、「18時~19時」が最も高く(27.7%)、次いで「17時~18時」(27.2%)となっています。

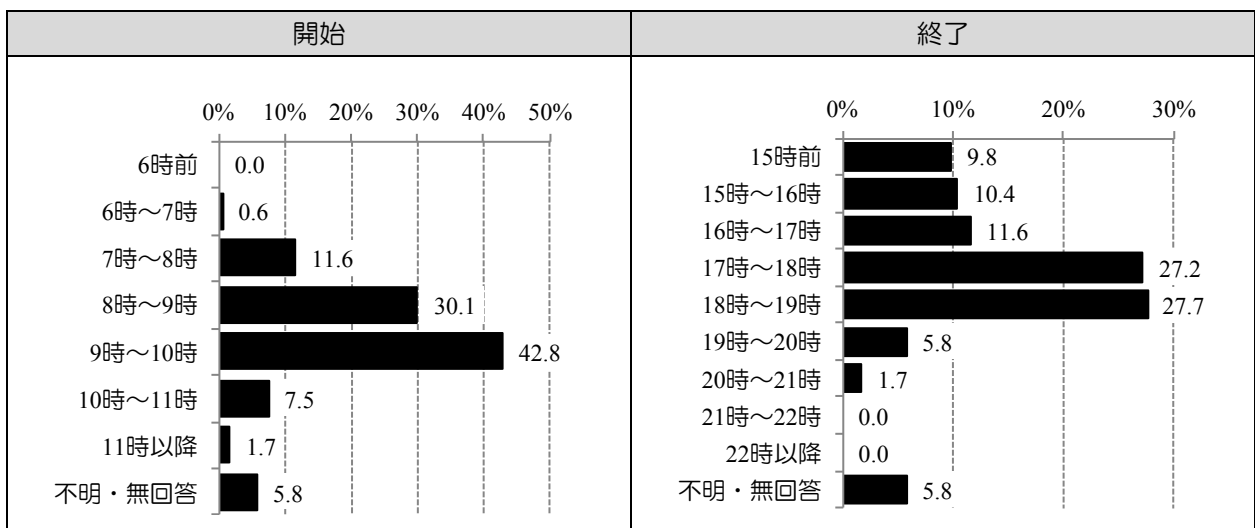


図 48 利用希望時間帯 土曜日_月に1~2回は利用したい (N=173)

(2) 日曜日・祝日

①利用希望(単数回答)

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、約8割(79.3%)の方が「利用する必要はない」と回答しています。

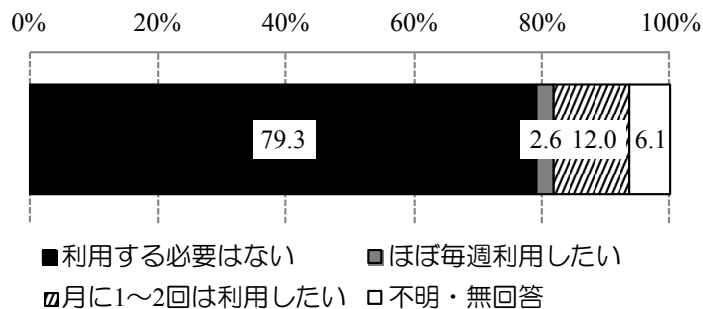


図 49 利用希望 日曜日・祝日 (N=856)

②利用希望時間帯_ほぼ毎週利用したい（数量回答）

※ ①で「ほぼ毎週利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時～10時」が最も高く（36.4%）、次いで「8時～9時」（27.3%）となっています。
- 終了は、「18～19時」が最も高く（59.1%）、次いで「20時～21時」（13.6%）となっています。

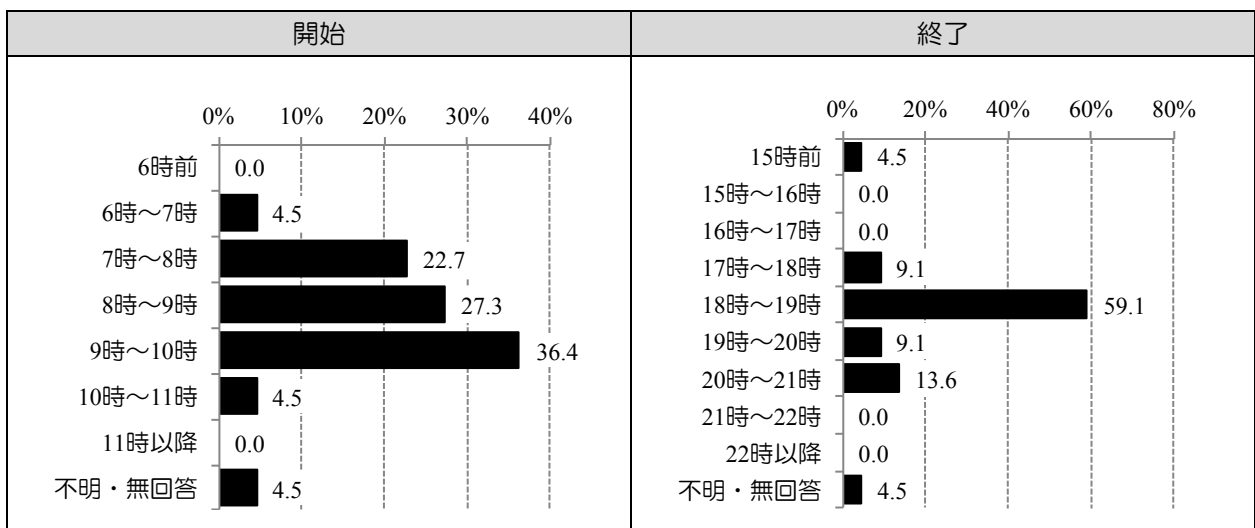


図 50 利用希望時間帯 日曜・祝日_ほぼ毎週利用したい (N=22)

③利用希望時間帯_月に1～2回は利用したい（数量回答）

※ ①で「月に1～2回は利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時～10時」が最も高く（42.7%）、次いで「8時～9時」（28.2%）となっています。
- 終了は、「18時～19時」が最も高く（46.6%）、次いで「17時～18時」（19.4%）となっています。

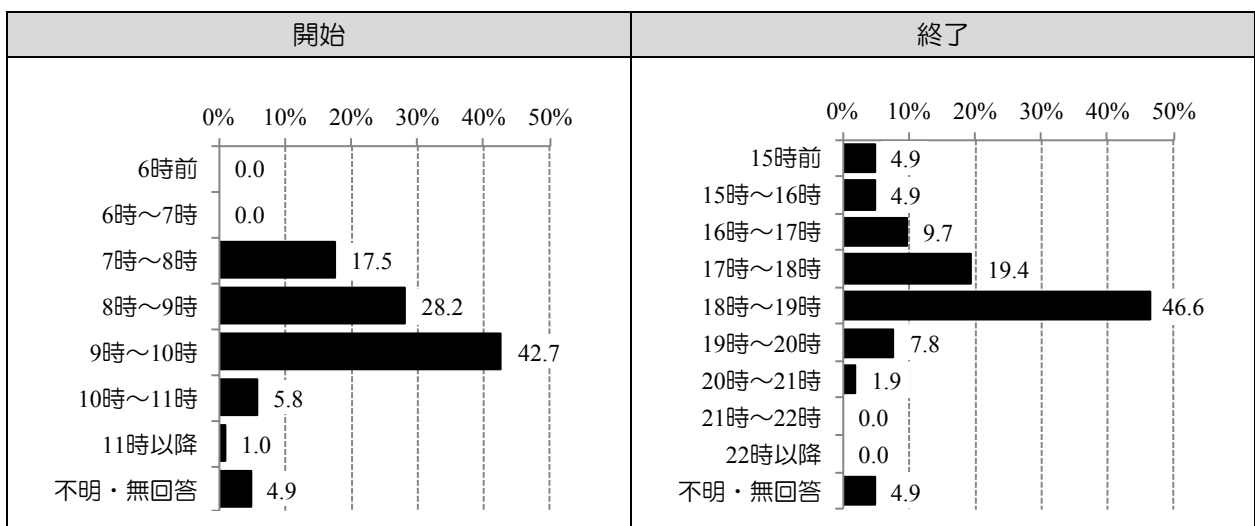


図 51 利用希望時間帯 日曜・祝日_月に1～2回は利用したい (N=103)

問19 長期休暇中の幼稚園の利用希望（幼稚園利用者対象）

※ 問15-2で「幼稚園」利用と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 幼稚園利用者の約5割（45.8%）の方が「利用する必要はない」と回答しています。

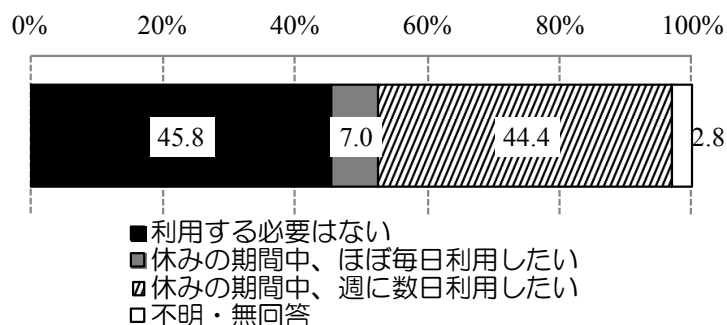


図 52 利用希望 長期休暇中 (N=142)

②利用希望時間帯_ほぼ毎日利用したい（数量回答）

※ ①で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時～10時」が最も高く（80.0%）、次いで「8時～9時」（20.0%）となっています。
- 終了は、「16時～17時」「17時～18時」が最も高くなっています（30.0%）。

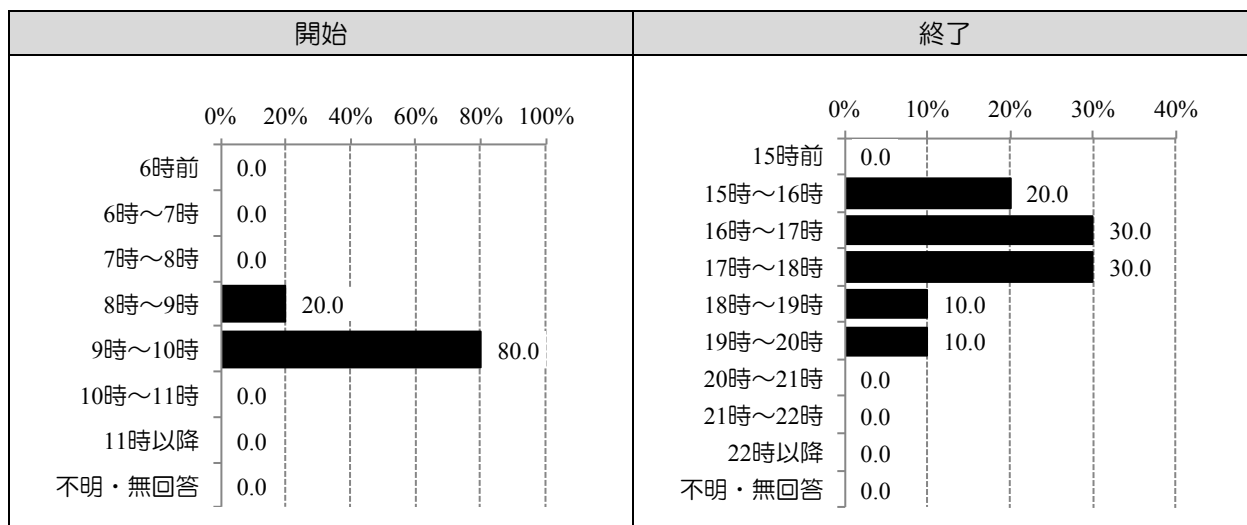


図 53 利用希望時間帯 長期休暇中_ほぼ毎日利用したい (N=10)

③利用希望時間帯_週に数日利用したい（数量回答）

※ ①で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時～10時」が最も高く（68.3%）、次いで「8時～9時」（22.2%）となっています。
- 終了は、「15時～16時」が最も高く（30.2%）、次いで「17時～18時」（27.0%）となっています。

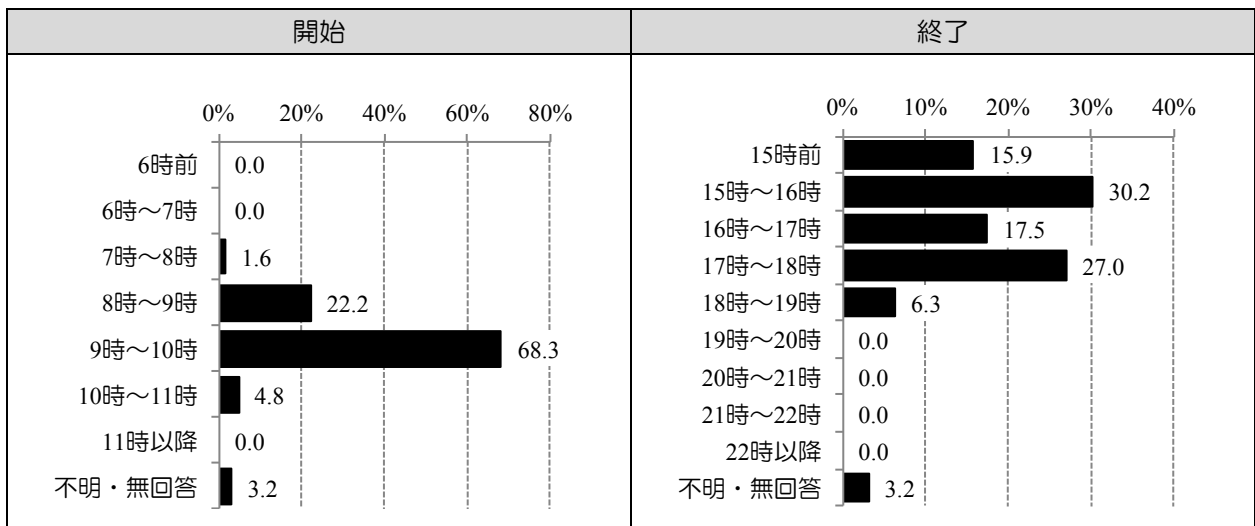


図 54 利用希望時間帯 長期休暇中_週に数日利用したい (N=63)

6 育児休業など、仕事と子育ての両立

問20 育児休業制度の取得状況

①取得状況（単数回答）

- 母親の育児休業制度の取得状況は、「働いていなかった」が最も高くなっています(54.2%)。
- 父親の育児休業制度の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が最も高くなっています(87.4%)。

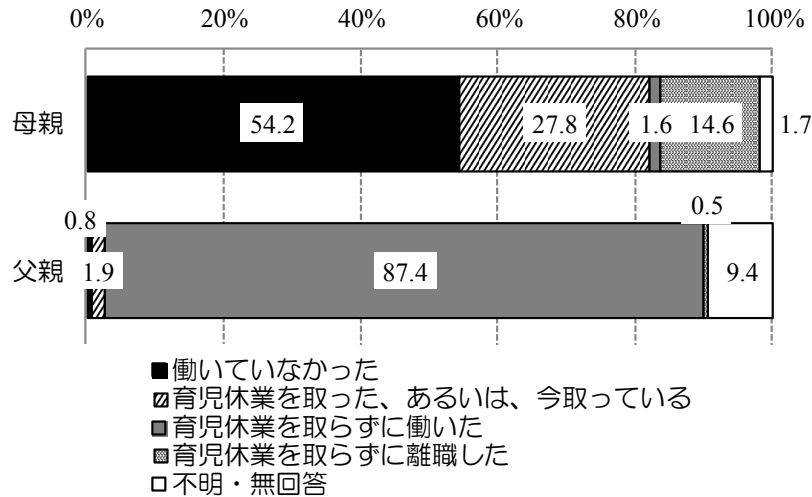


図 55 育児休業制度の取得状況[母親 (N=826)、父親 (N=786)]

②育児休業取得期間（数量回答）

- 母親の育児休業取得期間は、「1歳」が最も高く(35.2%)、次いで「1歳超～1歳6ヶ月」(16.5%)となっています。
- 父親の育児休業取得期間は、「0～3ヶ月」が最も高くなっています(86.7%)。

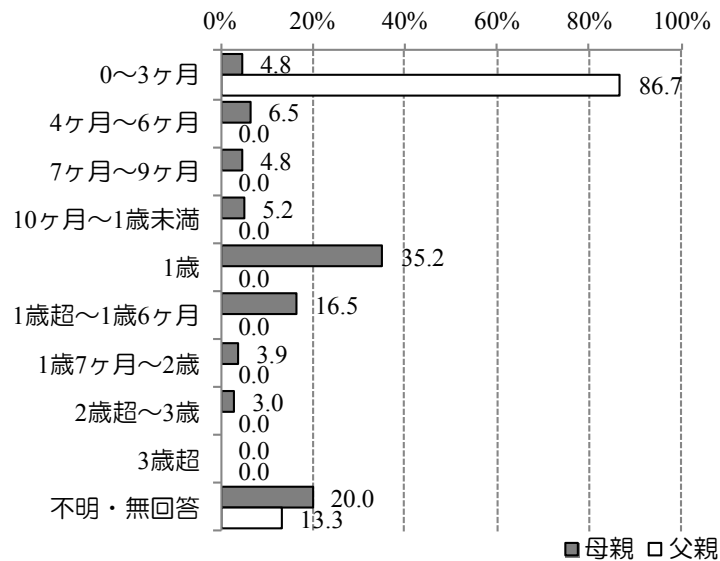


図 56 育児休業取得期間[母親 (N=230)、父親 (N=15)]

③育児休業を取らずに働いた理由（複数回答）

- 母親の育児休業を取らずに働いた理由は、「その他」が最も高く（61.5%）、次いで「出産後すぐに仕事に復帰したかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」（23.1%）となっています。
- 父親の育児休業を取らずに働いた理由は、「配偶者が無職である、ご自身の親や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も高く（31.4%）、次いで「仕事が忙しかった」（28.2%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（22.3%）となっています。

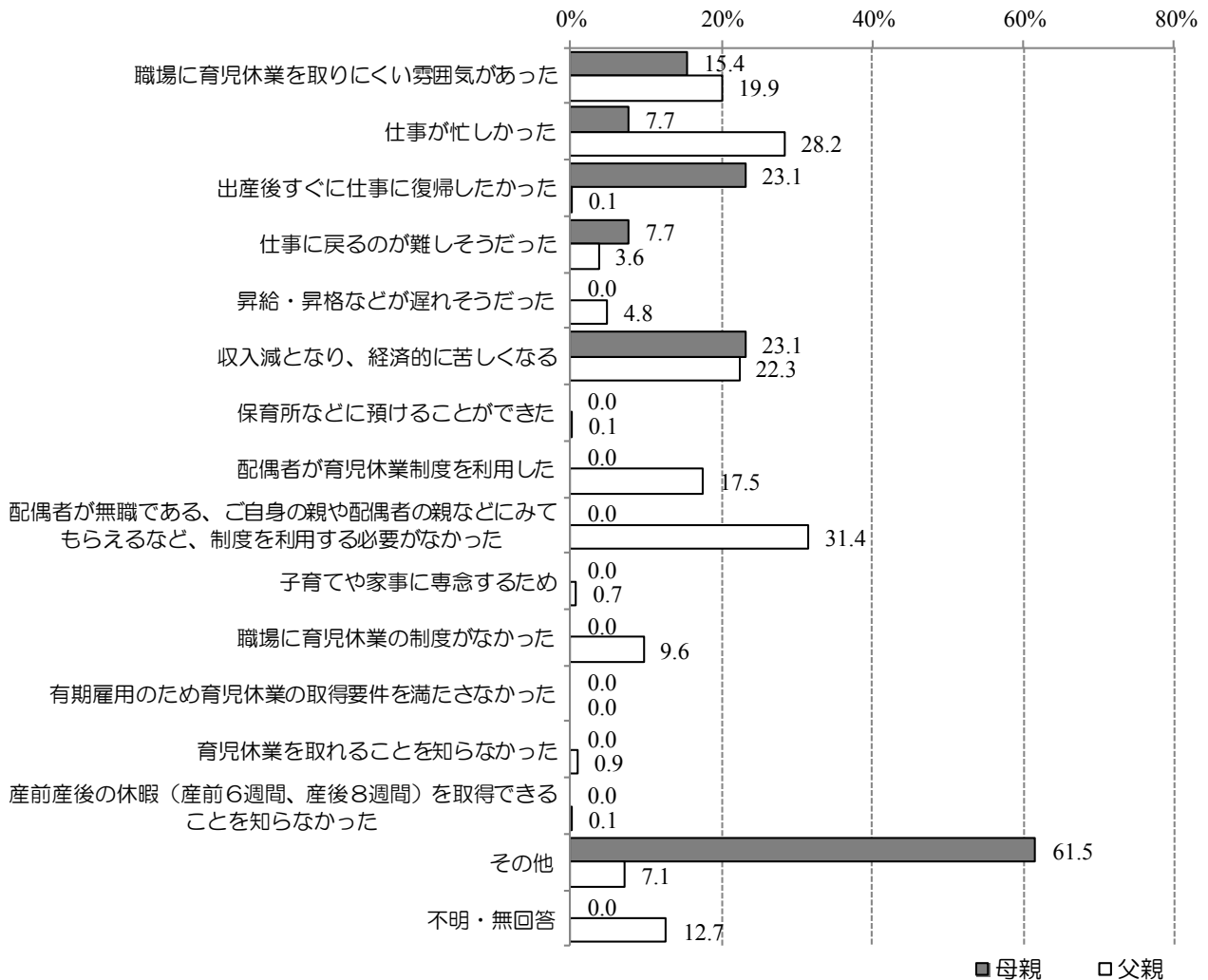


図 57 育児休業を取らずに働いた理由[母親（N=13）、父親（N=687）]

④育児休業を取らずに離職した理由（複数回答）

- 母親の育児休業を取らずに離職した理由は、「子育てや家事に専念するため」が最も高く（37.2%）、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」（27.3%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（18.2%）となっています。
- 父親の育児休業を取らずに離職した理由は、「その他」が最も高くなっています（50.0%）。

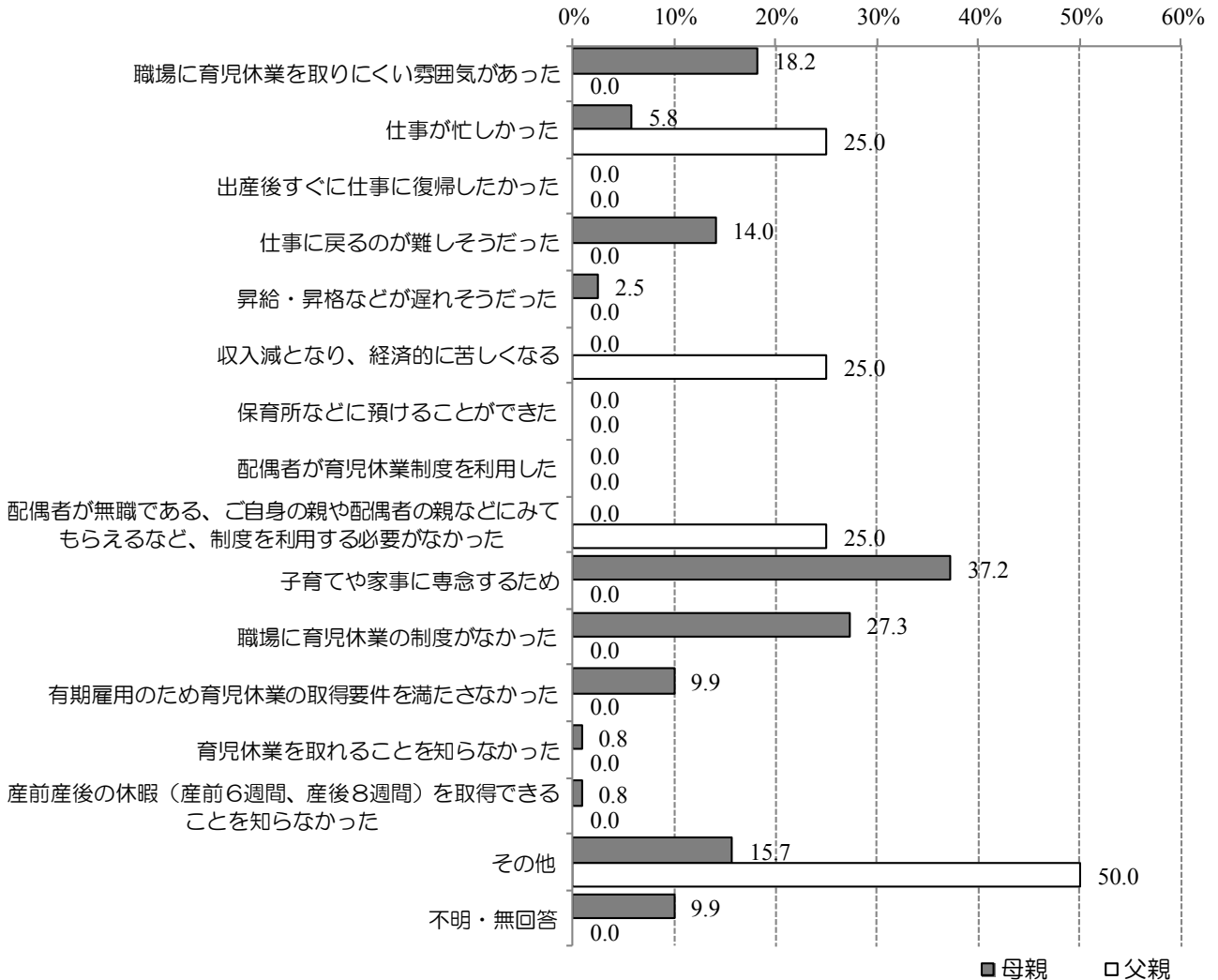


図 58 育児休業を取らずに離職した理由[母親（N=121）、父親（N=4）]

問 20-1 育児休業後の職場への復帰について（単数回答）

※ 問 20 で「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した方を集計

- 母親の育児休業後の職場への復帰は、取得者の約 7 割（68.7%）の方が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しています。
- 父親の育児休業後の職場への復帰は、取得者の約 9 割（86.7%）の方が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答しています。

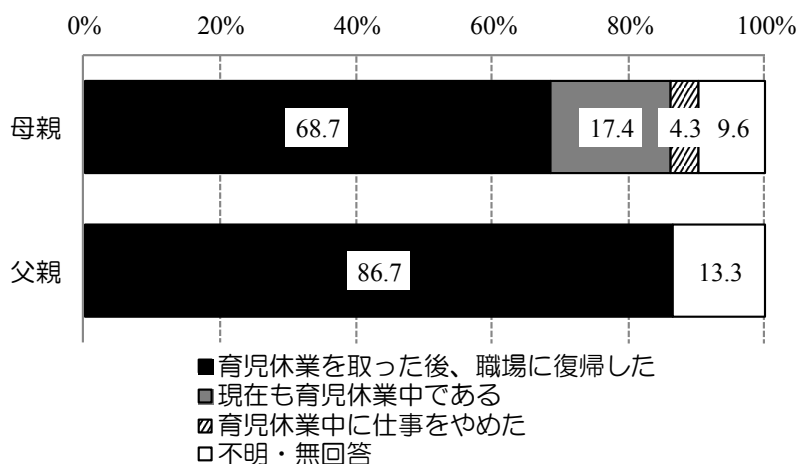


図 59 育児休業後の職場への復帰[母親（N=230）、父親（N=15）]

問 20-2 復職した際の子どもの月齢（取得期間）及び希望月例（取得期間）

※ 問 20-1 で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した方を集計

① 実際（数量回答）

- 母親の復職した際の子どもの月齢は、「1 歳」が最も高くなっています（23.4%）。
- 父親の復職した際の子どもの月齢は、「0～3 ヶ月」が最も高くなっています（53.8%）。

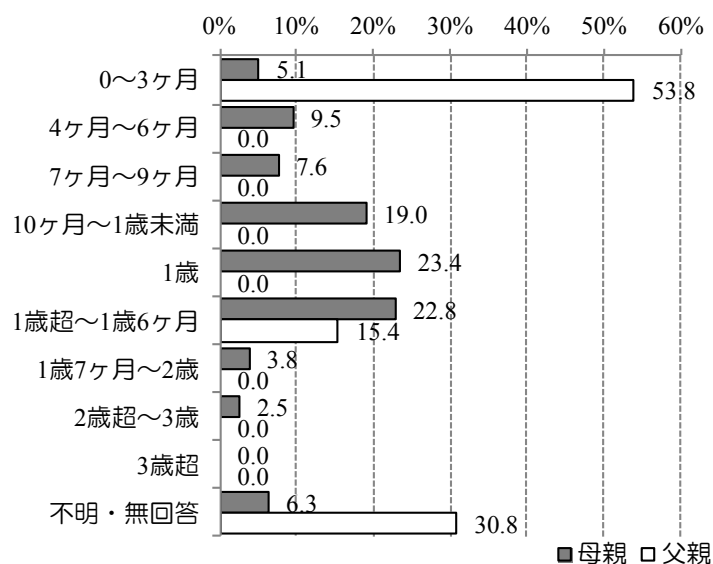


図 60 復職した際の子どもの月齢 実際[母親（N=158）、父親（N=13）]

②希望（数量回答）

- 母親の復職する際の子どもの希望月齢は、「1歳」が最も高くなっています（21.5%）。
- 父親の復職する際の子どもの希望月齢は、「0～3ヶ月」「1歳」が最も高くなっています（15.4%）。

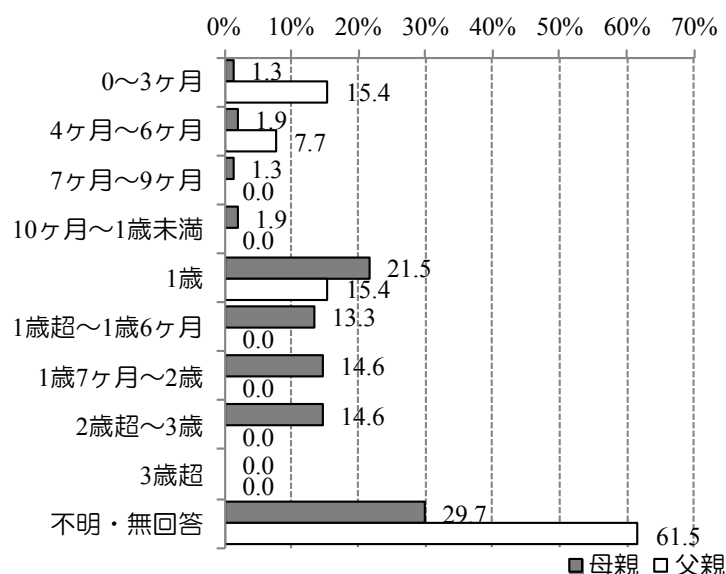


図 61 復職する際の子どもの月齢 希望[母親 (N=158)、父親 (N=13)]

③希望の時期（単数回答）

- 母親の希望時期は、「満1歳まで」が最も高くなっています（27.2%）。
- 父親の希望時期は、「満1歳まで」「出生後2度目の4月の一斉入所時」が最も高くなっています（15.4%）。

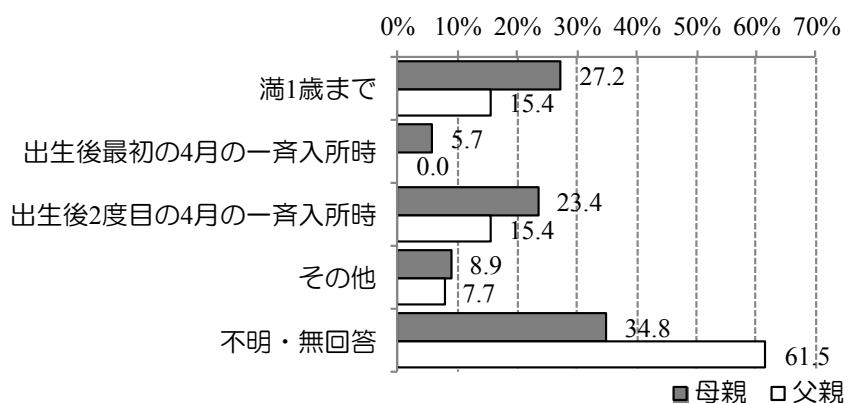


図 62 希望の時期[母親 (N=158)、父親 (N=13)]

問20-3 子どもが3歳まで休暇取得可能であった場合の子どもの希望月齢（数量回答）

※ 問20-1で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」と回答した方を集計

- 母親の子どもの希望月齢は、「2歳超～3歳」が最も高くなっています（32.3%）。
- 父親の子どもの希望月齢は、「1歳」が最も高くなっています（30.8%）。

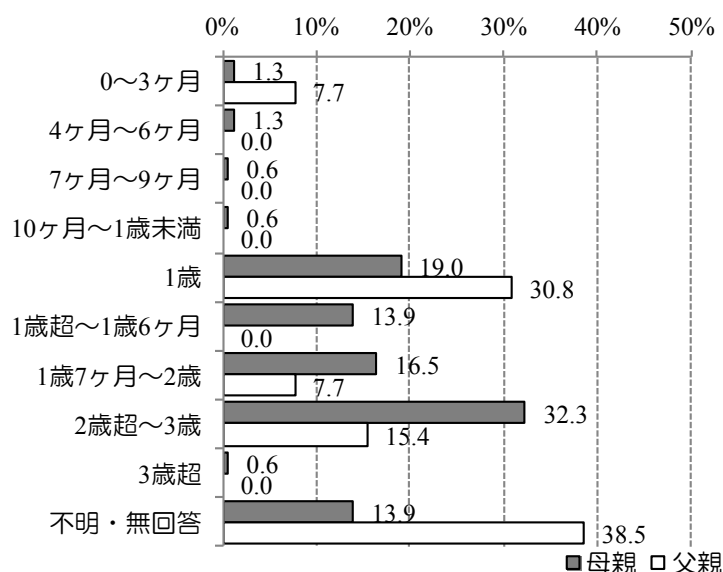


図 63 休暇取得可能であった場合の子どもの希望月齢[母親 (N=158)、父親 (N=13)]

問21 子どもと一緒に過ごす時間

【平日】

①時間（数量回答）

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」が最も高くなっています（52.9%）。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間は、「1～2時間未満」が最も高くなっています（22.3%）。

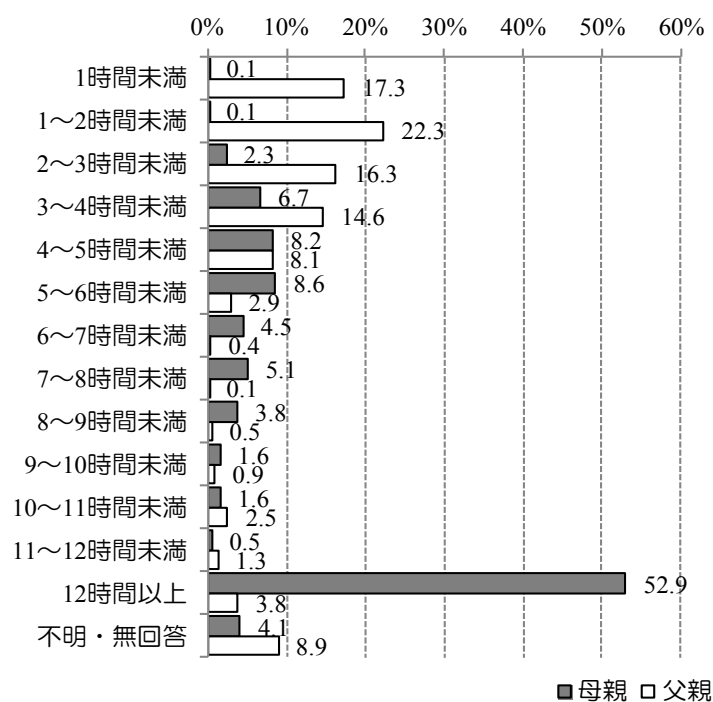


図 64 子どもと一緒に過ごす時間 平日[母親 (N=826)、父親 (N=786)]

②時間について（単数回答）

※ ①を回答した方を集計

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が最も高く（60.6%）、次いで「あまり十分だとは思わない」（14.0%）となっています。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間については、「不十分だと思う」が最も高く（39.0%）、次いで「あまり十分だとは思わない」（23.6%）となっています。

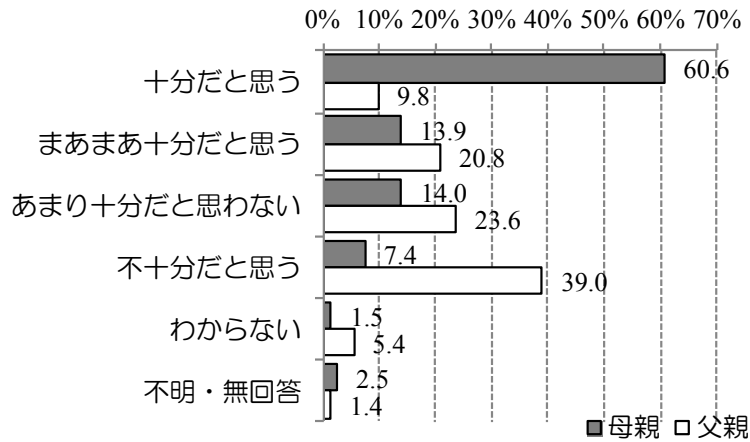


図 65 子どもと一緒に過ごす時間について 平日[母親 (N=792)、父親 (N=716)]

【休日】

①時間（数量回答）

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間は、「12 時間以上」が最も高くなっています（86.7%）。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間は、「12 時間以上」が最も高くなっています（61.8%）。

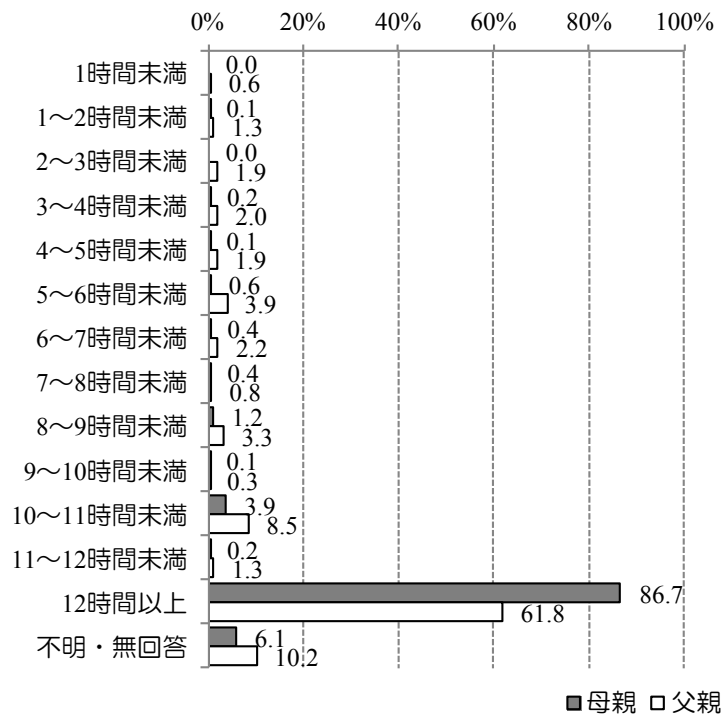


図 66 子どもと一緒に過ごす時間 休日[母親 (N=826)、父親 (N=786)]

②時間について（単数回答）

※ ①を回答した方を集計

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が最も高く（90.2%）、次いで「まあまあ十分だと思う」（6.4%）となっています。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が最も高く（64.3%）、次いで「まあまあ十分だと思う」（17.7%）となっています。

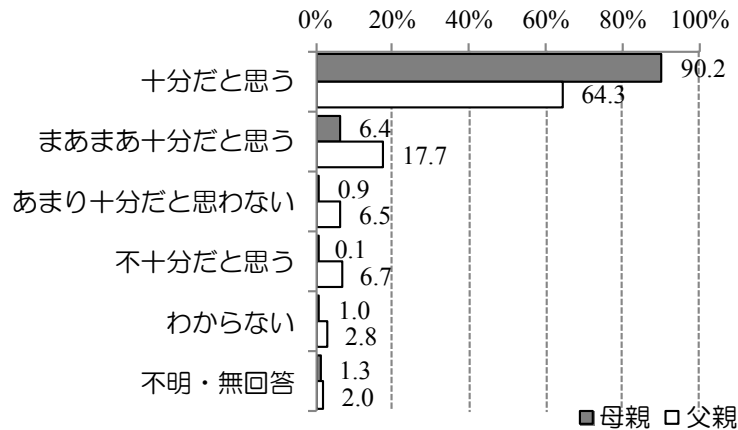


図 67 子どもと一緒に過ごす時間について 休日[母親 (N=776)、父親 (N=706)]

問22 家事に費やす時間（数量回答）

- 母親の家事に費やす 1 日当たりの平均時間は、「4～5 時間未満」が最も高くなっています（16.7%）。
- 父親の家事に費やす 1 日当たりの平均時間は、「1 時間未満」が最も高くなっています（55.1%）。

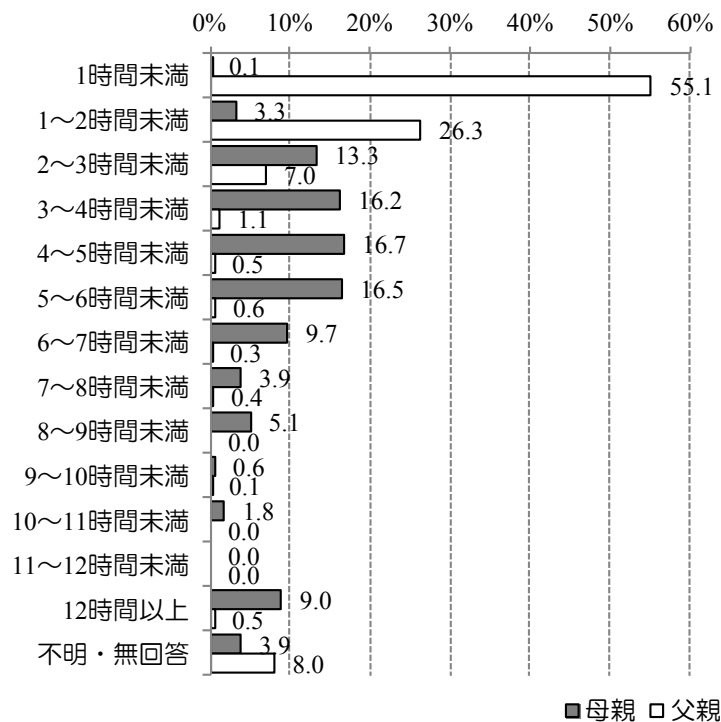


図 68 家事に費やす時間/日[母親 (N=826)、父親 (N=786)]

問23 仕事と子育てを両立させる上での課題（複数回答）

- 仕事と子育てを両立させる上での課題は、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も高く（58.1%）、次いで「残業や出張が入ること」（40.9%）、「子どもと接する時間が少ないこと」（39.4%）となっています。

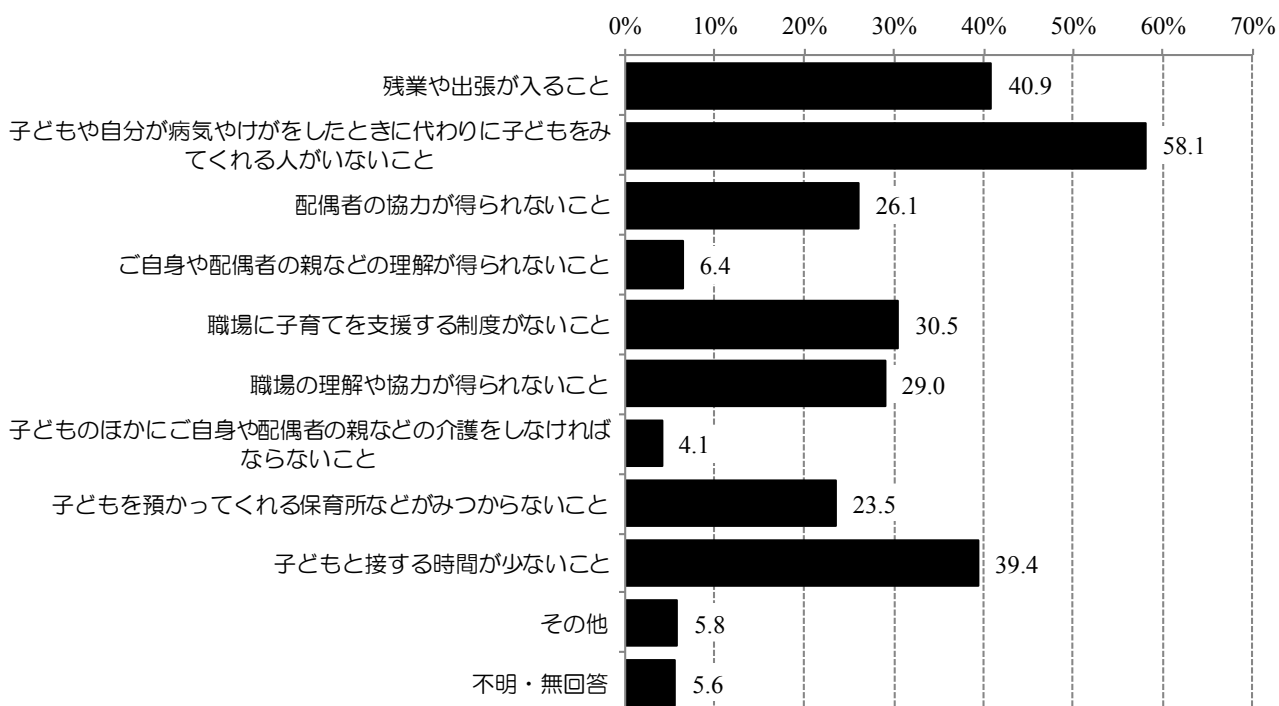


図 69 仕事と子育てを両立させる上での課題（N=856）

7 小学校就学後の放課後の過ごし方

※ 問24～問27は、次年度（平成26年度）小学校入学予定者を集計

問24 小学校就学後における放課後の過ごし方（小学校1～3年生の間）

①放課後の過ごし方（複数回答）

- 小学校1～3年生の間放課後の過ごし方は、「自宅」が最も高く（57.8%）、次いで「放課後児童会」（45.0%）、「習い事」（42.2%）となっています。

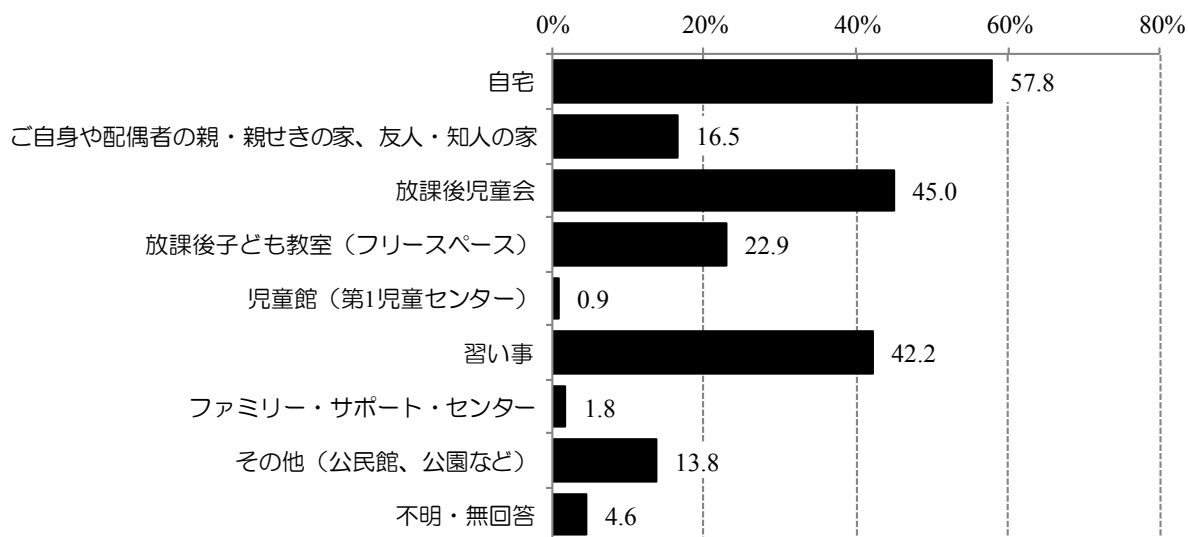
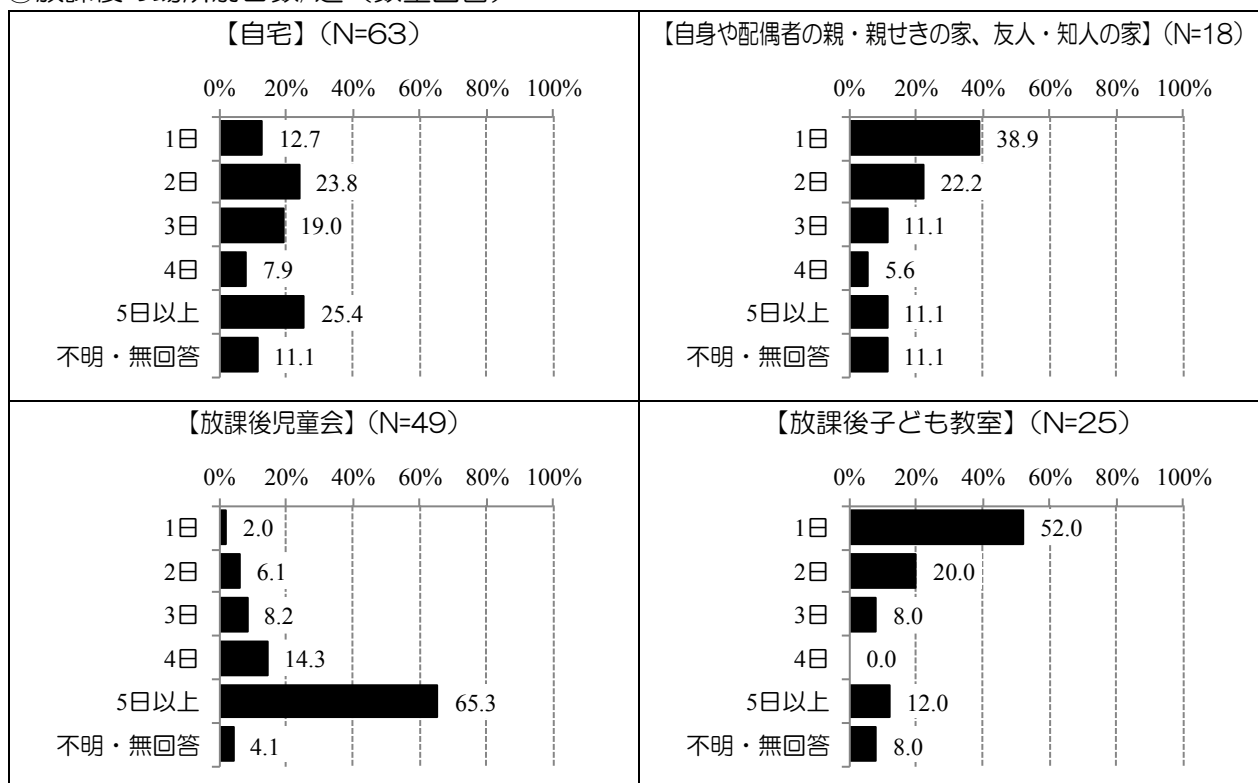


図 70 放課後の過ごし方（小学校1～3年生）（N=109）

②放課後の場所別日数/週（数量回答）



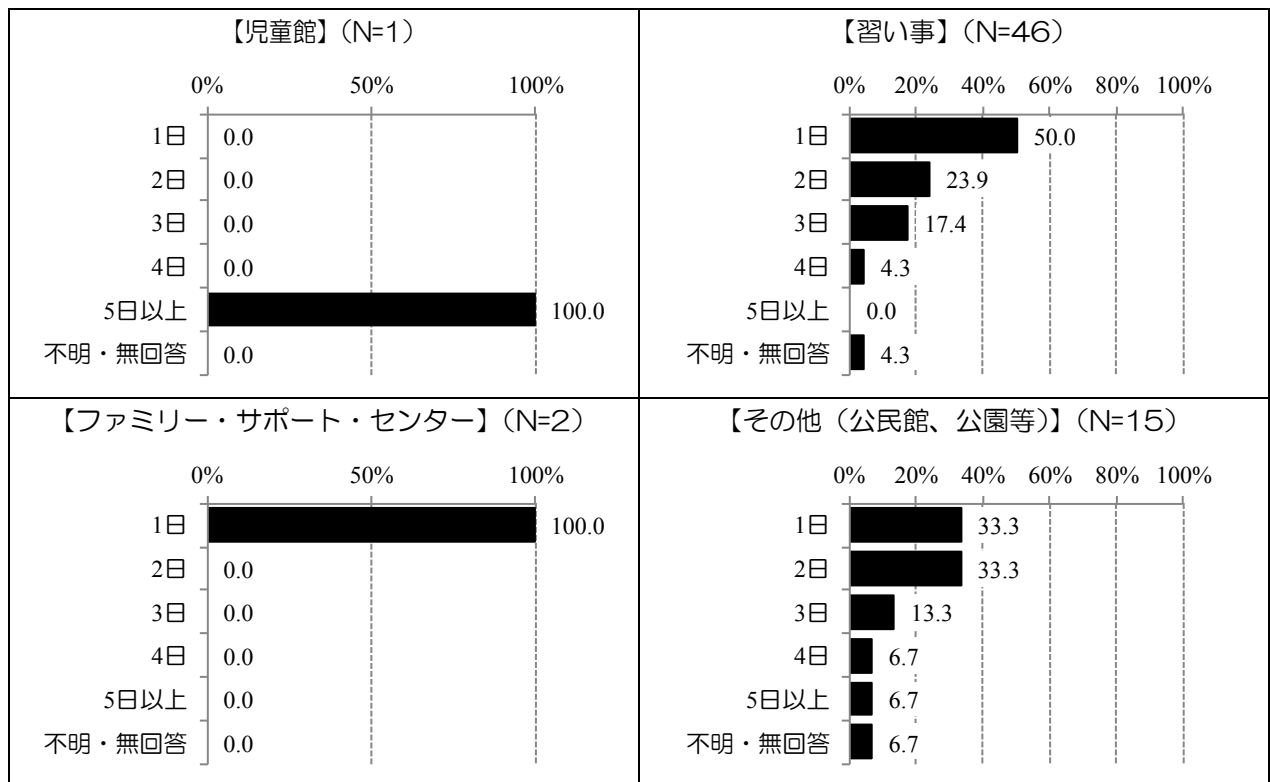


図 71 放課後の場所別日数 (小学校 1~3 年生)

③下校時からの利用希望時間 学童保育所 (数量回答)

- 利用時間は、「18 時~19 時」までが最も高く (28.6%)、次いで「19 時~20 時」まで (24.5%) となっています。

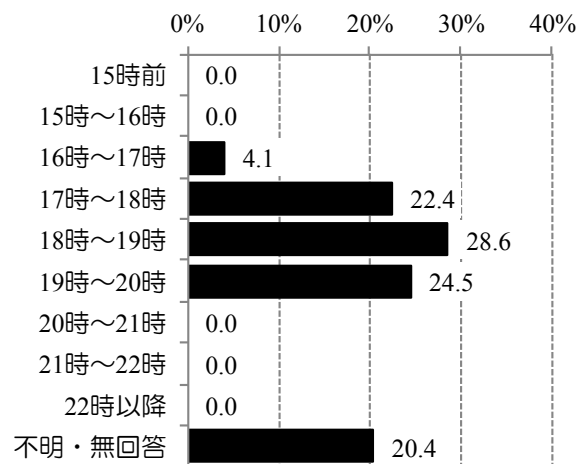


図 72 下校時からの利用希望時間 学童保育所 (N=49)

問25 小学校就学後における放課後の過ごし方（小学校4～6年生の間）

①放課後の過ごし方（複数回答）

- 小学校4～6年生の間の放課後の過ごし方は、「自宅」が最も高く（67.0%）、次いで「習い事」（61.5%）、「放課後子ども教室」（28.4%）となっています。

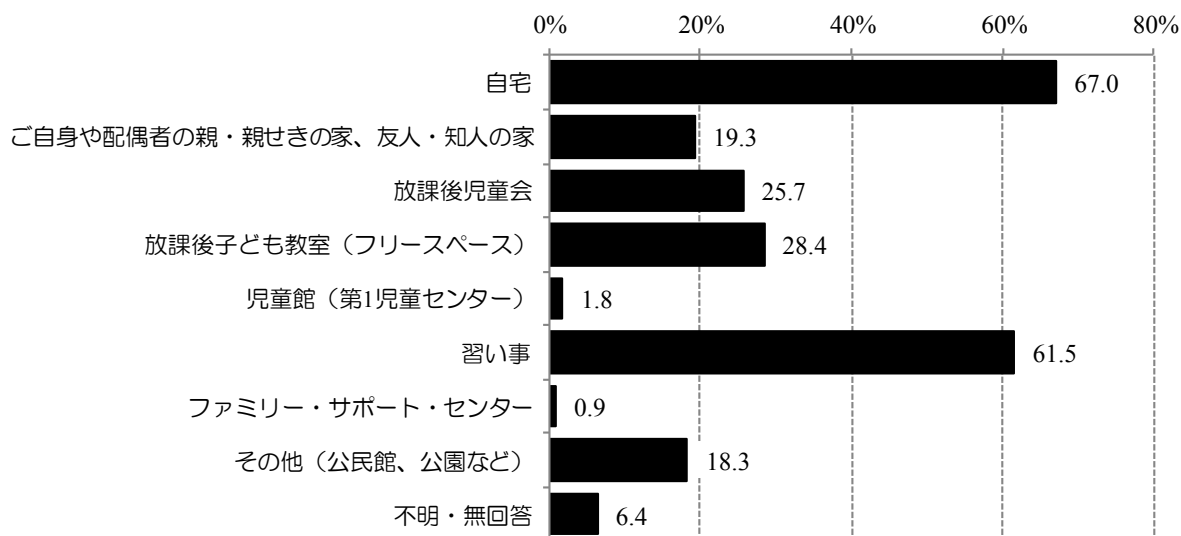
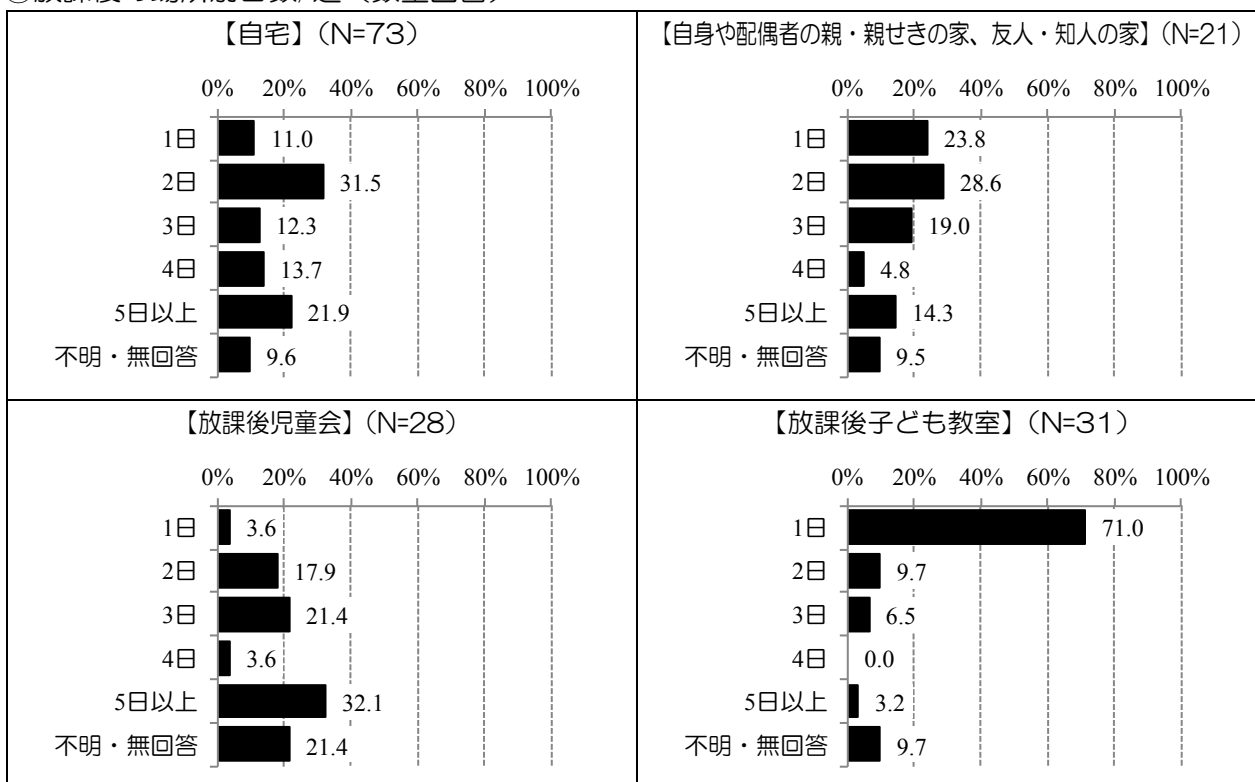


図 73 放課後の過ごし方（小学校4～6年生）（N=109）

②放課後の場所別日数/週（数量回答）



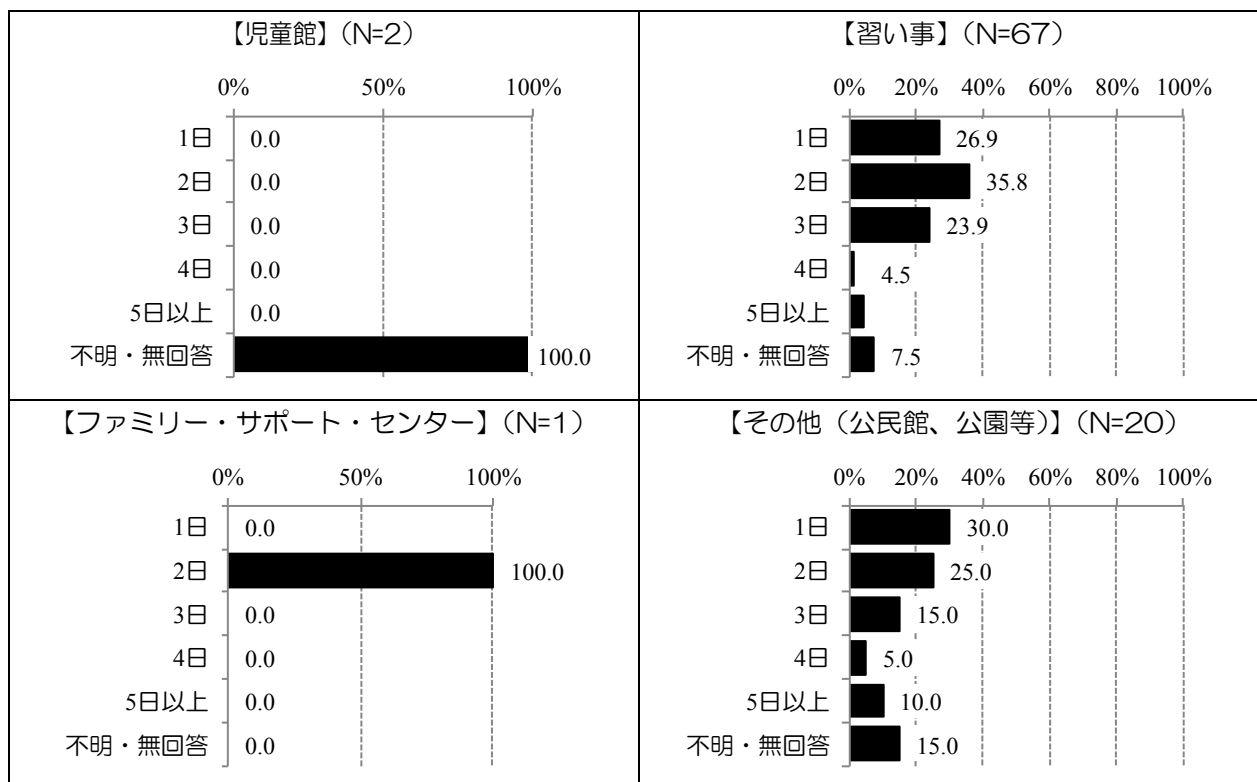


図 74 放課後の場所別日数 (小学校 4~6 年生)

③下校時からの利用希望時間 学童保育所 (数量回答)

- 希望時間は、「19 時~20 時」までが最も高く (35.7%)、次いで「18 時~19 時」まで (32.1%) となっています。

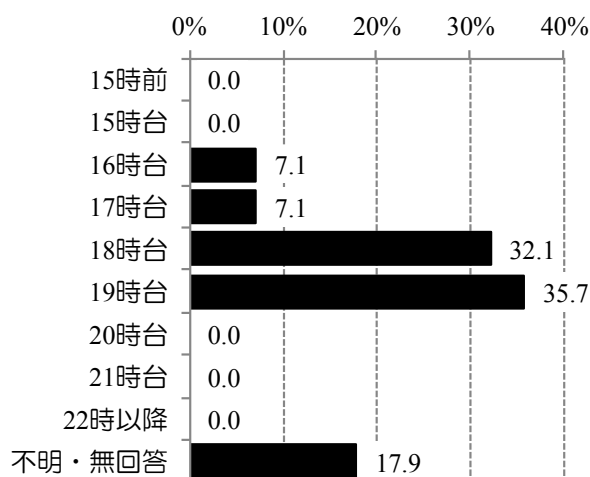


図 75 下校時からの利用希望時間 学童保育所 (N=28)

問26 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童会の利用希望

※ 問24、問25で「放課後児童会」を回答した方を集計

(1) 土曜日

①利用希望（単数回答）

- 土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「利用する必要はない」が最も高くなっています（42.0%）。

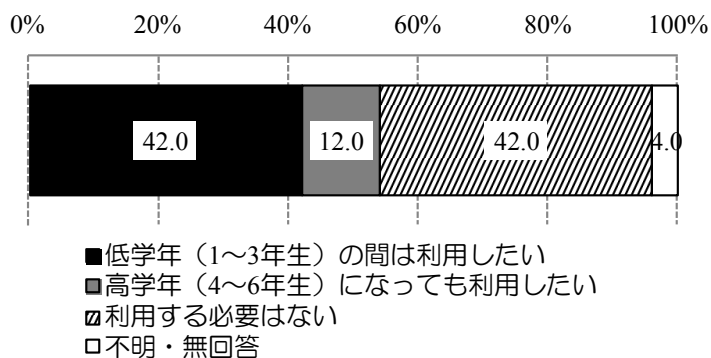


図 76 利用希望 土曜日 (N=50)

②利用希望時間帯_低学年（数量回答）

※ ①で「低学年の間は利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（52.4%）。
- 終了は、「18～19時」が最も高くなっています（42.9%）。

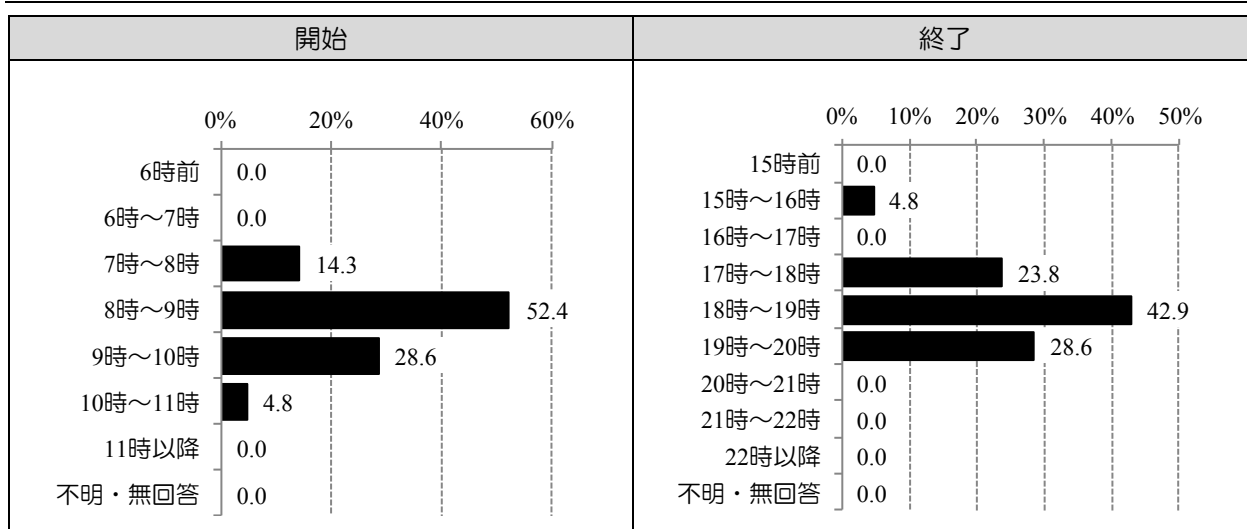


図 77 利用希望時間帯 土曜日_低学年 (N=21)

③利用希望時間帯_高学年（数量回答）

※ ①で「高学年になっても利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（50.0%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高くなっています（66.7%）。

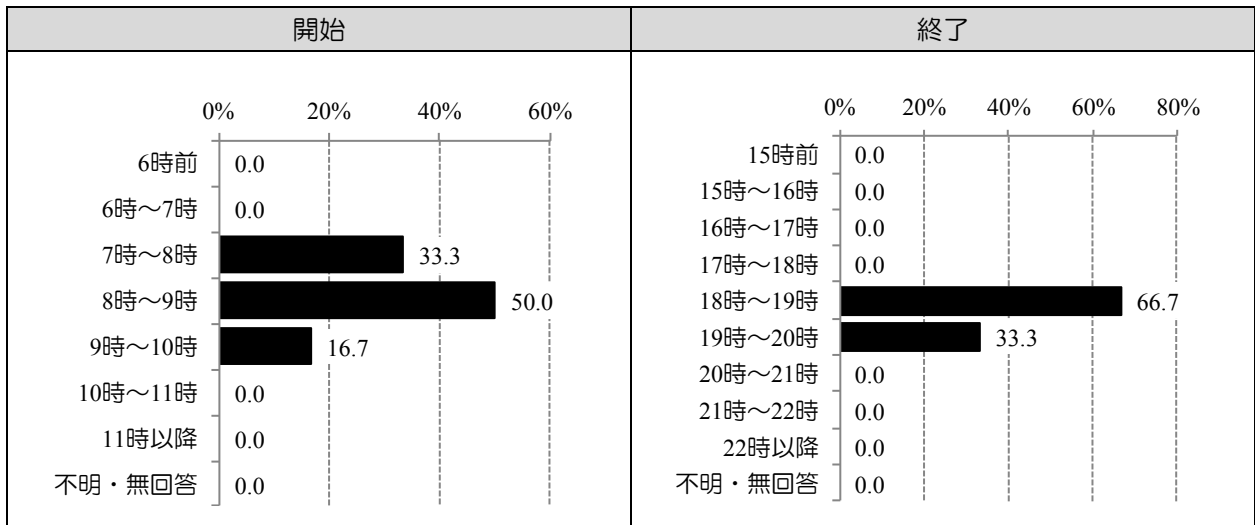


図 78 利用希望時間帯 土曜日_高学年 (N=6)

(2) 日曜日・祝日

①利用希望（単数回答）

- 日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（78.0%）。

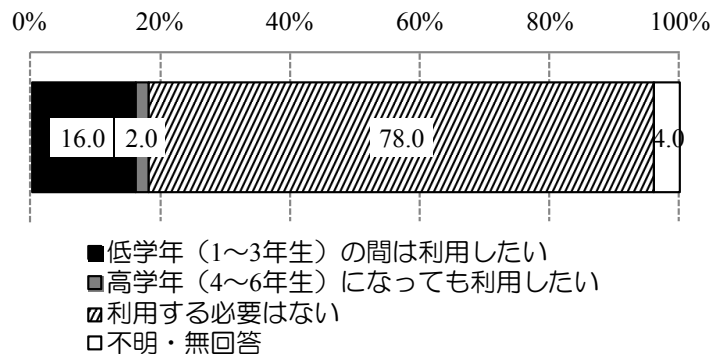


図 79 利用希望 日曜日・祝日 (N=50)

②利用希望時間帯_低学年（数量回答）

※ ①で「低学年の間は利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（75.0%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高くなっています（50.0%）。

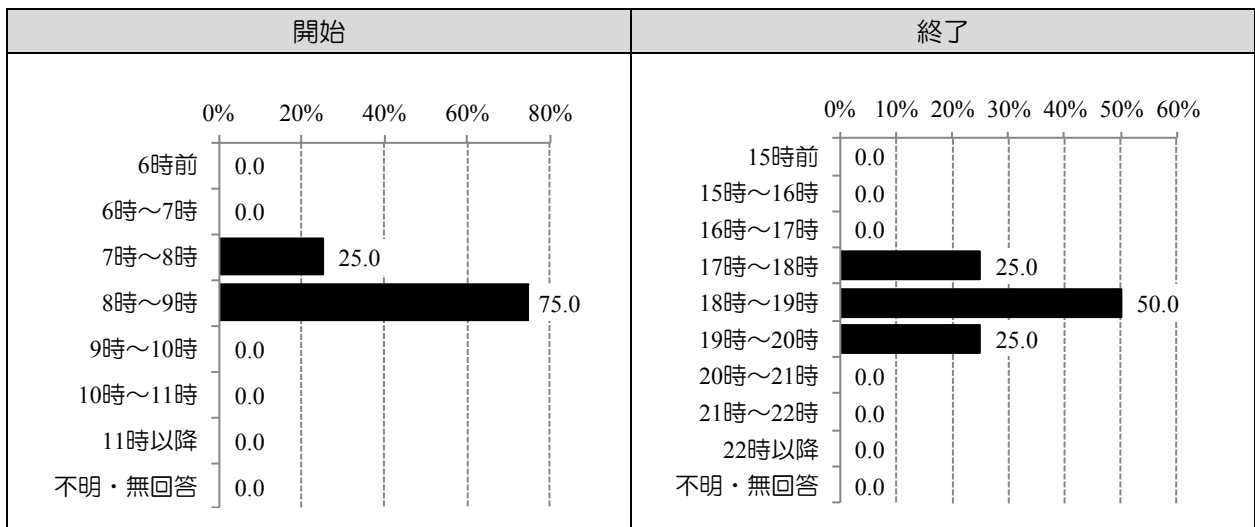


図 80 利用希望時間帯 日曜日・祝日_低学年 (N=8)

③利用希望時間帯_高学年（数量回答）

※ ①で「高学年になっても利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「9時～10時」と回答しています。
- 終了は、「19時～20時」と回答しています。

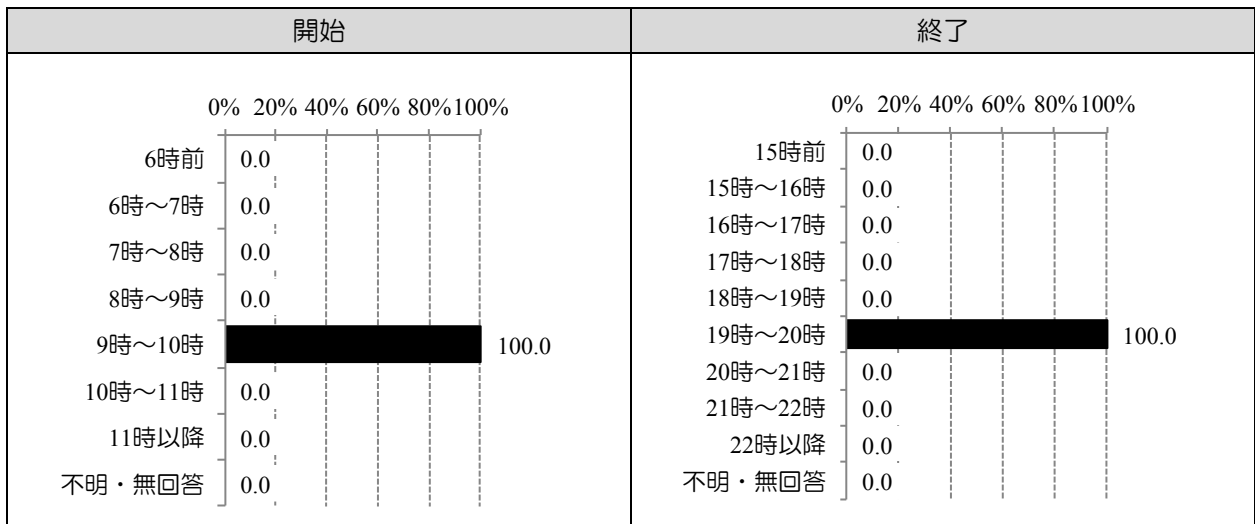


図 81 利用希望時間帯 日曜日・祝日_高学年 (N=1)

問27 長期休暇中の放課後児童会の利用希望

※ 問24、問25で「放課後児童会」と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 長期休暇中の利用希望は、「低学年の間は利用したい」が最も高くなっています（58.0%）。

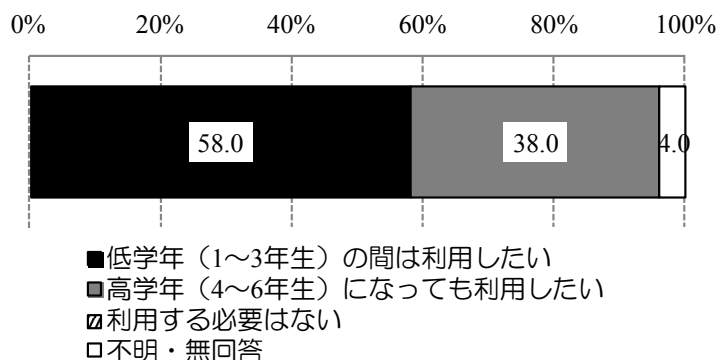


図 82 利用希望 長期休暇中 (N=50)

②利用希望時間帯_低学年（数量回答）

※ ①で「低学年の間は利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（65.5%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高くなっています（41.4%）。

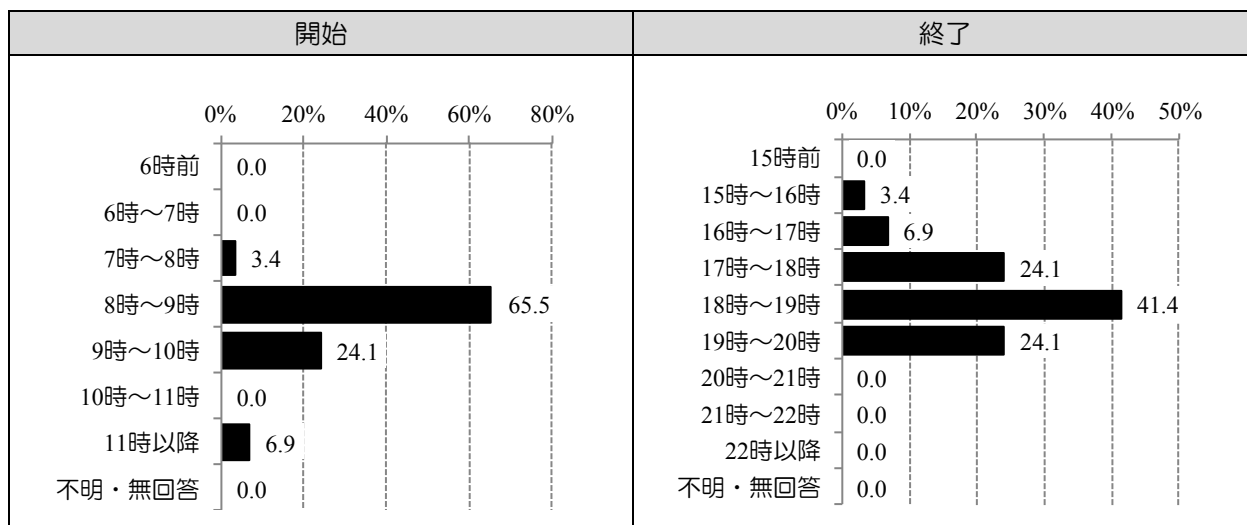


図 83 利用希望時間帯 長期休暇中_低学年 (N=29)

③利用希望時間帯_高学年（数量回答）

※ ①で「高学年になっても利用したい」と回答した方を集計

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（42.1%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高くなっています（52.6%）。

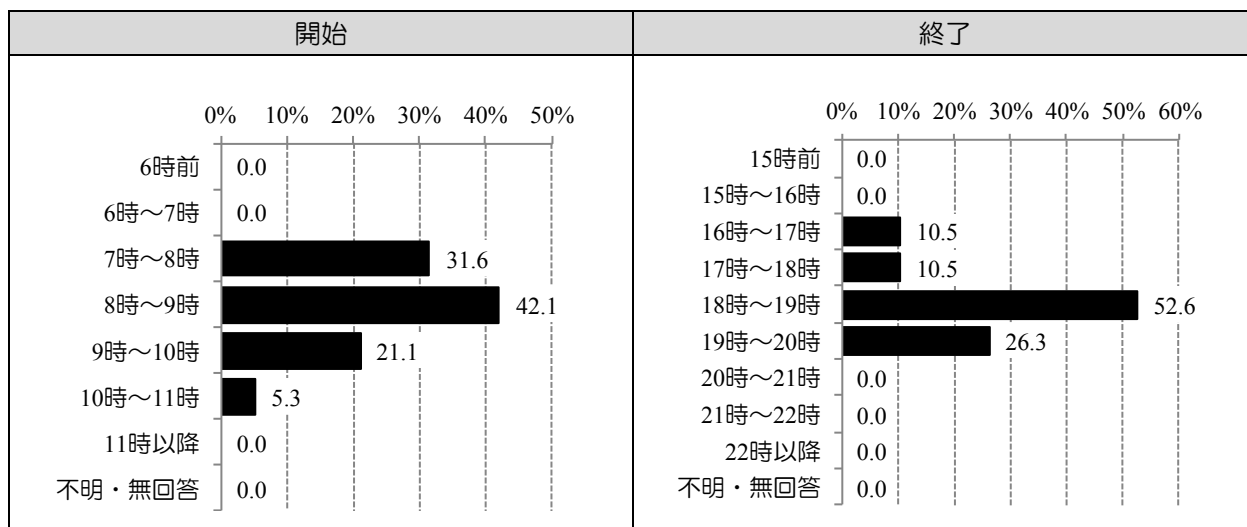


図 84 利用希望時間帯 長期休暇中_高学年 (N=19)

8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問28 不定期で利用している教育・保育事業

①利用状況（複数回答）

- 不定期で利用している教育・保育事業は、「利用していない」が最も高くなっています（73.4%）。利用している事業では「幼稚園の預かり保育」が最も高くなっています（10.5%）

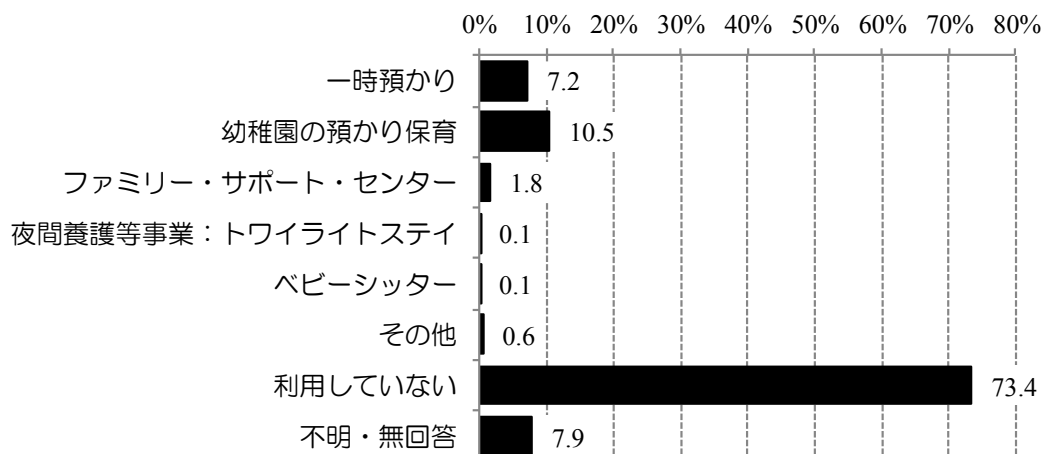
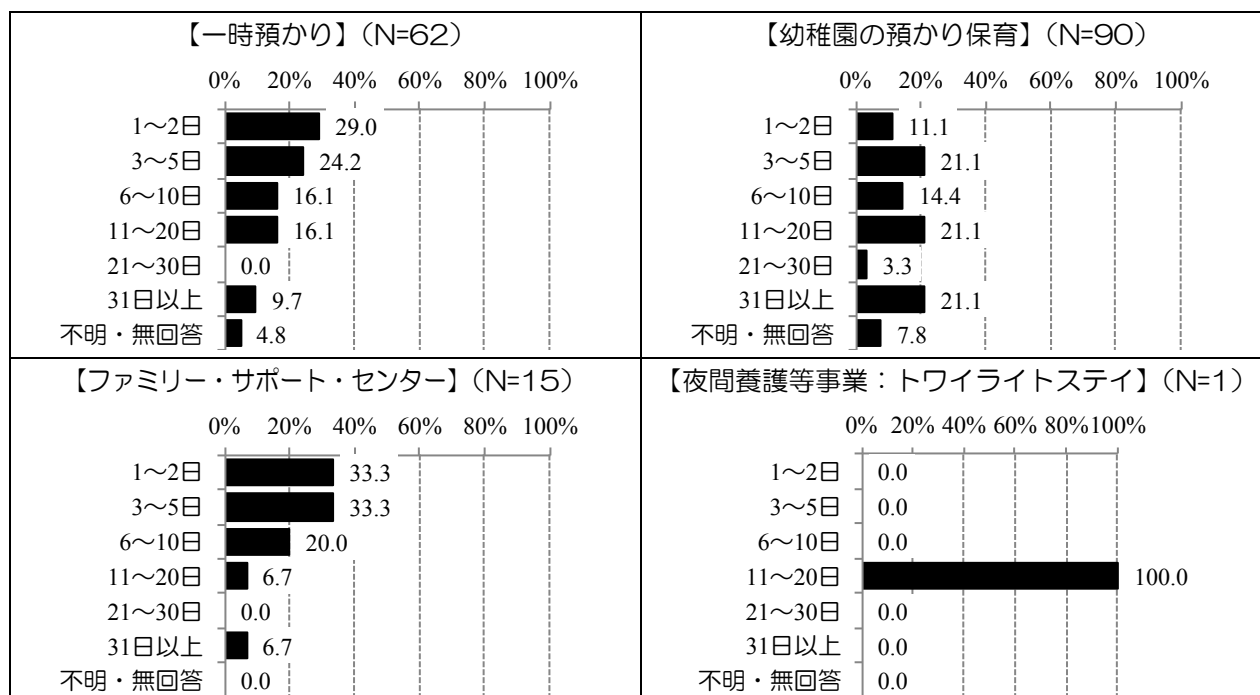


図 85 不定期利用事業 (N=856)

②施設・事業別利用日数（数量回答）

- 「一時預かり」は、「1～2日」が最も高くなっています（29.0%）
- 「幼稚園の預かり保育」は、「3～5日」「11～20日」「31日以上」が最も高くなっています（21.1%）。
- 「ファミリー・サポート・センター」は、「1～2日」「3～5日」が最も高くなっています（33.3%）。



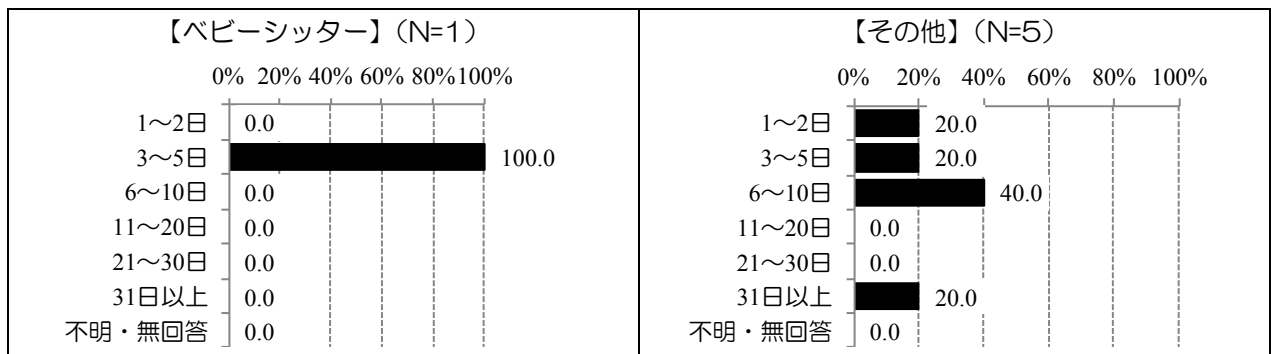


図 86 事業別利用日数

問29 一時預かり等事業の利用希望

①利用希望（単数回答）

- 一時預かり等の利用希望は、約 5 割（51.6%）の方が「利用する必要はない」と回答しています。

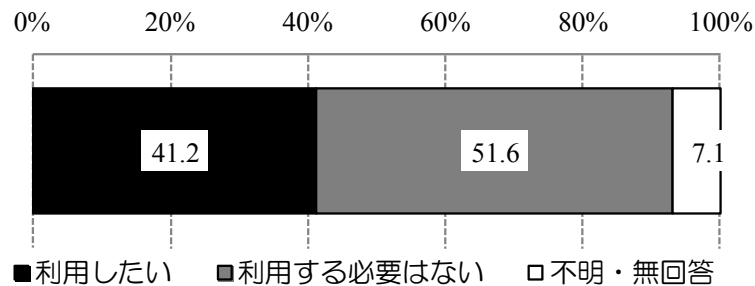


図 87 一時預かり等事業の利用希望 (N=856)

②利用希望目的（複数回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望目的は、「買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ」が最も高く（66.6%）、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」（57.8%）となっています。

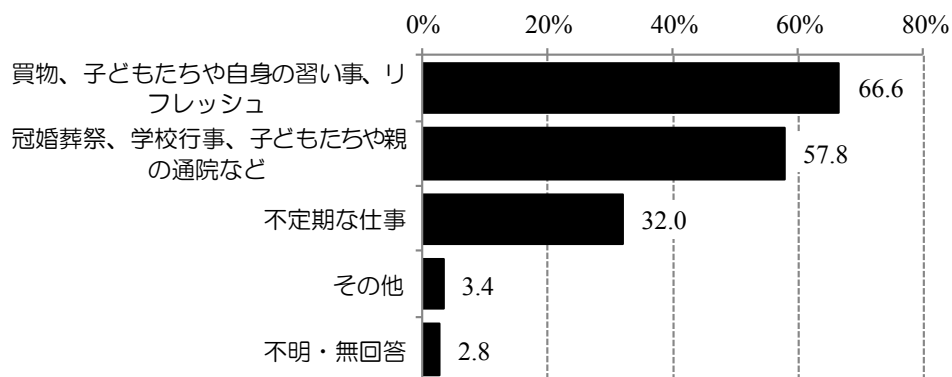


図 88 利用希望目的 (N=353)

③目的別利用希望日数（数量回答）

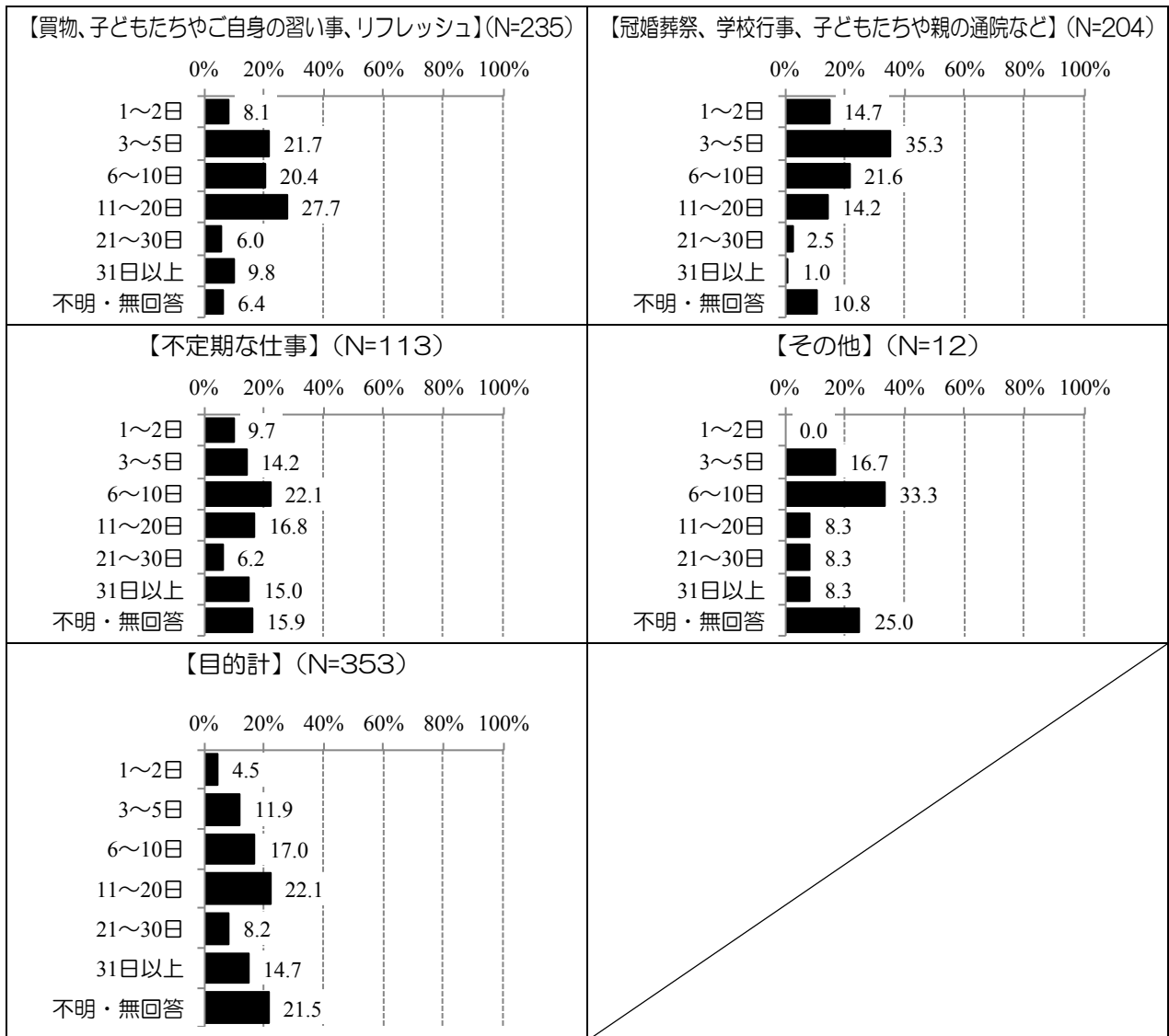


図 89 目的別利用希望日数

問29-1 望ましい事業形態（複数回答）

※ 問29で「利用したい」と回答した方を集計

- 望ましい事業形態は、「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてるサービス」が最も高くなっています（83.9%）。

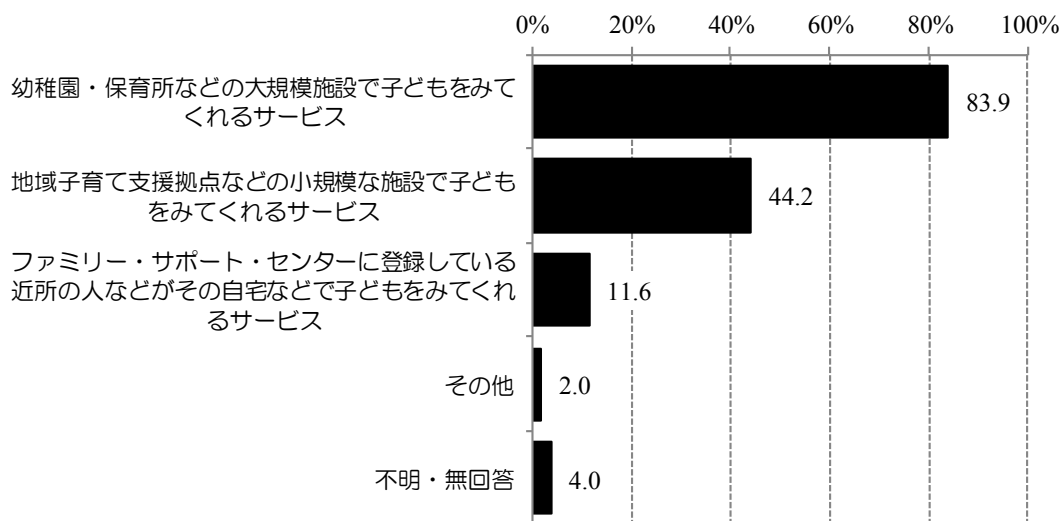


図 90 望ましい事業形態 (N=353)

問30 この1年間に保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

①状況（単数回答）

- 保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかは、約7割（73.0%）の方が「なかった」と回答しています。

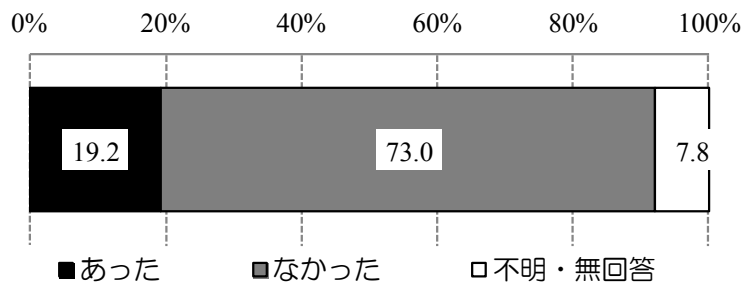


図 91 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか (N=856)

②対処方法（複数回答）

※ ①で「あった」と回答した方を集計

- 対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が最も高く（86.6%）、次いで「仕方なく子どもを同行させた」（15.2%）となっています。

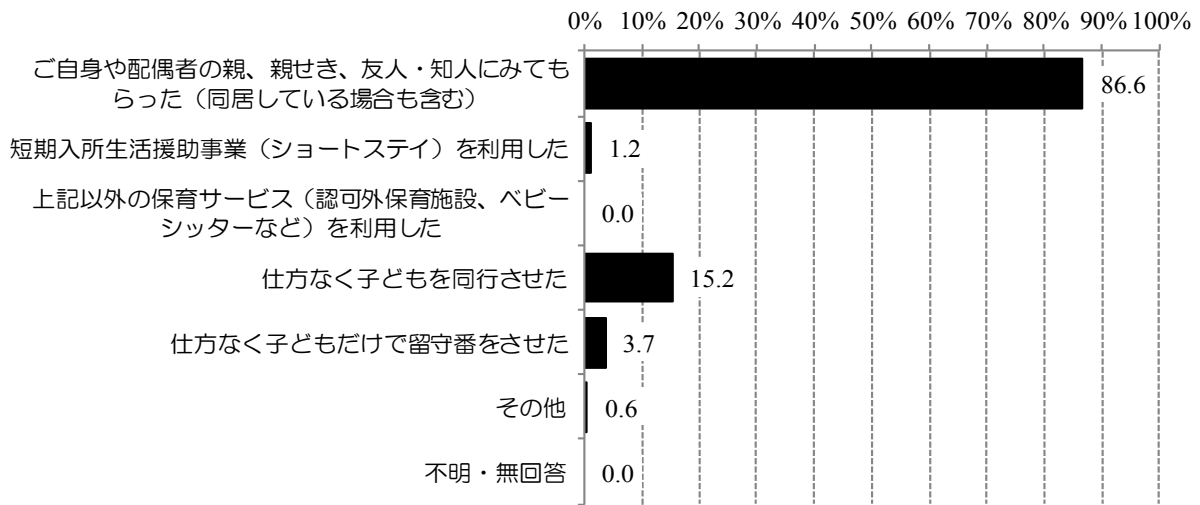


図 92 対処方法（N=164）

③対処方法別泊数（数量回答）

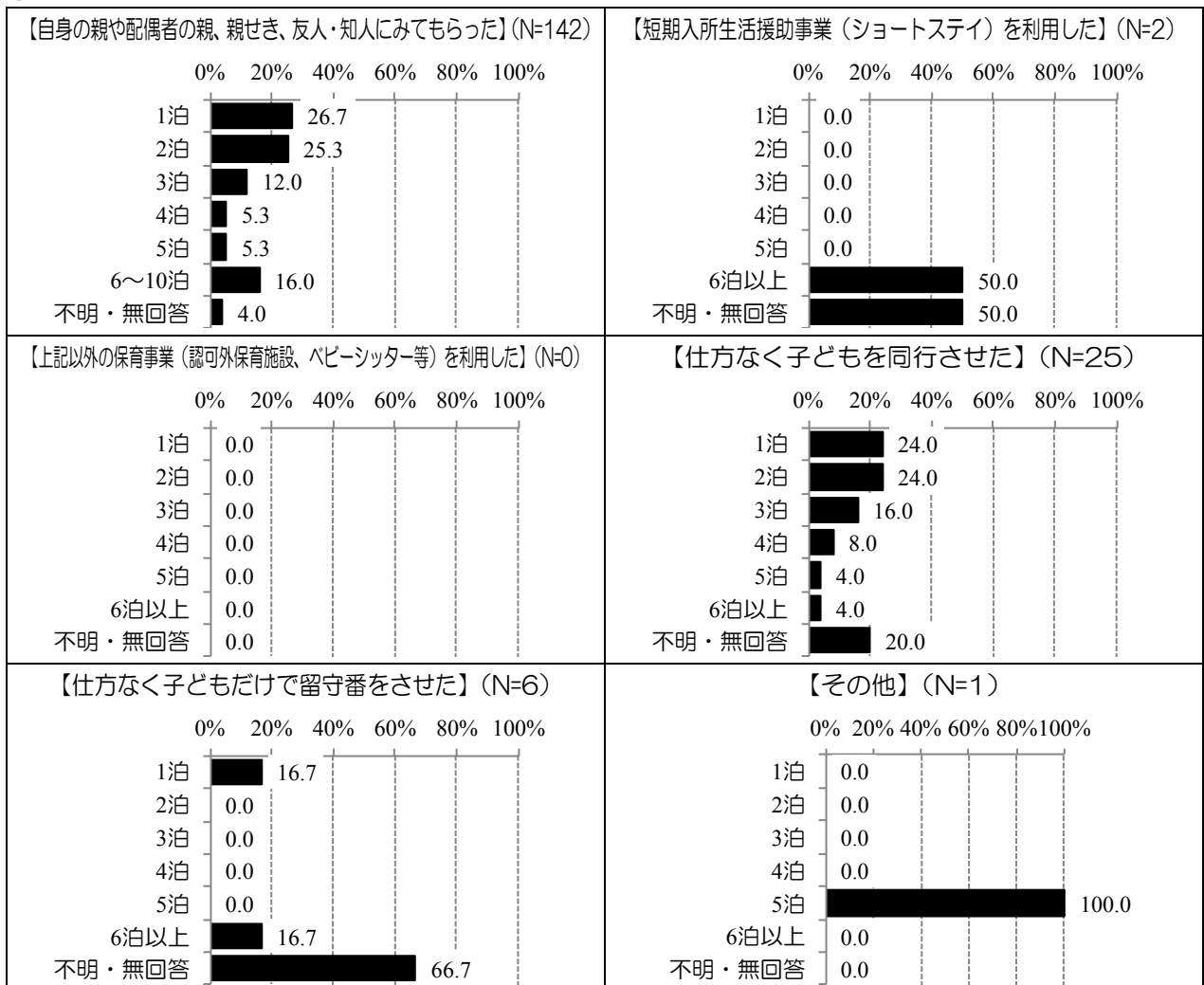


図 93 事業別利用日数

9 地域の子育て支援サービス利用状況

問3 1 子育て支援事業の利用状況

①利用状況（複数回答）

- 利用状況は、約 8 割（76.5%）の方が「利用していない」と回答しています。

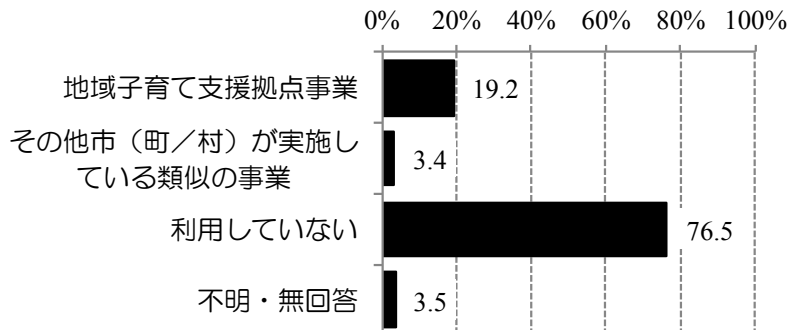


図 94 利用状況 (N=856)

②利用回数/週・月（数量回答） 地域子育て支援拠点事業

- 1 週当たりの利用回数は、「2 回」が最も高くなっています（14.0%）。
- 1 ヶ月当たりの利用回数は、「1～2 回」が最も高くなっています（47.6%）。

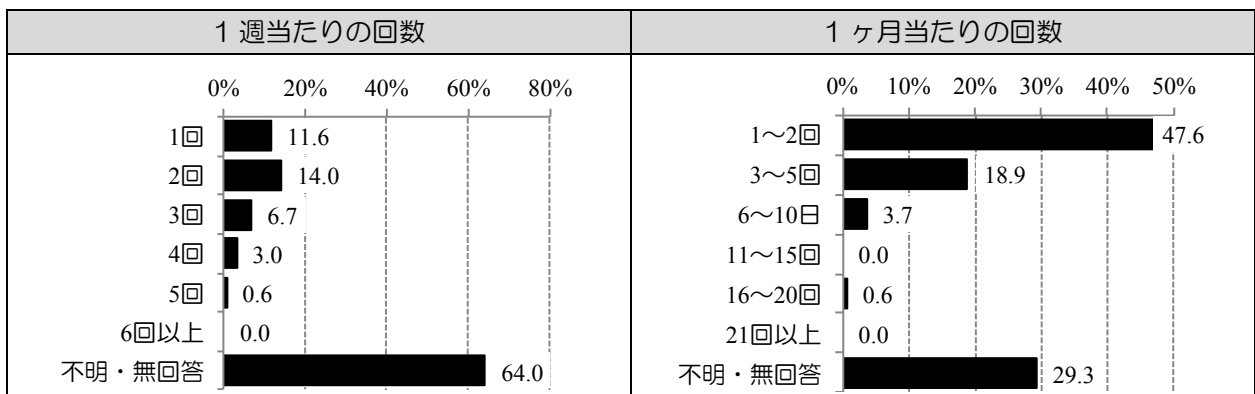


図 95 利用回数 (N=164)

③利用回数/週・月（数量回答） 類似事業

- 1 週当たりの利用回数は、「1 回」が最も高くなっています（6.9%）。
- 1 ヶ月当たりの利用回数は、「1～2 回」が最も高くなっています（86.2%）。

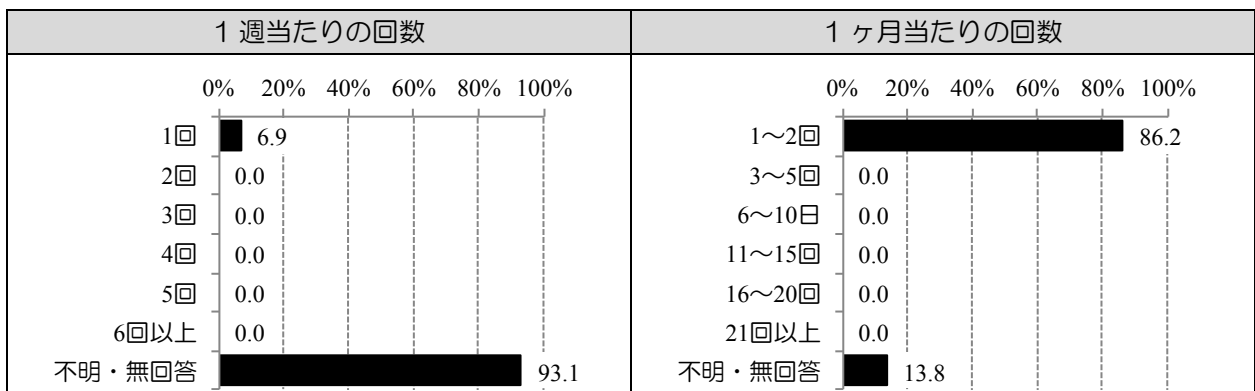


図 96 利用回数 (N=29)

問31-1 利用していない理由（複数回答）

※ 問31で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「時間がない」が最も高く（41.2%）、次いで「その他」（27.9%）、
「利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい」（19.1%）となっています。

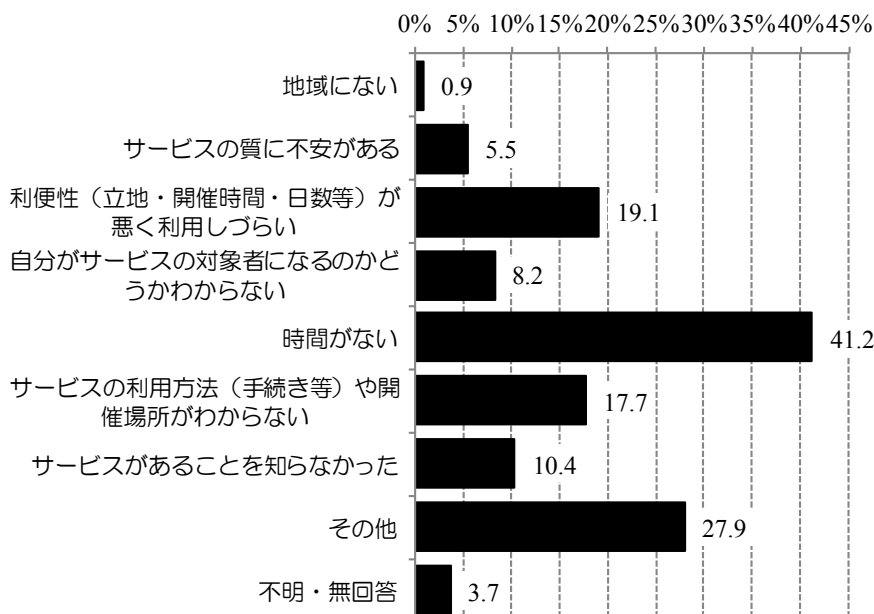


図 97 利用していない理由 (N=655)

問32 今後の子育て支援事業の利用希望

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、約6割（58.8%）の方が「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」と回答しています。

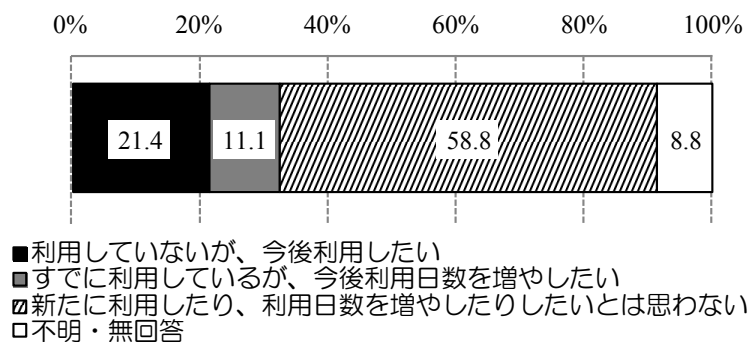


図 98 利用希望 (N=856)

②利用回数/週・月 「利用していないが、今後利用したい」(数量回答)

- 1 週当たりの利用回数は、「1 回」が最も高くなっています (13.7%)。
- 1 ヶ月当たりの利用回数は、「1~2 回」が最も高くなっています (58.5%)。

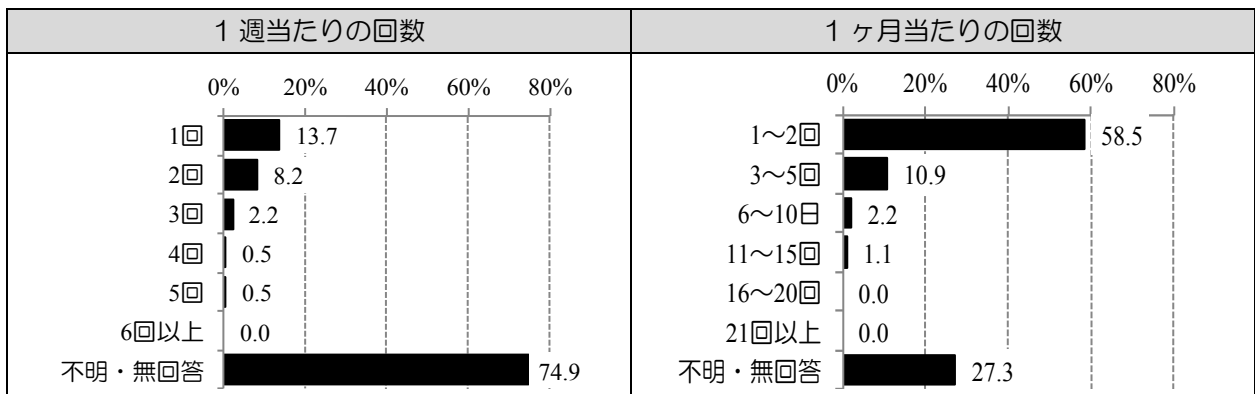


図 99 利用回数 「利用していないが、今後利用したい」(N=183)

③利用回数/週・月 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(数量回答)

- 1 週当たりの増やしたい利用回数は、「2 回」が最も高くなっています (25.3%)
- 1 ヶ月当たりの利用回数は、「3~5 回」が最も高くなっています (18.9%)。

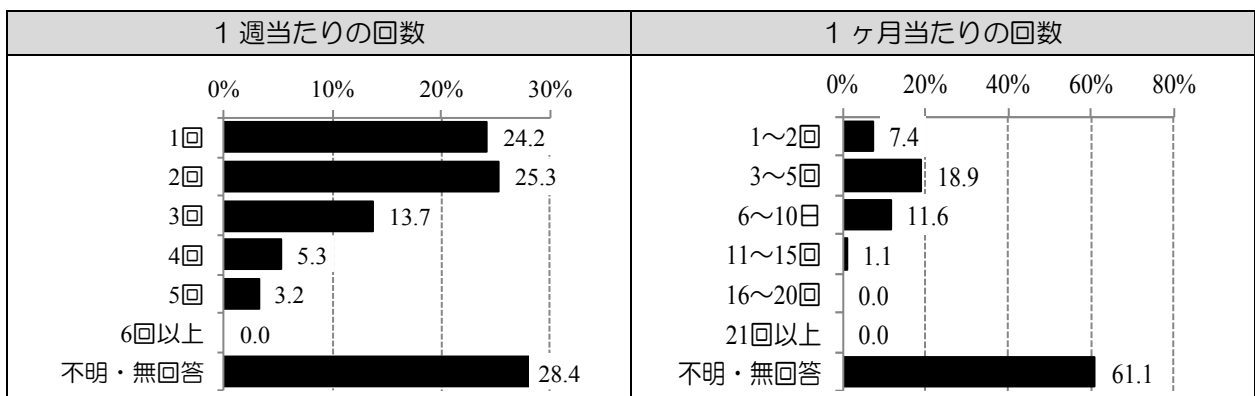


図 100 利用回数 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(N=95)

問 32-1 利用したいサービス（複数回答）

※ 問 32 で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が最も高く（85.3%）、次いで「子育てに関する相談・援助」（38.8%）、「地域の子育て関連情報の提供」（34.2%）となっています。

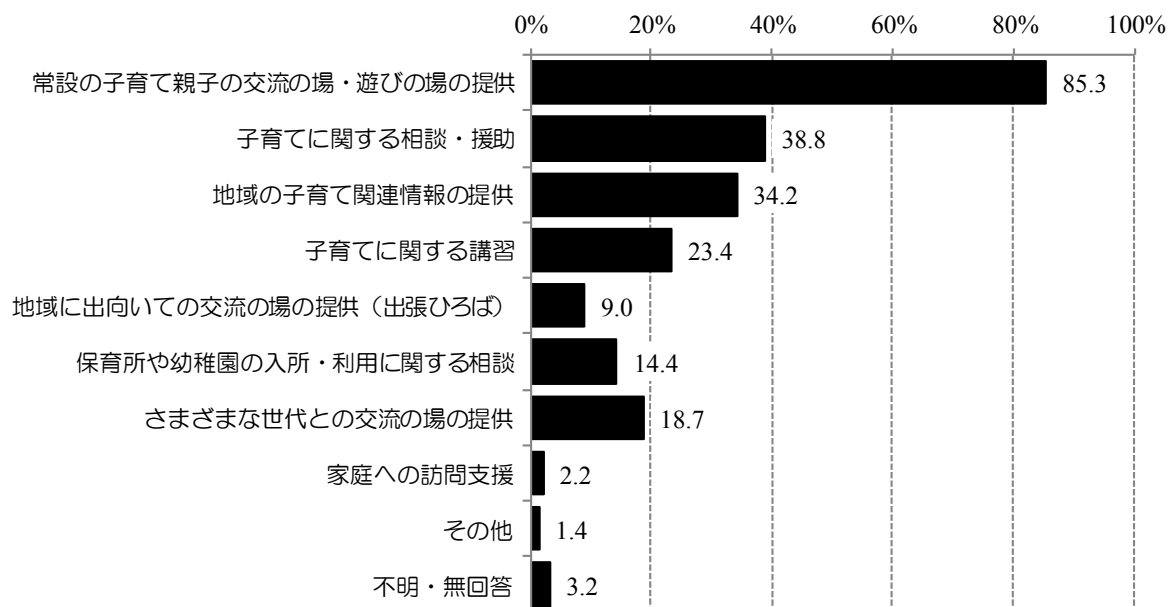


図 101 利用したいサービス (N=278)

問33 子育て支援サービス・事業の認知度・利用経験・今後の利用意向

①認知度（単数回答）

- 認知度は、「保育所・幼稚園の園庭などの開放・相談」が最も高く（88.2%）、次いで「市が実施する教室」（86.6%）、「北河内夜間救急センター」（86.3%）となっています。

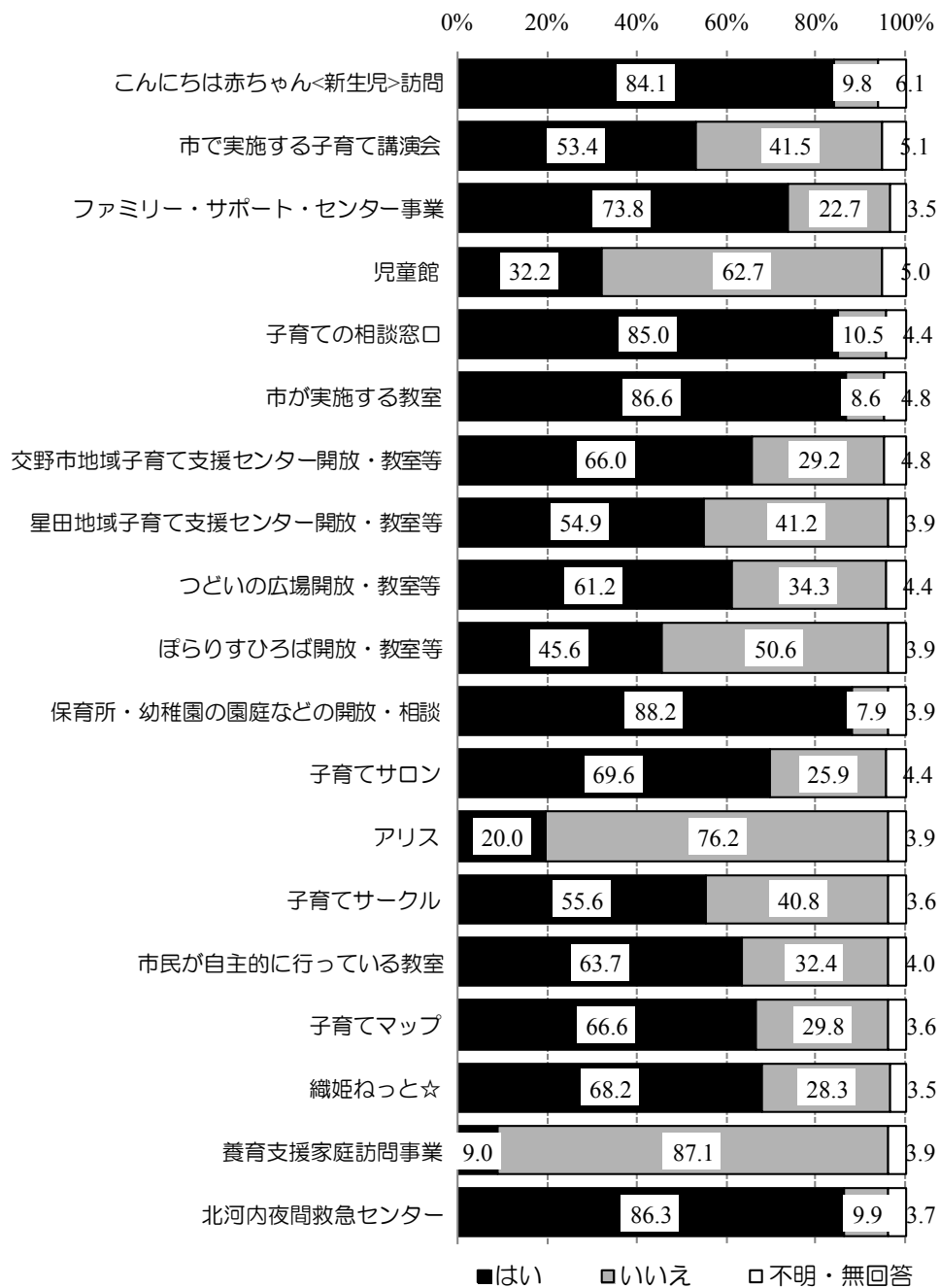


図 102 子育て支援サービス・事業の認知度 (N=856)

②利用経験（単数回答）

- 利用経験は、「こんにちは赤ちゃん<新生児>訪問」が最も高く（65.3%）、次いで「北河内夜間救急センター」（44.9%）、「市が実施する教室」（44.3%）となっています。

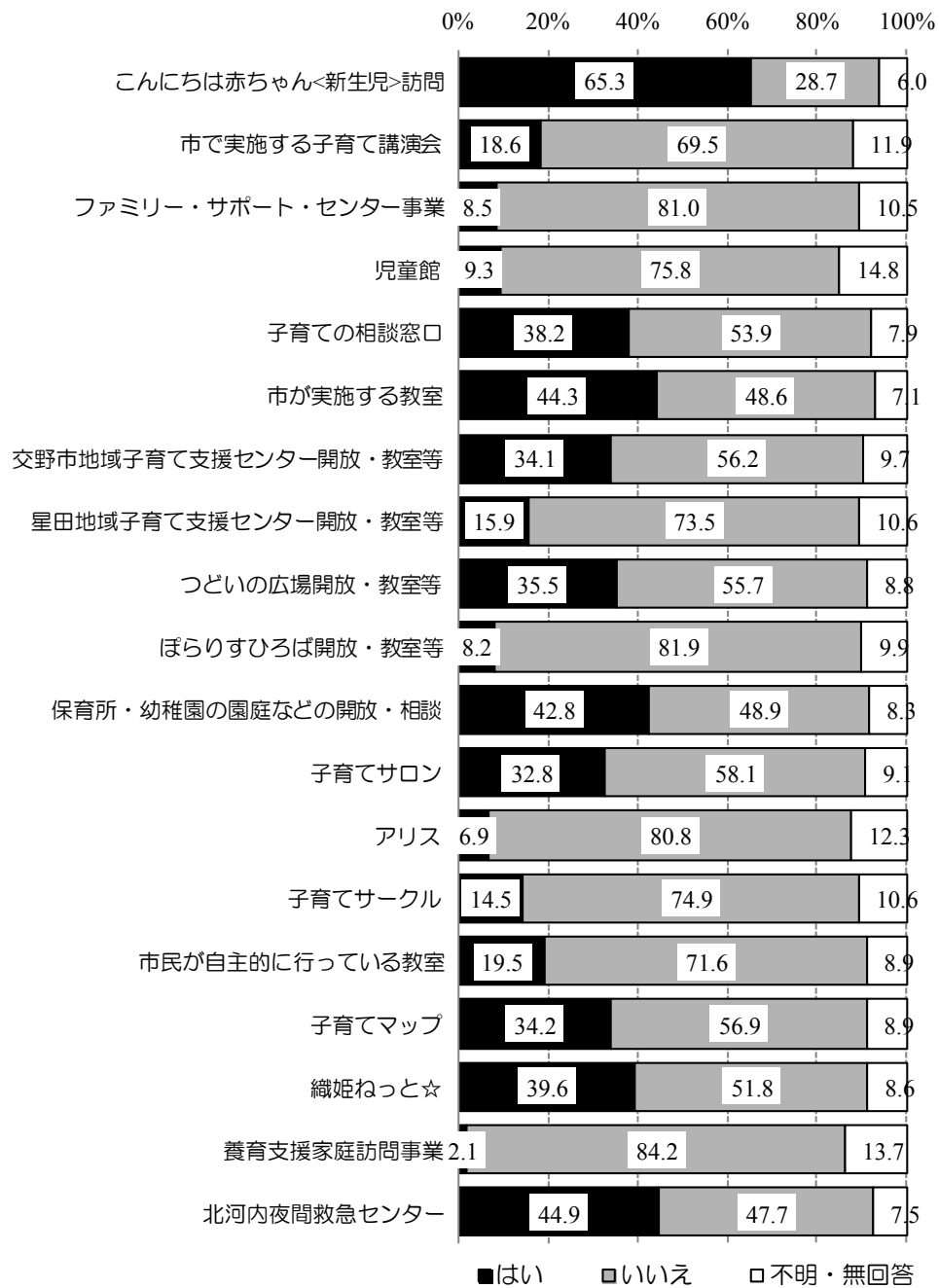


図 103 子育て支援サービス・事業の利用経験（N=856）

③今後の利用意向（単数回答）

- 今後の利用意向は、「北河内夜間救急センター」が最も高く（69.3%）、次いで「織姫ねっと☆」（50.0%）、「保育所・幼稚園の園庭などの開放・相談」（46.4%）となっています。

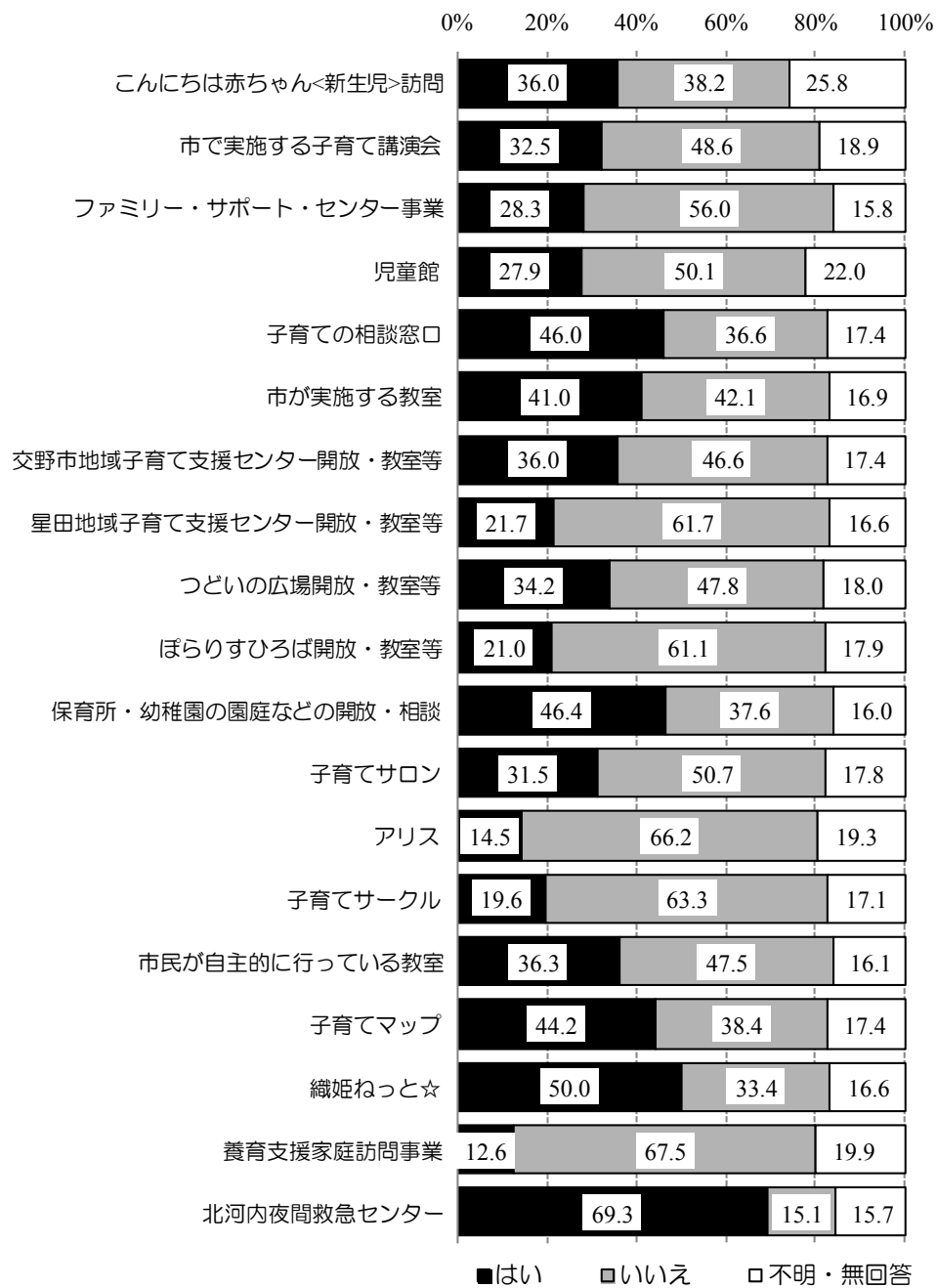


図 104 子育て支援サービス・事業の今後の利用意向（N=856）

10 市役所などへの要望

問34 充実してほしい子育て支援サービス（複数回答）

- 充実してほしい子育て支援サービスは、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が最も高く（74.2%）、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」（73.4%）、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」（64.6%）となっています。

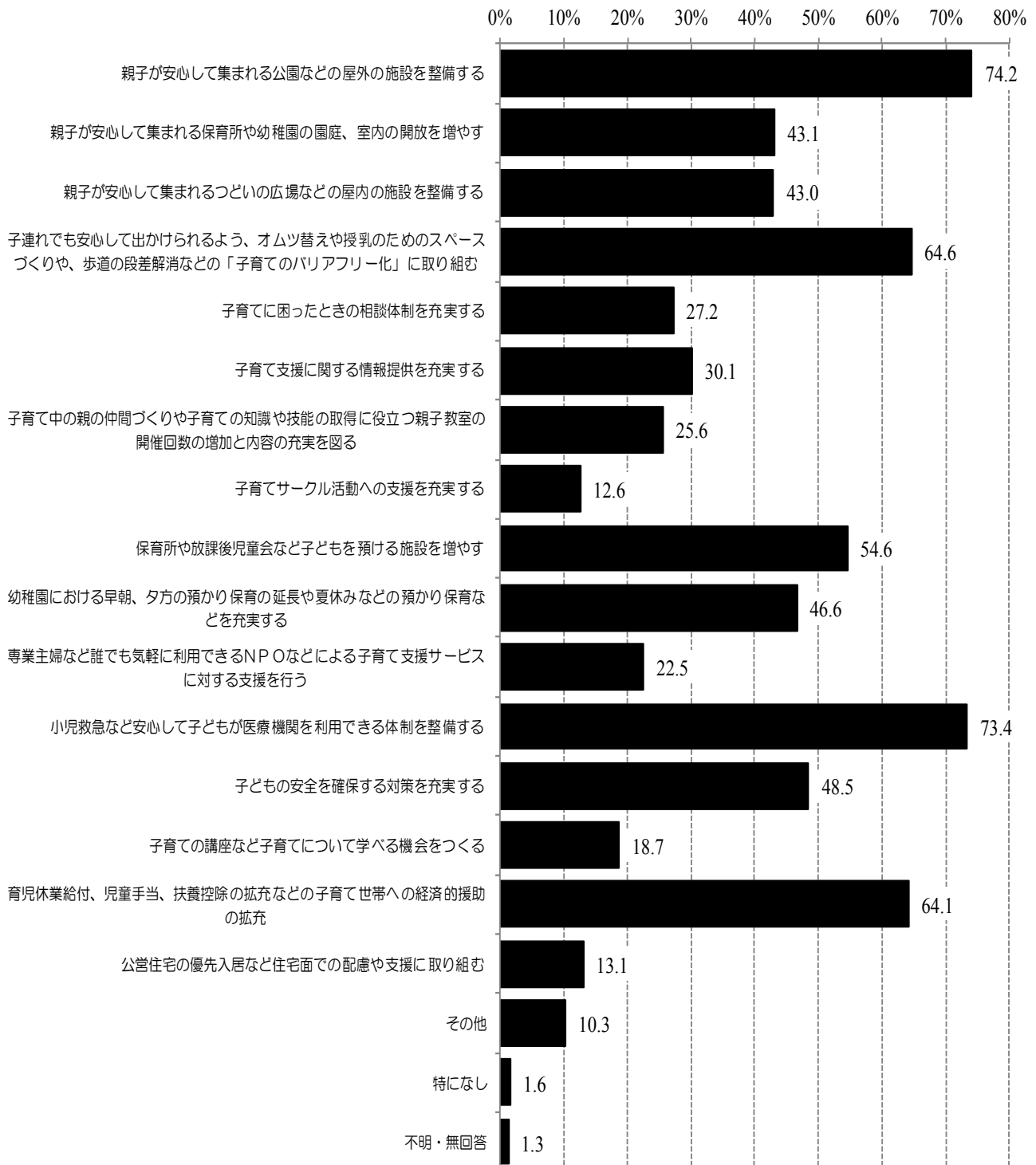


図 105 充実してほしい子育て支援サービス (N=856)

11 子どもの生活習慣

問35 子どもの生活習慣（単数回答）

(1) 朝食の有無

- 朝食の有無は、「毎日食べる」が最も高くなっています（88.1%）。

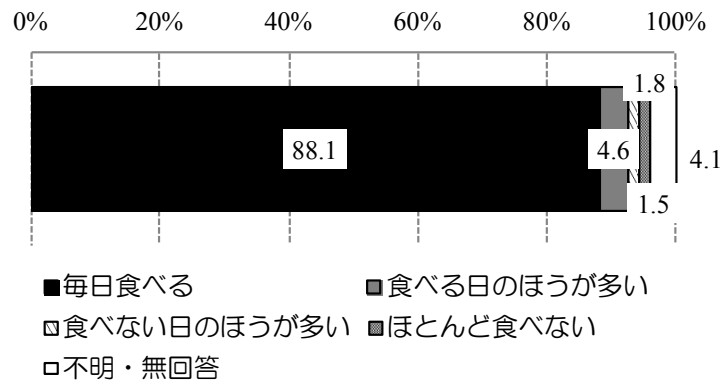


図 106 朝食の有無 (N=856)

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をするか

- 家族と一緒に食事をするかについては、92.8%の方が「する」と回答しています。

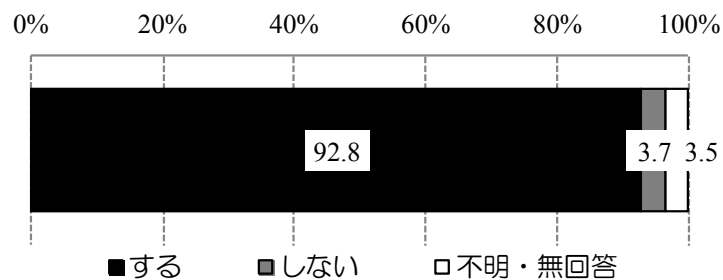


図 107 家族と一緒に食事をするか (N=856)

(3) テレビ等の1日当たりの平均視聴時間

- テレビ等の1日当たりの平均視聴時間は、「2時間以上」が最も高くなっています（25.2%）。

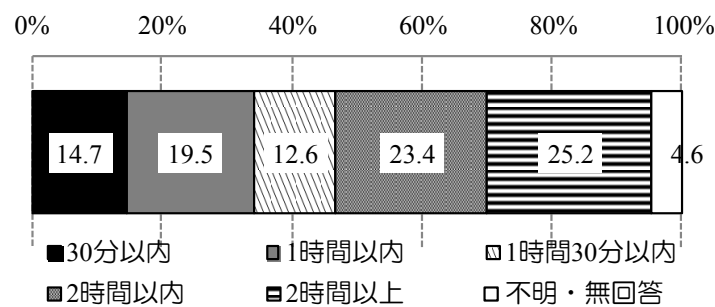


図 108 テレビ等の1日当たりの平均視聴時間 (N=856)

(4) 就寝時刻

- 就寝時刻は、「21 時～21 時半」が最も高くなっています（29.7%）。

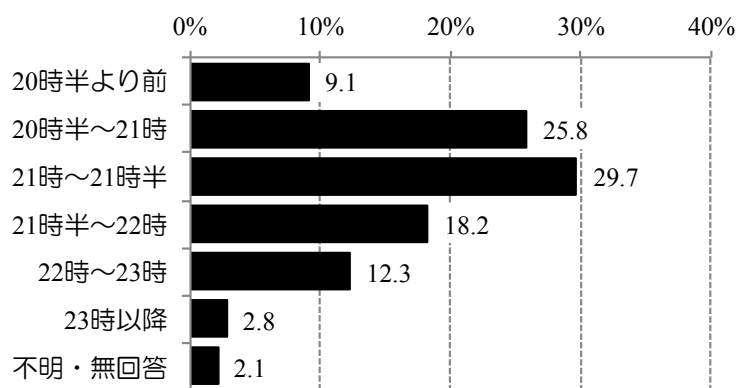


図 109 就寝時刻 (N=856)

12 子育てを支援する生活環境整備や子どもの安全確保

問36 外出の際に困ること、困ったこと（複数回答）

- 外出の際に困ること、困ったことは、「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が最も高く（49.9%）、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」（47.7%）、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」（44.5%）となっています。

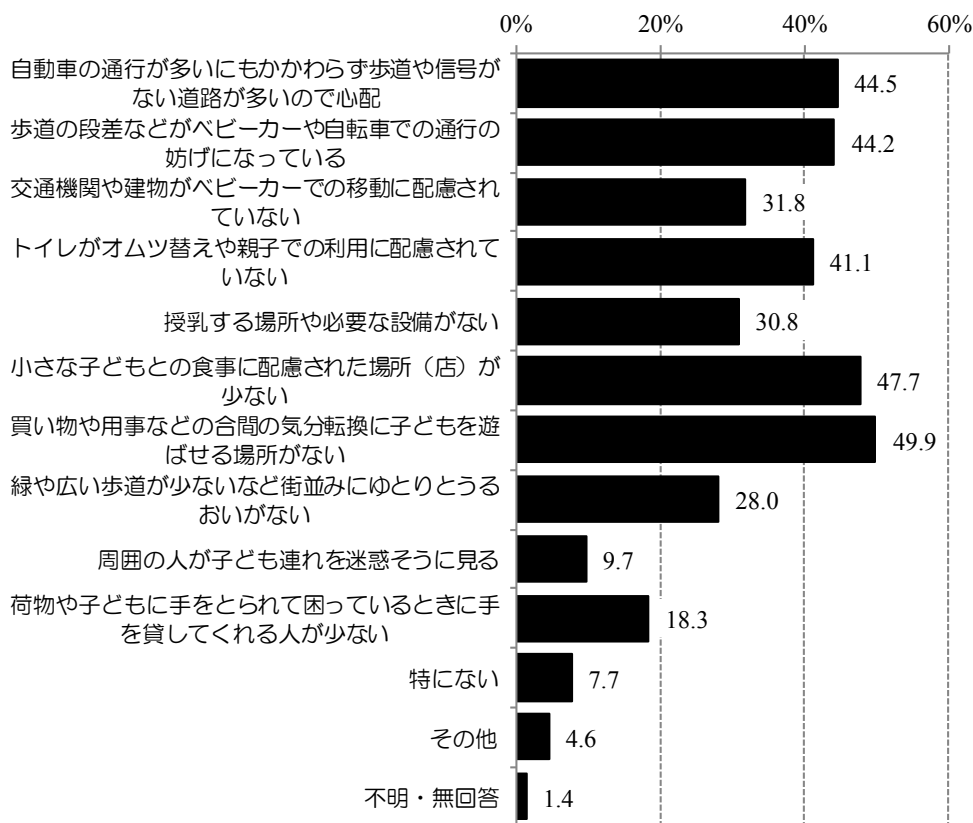


図 110 外出の際に困ること、困ったこと (N=856)

問37 子どもの遊び場についての満足度（単数回答）

- 子どもの遊び場については、「満足していない」が最も高く（61.2%）、次いで「どちらとも思わない」（20.8%）となっています。

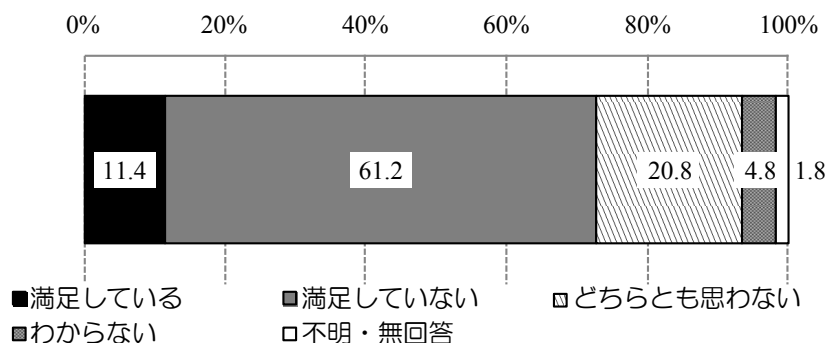


図 111 子どもの遊び場についての満足度 (N=856)

問38 子どもの遊び場について日頃感じること（複数回答）

- 子どもの遊び場について日頃感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が最も高く（65.8%）、次いで「遊具などの種類が充実していない」（55.6%）、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」（47.5%）となっています。

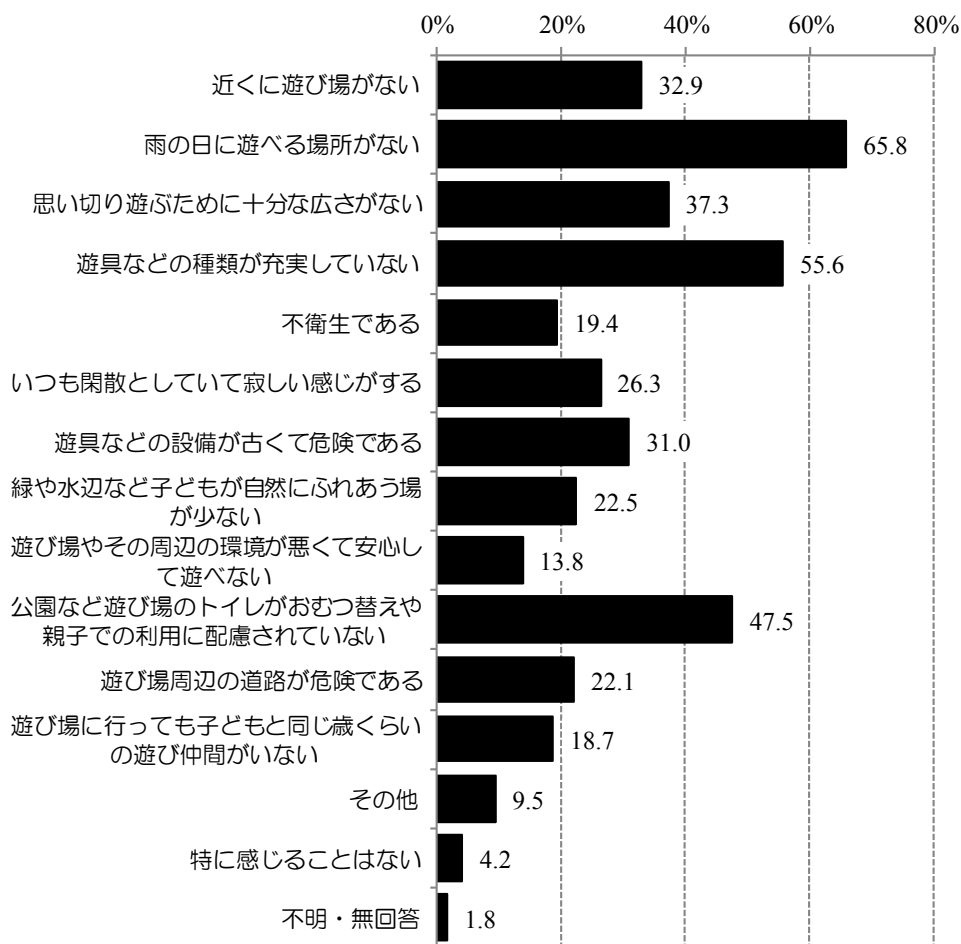


図 112 子どもの遊び場について日頃感じること (N=856)

13 子育てに対する意識

問39 子育てについて感じること（単数回答）

- 子育てについて感じることは、「楽しいと感じることの方が多い」が最も高く（68.9%）、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」（24.2%）となっています。

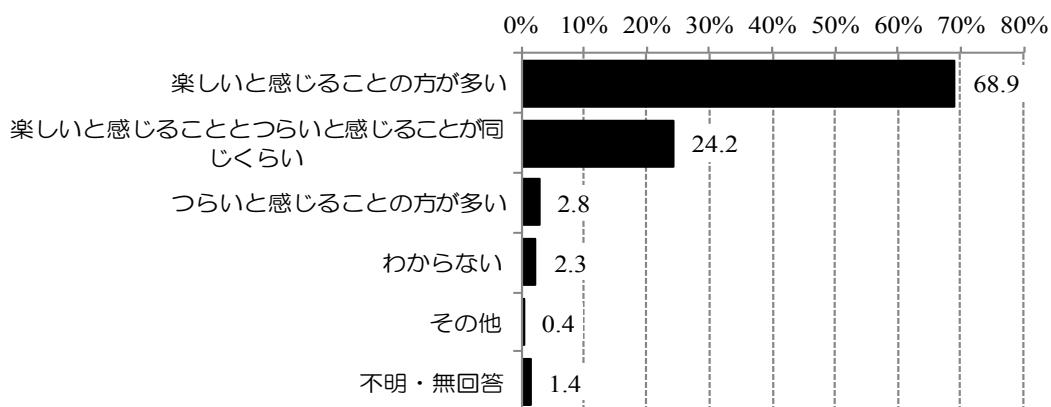


図 113 子育てについて感じること (N=856)

問 39-1 有効と感じる支援・対策（複数回答）

※ 問 39 で「楽しいと感じることの方が多い」と回答した方を集計

- 有効と感じる支援・対策は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も高く（40.7%）、次いで「子どもの教育環境」（32.0%）、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」（31.4%）となっています。

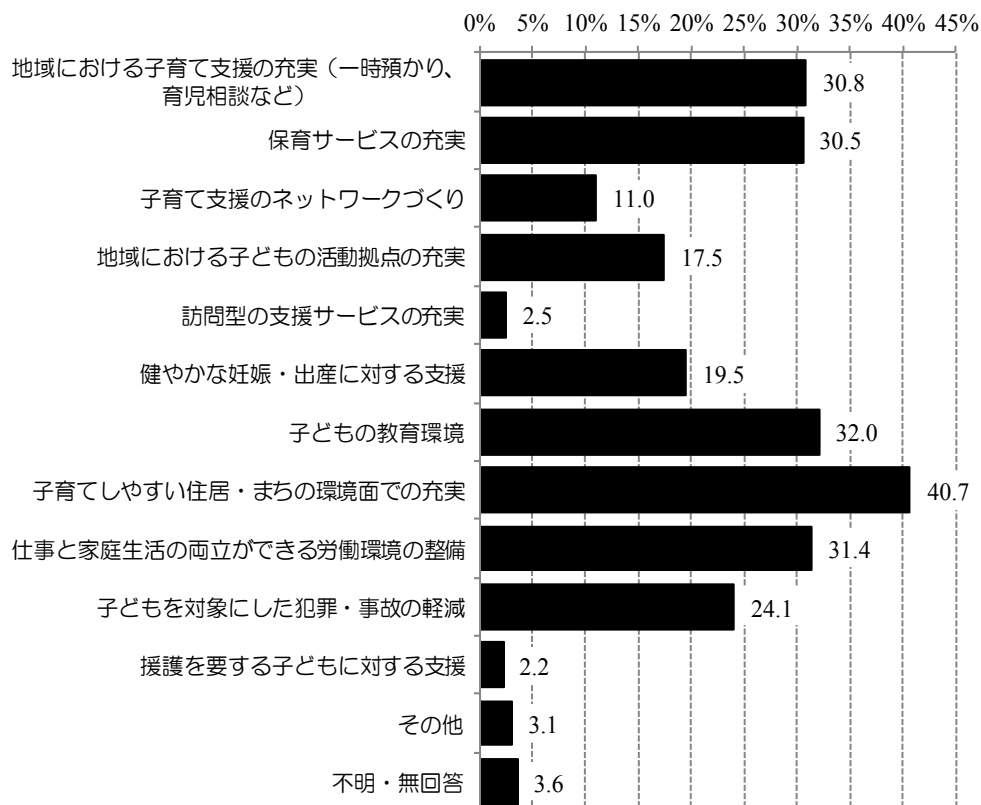


図 114 有効と感じる支援・対策 (N=590)

問 39-2 つらさを解消するために必要な支援・対策（複数回答）

※ 問 39 で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多し」と回答した方を集計

- 必要な支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が最も高く（41.1%）、次いで「地域における子育て支援の充実」（34.6%）、「保育サービスの充実」（31.6%）となっています。

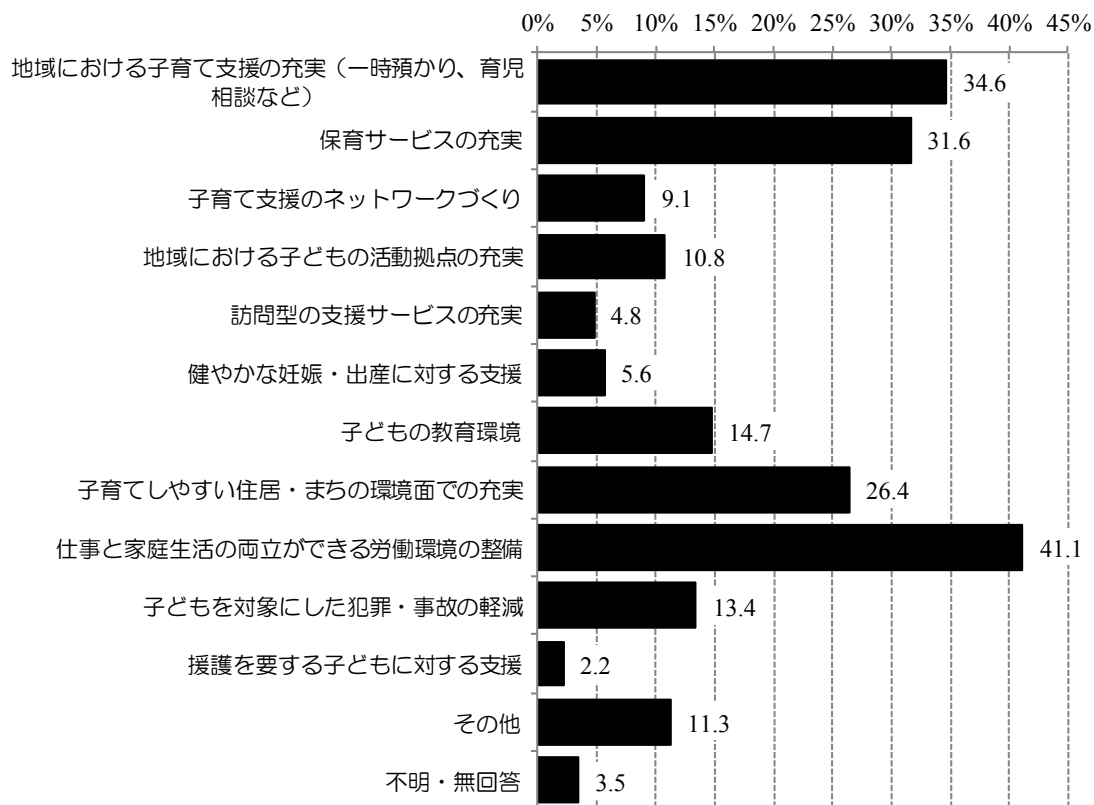


図 115 つらさを解消するために必要な支援・対策（N=231）

問40 子育てに関して悩んでいること、気になること

(1) 子どもに関すること (複数回答)

- 子どもに関することで悩んでいる・気になることは、「子どもの教育に関すること」が最も高く (32.6%)、次いで「食事や栄養に関すること」(31.8%)、「病気や発育発達に関すること」(31.7%) となっています。

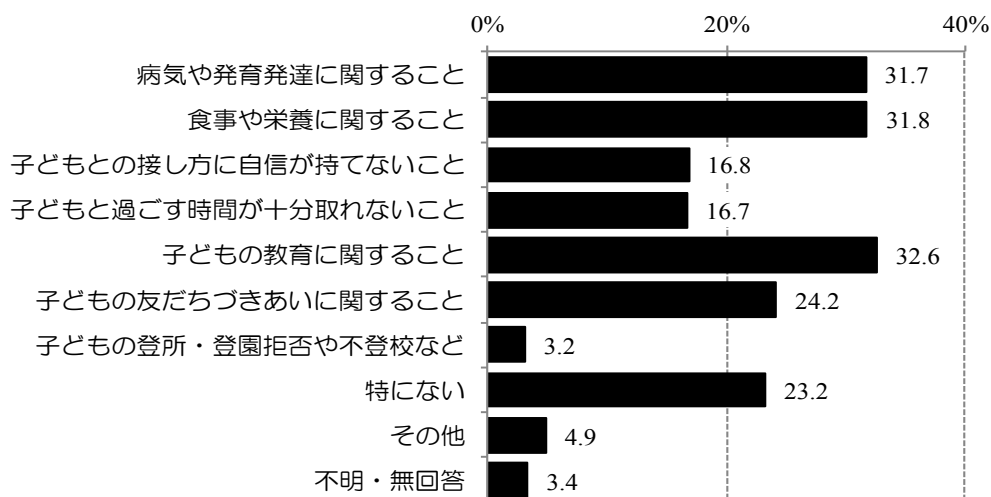


図 116 子どもに関することで悩んでいる・気になること (N=856)

(2) 自身に関すること (複数回答)

- 自身に関することで悩んでいる・気になることは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が最も多く (45.1%)、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」(34.8%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」(27.5%)、となっています。

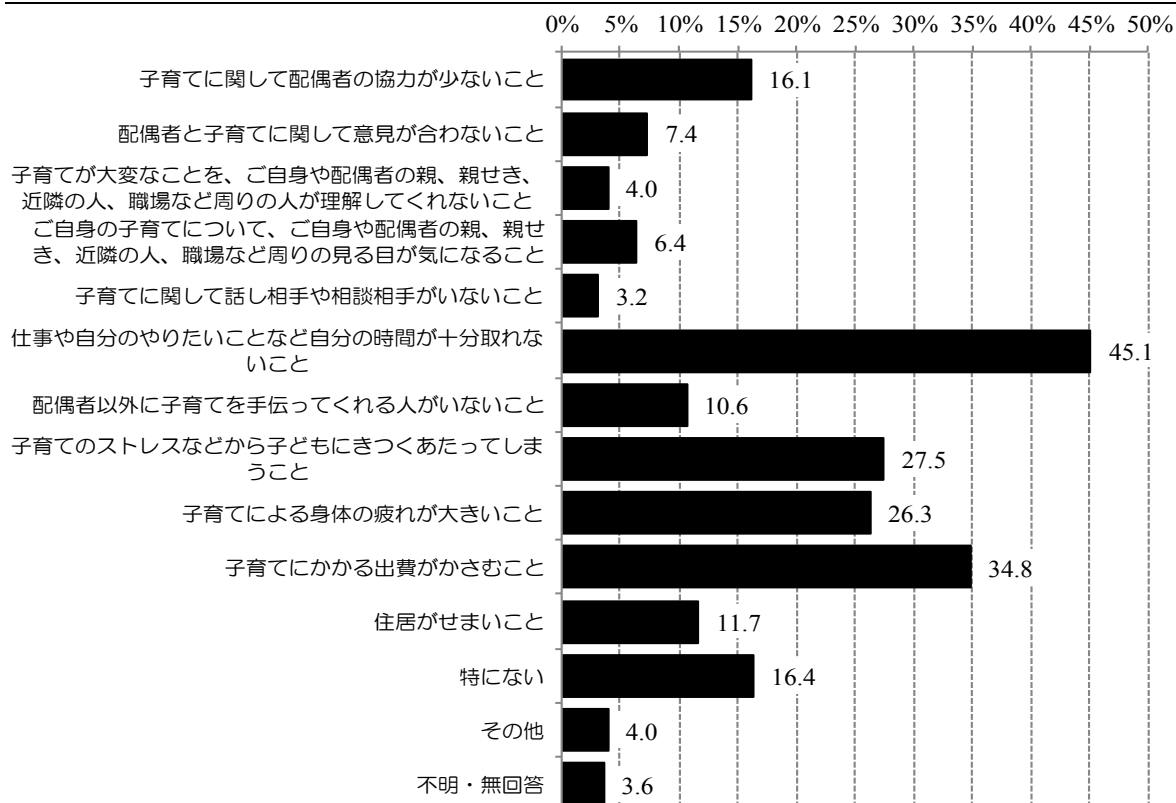


図 117 自身に関することで悩んでいる・気になることは (N=856)

問4 1 子育てについて地域に支えられていると感じるか

①状況（単数回答）

- 子育てについて地域に支えられていると感じるかは、約 7 割（73.2%）の方が「感じる」と回答しています。

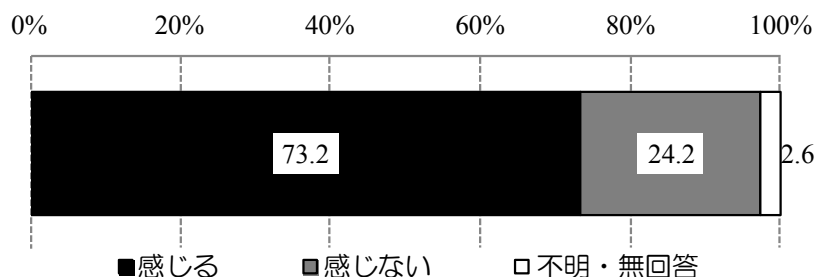


図 118 状況 (N=856)

②支えている・支えてほしい人（複数回答）

- 支えている人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が最も高くなっています（59.8%）。
- 支えてほしい人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が最も高くなっています（25.6%）。

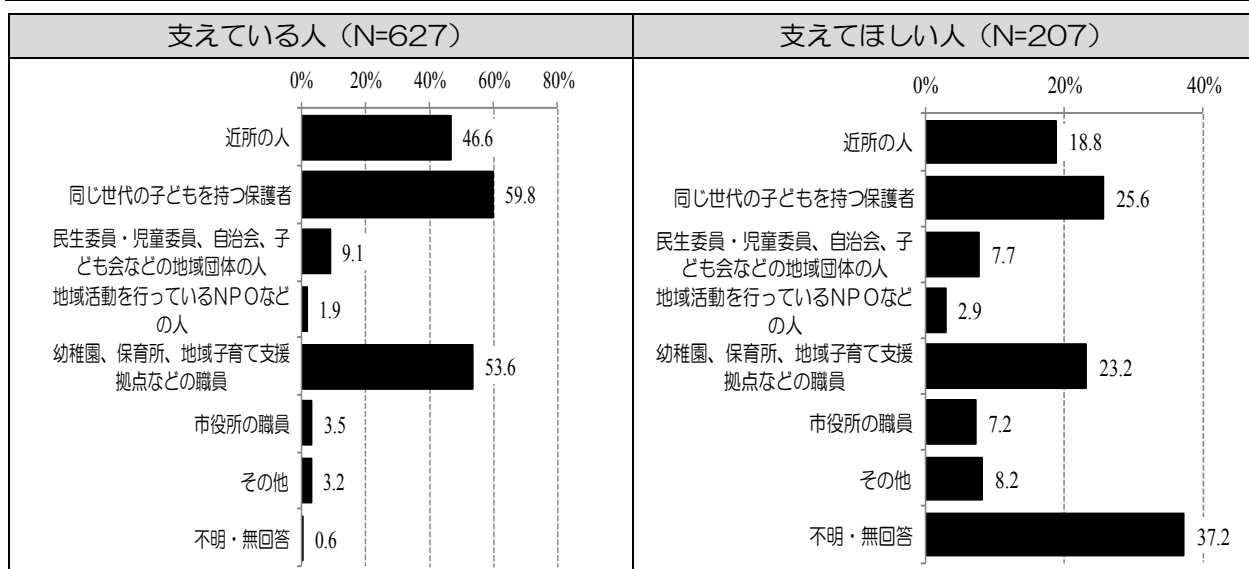


図 119 支えている・支えてほしい人

Ⅲ. 小学生保護者対象調査結果

1 家族構成や保護者の就労状況

問1 小学校区（単数回答）

- 回答者の小学校区は、「交野小学校」区が最も高く（14.0%）、次いで「倉治小学校」区（11.7%）、「郡津小学校」区（11.3%）となっています。

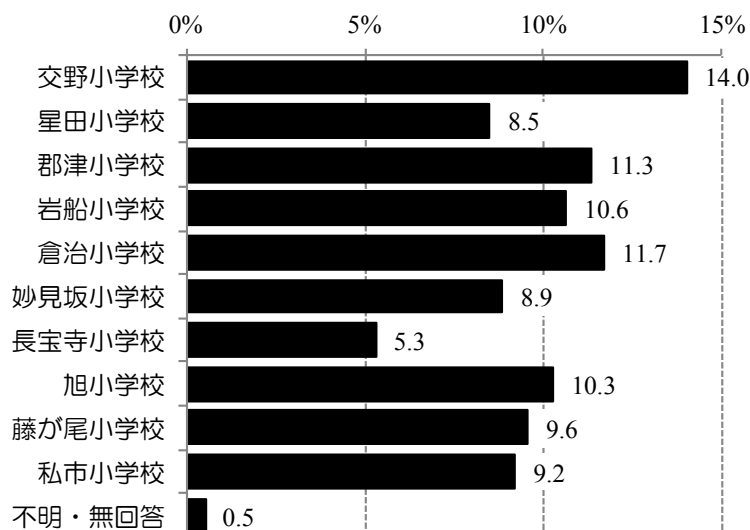


図 120 小学校区 (N=564)

問2 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（92.7%）。

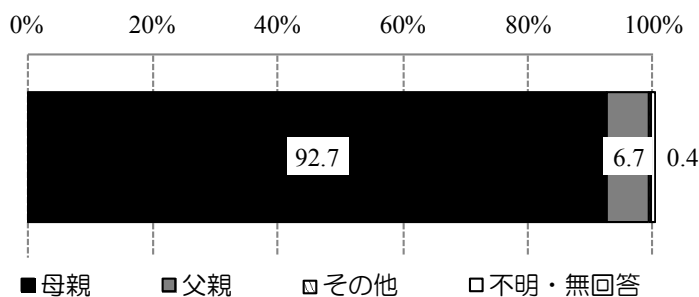


図 121 調査票記入者 (N=564)

問3 対象の子どもの学年（数量回答）

- 子どもの学年は、「1年生」が最も高く（29.4%）、次いで「2年生」（23.9%）となっています。

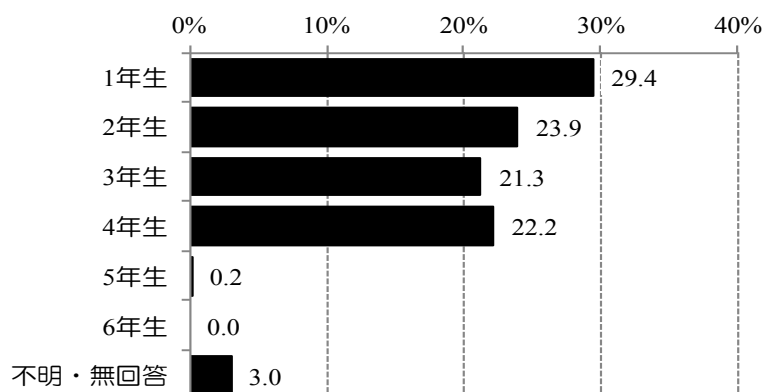


図 122 子どもの学年 (N=564)

問4 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（59.4%）。
- 子どもが2人以上の場合、末子の年齢は、「7歳」が最も高くなっています（14.1%）。

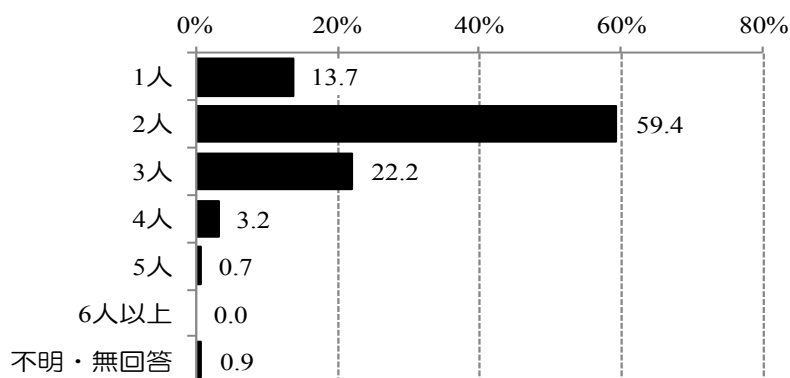


図 123 子どもの人数 (N=564)

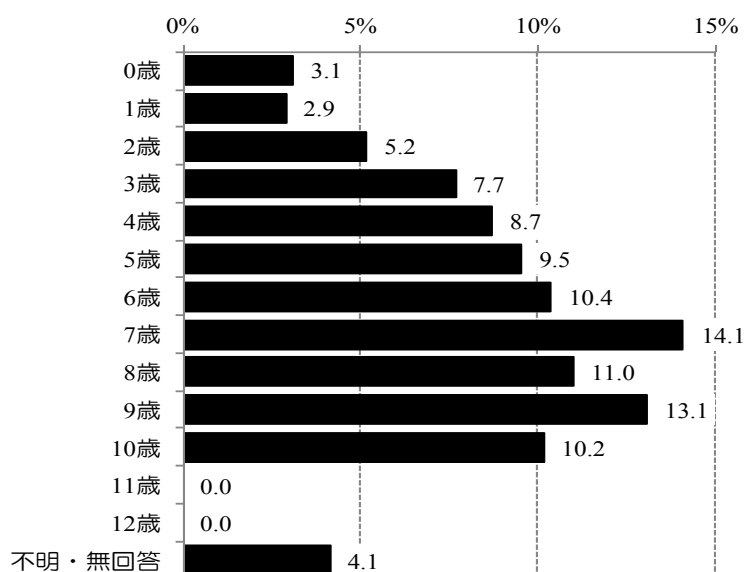


図 124 末子の年齢 (N=482)

問5 家族構成（複数回答）

- 家族構成は、「父と母と一緒に住んでいる」が最も高くなっています（92.2%）。

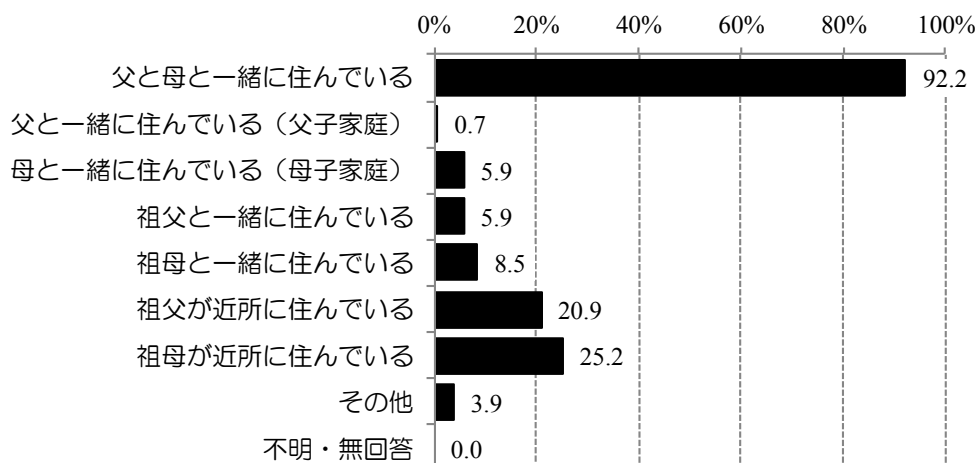


図 125 家族構成 (N=564)

問6 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育てを主に行っている人は、「父母とも」が最も高く（55.7%）、次いで「主に母親」となっています（43.1%）。



図 126 子どもの子育てを主に行っている人 (N=564)

問7 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

- 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事的时候にはご自身の親や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も高くなっています（63.8%）。

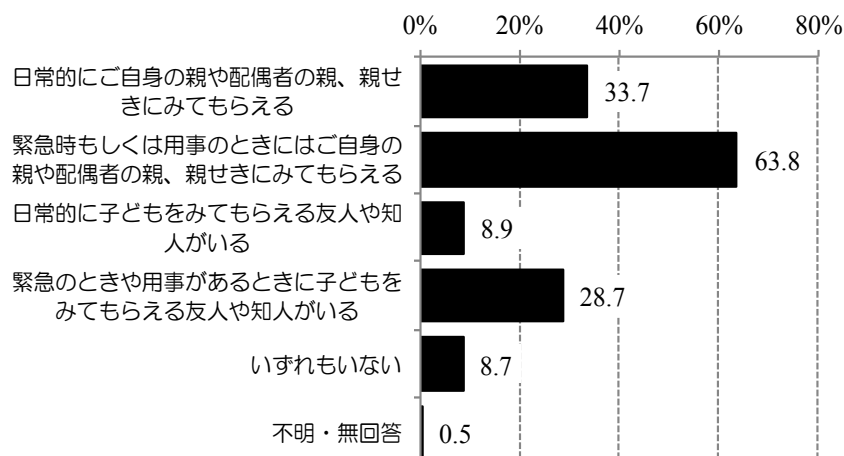


図 127 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（N=564）

問8 気軽に相談できる先（人、場所）の有無（単数回答）

- 気軽に相談できる先は、92.7%の方が「いる／ある」と回答しています。

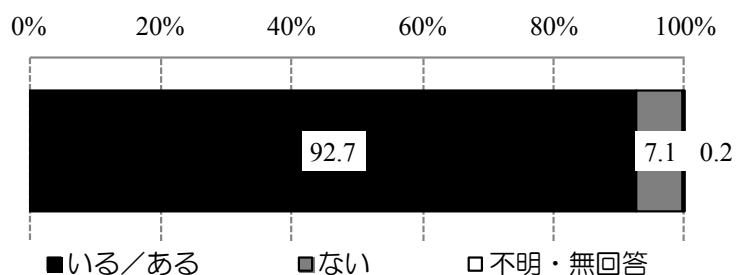


図 128 気軽に相談できる先（人、場所）の有無（N=564）

問 8-1 気軽に相談できる先（人、場所）（複数回答）

- 気軽に相談できる先は、「配偶者」が最も高く（92.0%）、次いで「友人や知人」（89.5%）、
「ご自身の親や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」（85.7%）、となっています。

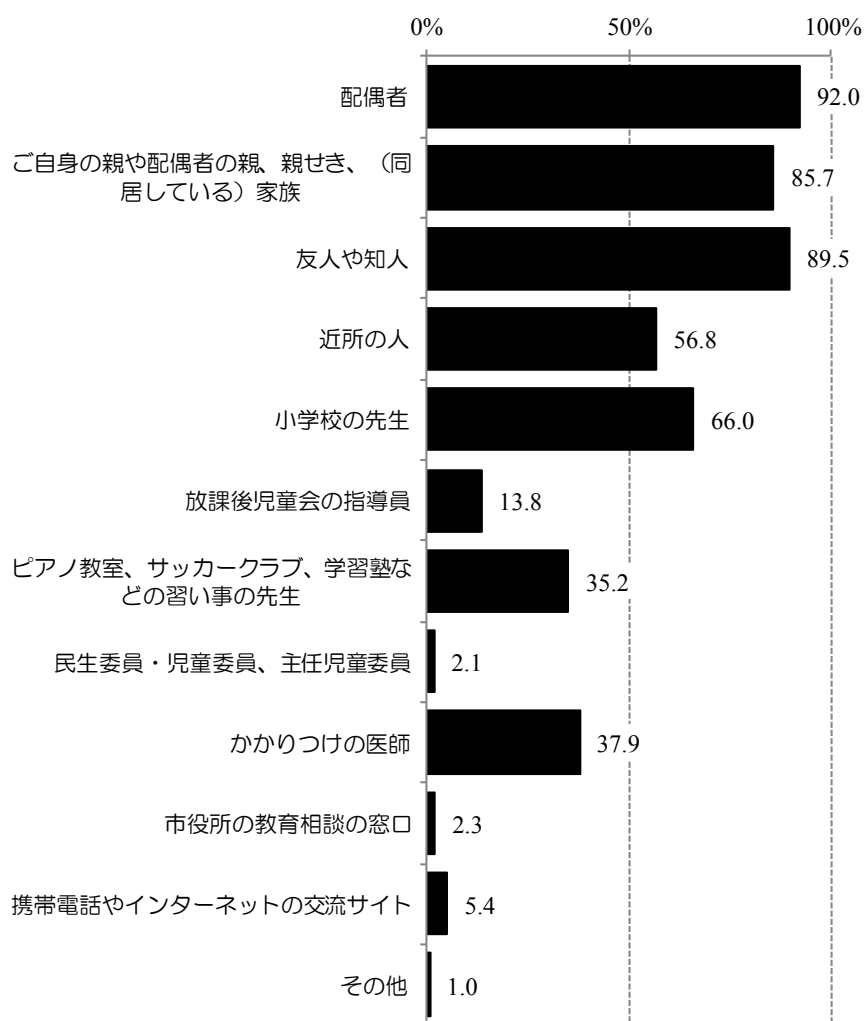


図 129 気軽に相談できる先（人、場所）（N=523）

問9 母親の就労状況（単数回答）

問10 父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで働いている」が最も高くなっています（35.1%）
- 父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が最も高くなっています（95.8%）。

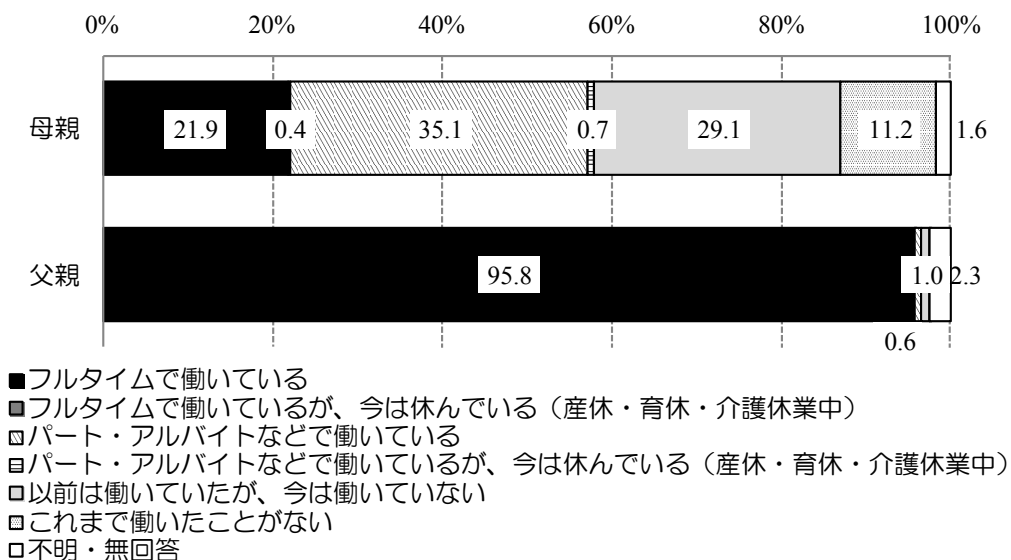


図 130 就労状況[母親 (N=553)、父親 (N=524)]

問9・10-1 就労日数/週、就労時間/日

※ 問9、10で「働いている [1. 2. 3. 4.]」と回答した方を集計

①就労日数/週（数量回答）

- 母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（51.7%）、次いで「4日」（16.8%）となっています。
- 父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も高く（63.4%）、次いで「6日以上」（33.6%）となっています。

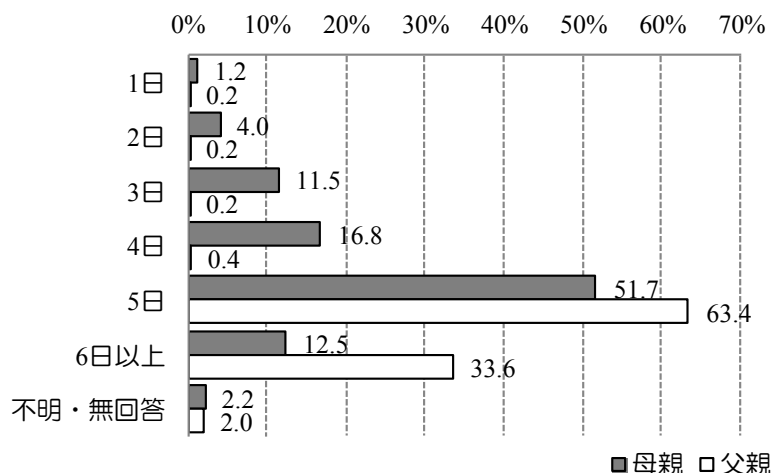


図 131 就労日数/週[母親 (N=321)、父親 (N=506)]

②就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が最も高く（29.6%）、次いで「6～7時間未満」（16.5%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「10～11時間未満」が最も高く（26.3%）、次いで「8～9時間未満」（24.3%）となっています。

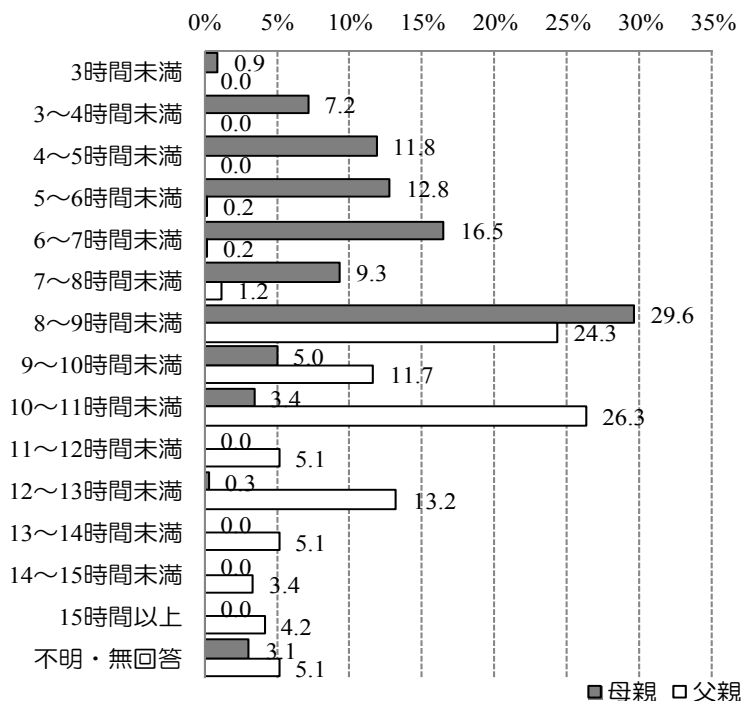


図 132 就労時間/日[母親 (N=321)、父親 (N=506)]

問 9・10-2 出宅時間、帰宅時間

※ 問 9、10 で「働いている [1. 2. 3. 4.]」と回答した方を集計

①出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時～9時」が最も高く（57.6%）、次いで「7時～8時」（16.2%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時～8時」が最も高く（43.1%）、次いで「8時～9時」（23.3%）となっています。

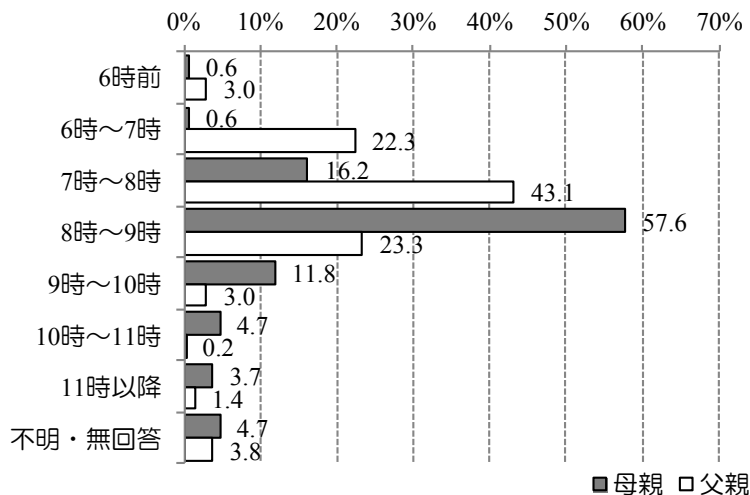


図 133 出宅時間[母親 (N=321)、父親 (N=506)]

②帰宅時間（数量回答）

- 母親の帰宅時間は、「18時～19時」が最も高く（28.3%）、次いで「15時前」（19.3%）となっています。
- 父親の帰宅時間は、「22時以降」が最も高く（22.5%）、次いで「20時～21時」（19.2%）となっています。

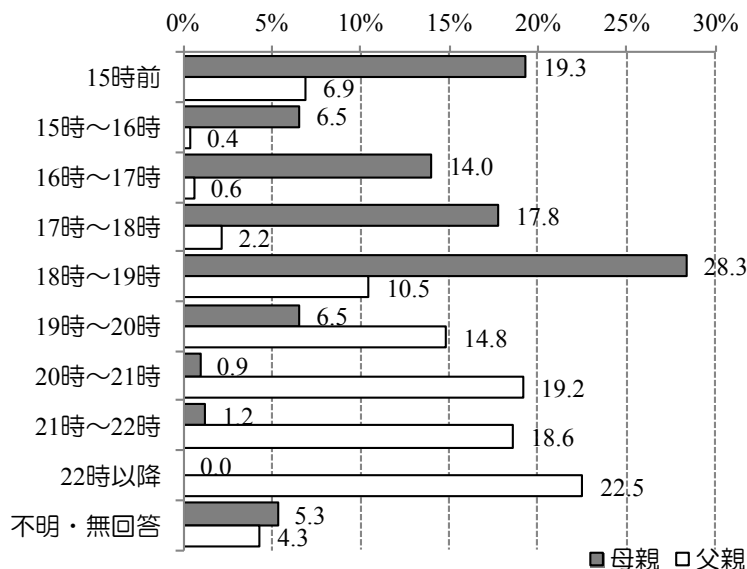


図 134 帰宅時間[母親 (N=321)、父親 (N=506)]

問11 フルタイム就労への転換希望（単数回答）

※ 問9、10で「パート・アルバイト等で就労している [3. 4.]」と回答した方を集計

- 母親のフルタイム就労への転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が最も高くなっています（40.9%）。
- 父親のフルタイム就労への転換希望は、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が最も高くなっています（66.7%）。

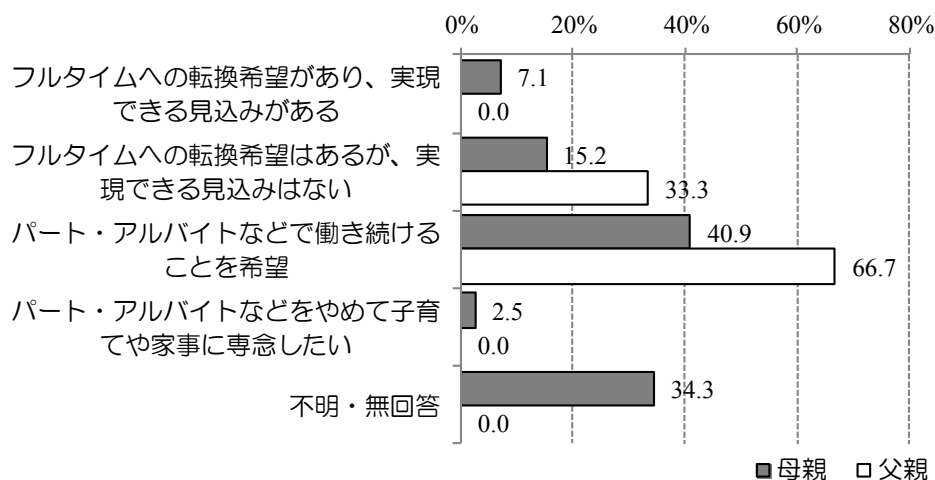


図 135 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=198)、父親 (N=3)]

問12 現在働いていない保護者の就労についての希望

※ 問9、10で「働いていない [5. 6.]」と回答した方を集計

①就労希望（単数回答）

- 母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったところに働きたい」が最も高くなっています（19.7%）。
- 父親の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が最も高くなっています（33.3%）。

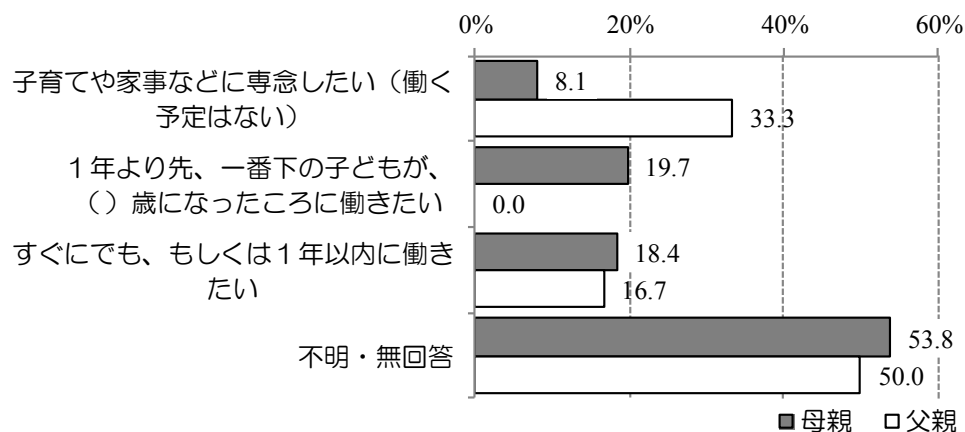


図 136 就労についての希望[母親 (N=223)、父親 (N=6)]

②就労を開始したい時の子どもの年齢（数量回答）

※ ①で「1年より先、働きたい」と回答した方を集計

- 母親の就労を開始したい時の子どもの年齢は、「6歳以上」が最も高く（21.4%）、次いで「3歳」（9.1%）となっています。※父親は該当回答者がありません。

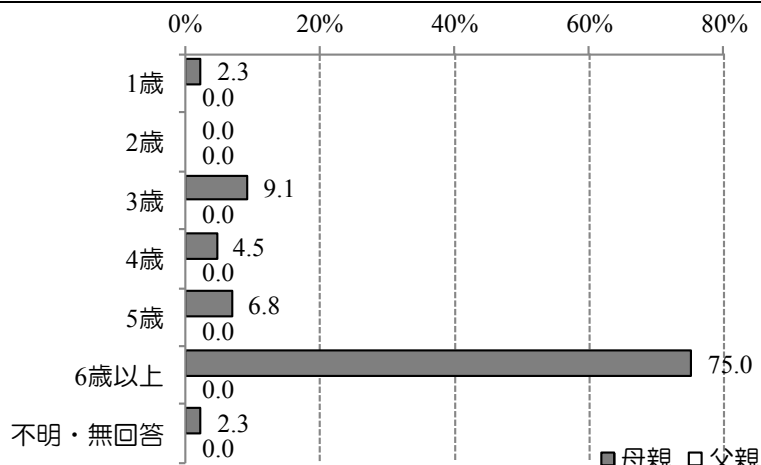


図 137 就労開始時期[母親 (N=44)、父親 (N=0)]

■希望する就労形態、就労日数/週、就労時間/日、就労開始時期

※ 問 12 で「働きたい [2, 3.]」と回答した方を集計

①希望就労形態（単数回答）

- 母親の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が最も高くなっています(49.4%)。
- 父親の希望就労形態は、「フルタイム」と回答しています。

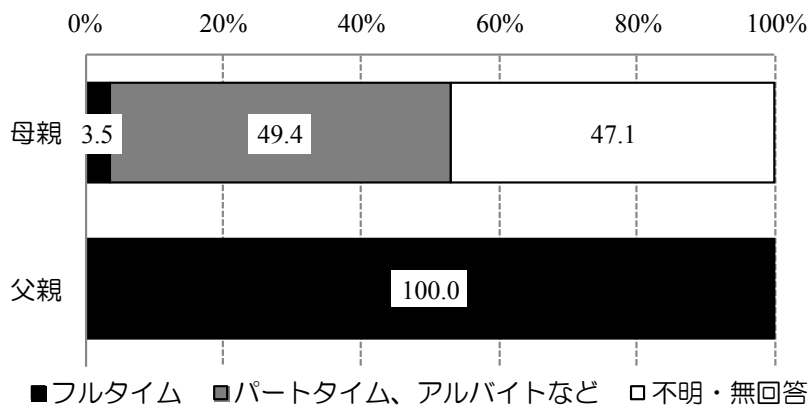


図 138 希望就労形態[母親 (N=85)、父親 (N=1)]

②希望就労日数/週（数量回答）

※ ①で「パートタイム、アルバイトなど」と回答した方を集計

- 母親の 1 週当たりの希望就労日数は、「4 日」が最も高く(40.5%)、次いで「3 日」(28.6%)となっています。 ※父親は該当回答者がありません。

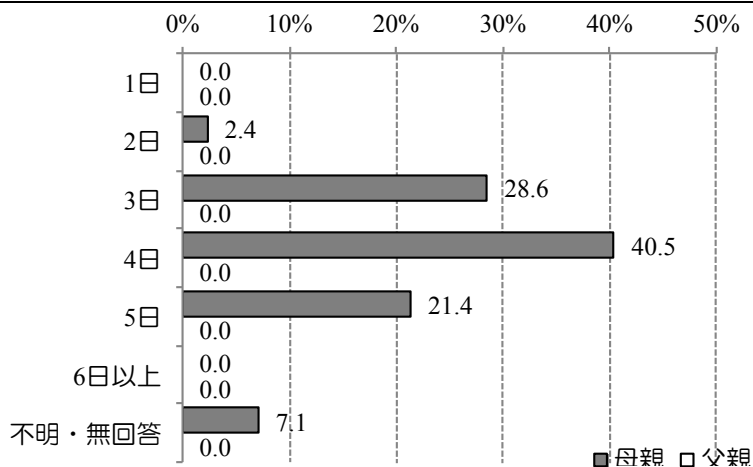


図 139 希望就労日数/週[母親 (N=42)、父親 (N=0)]

③希望就労時間/日当たり（数量回答）

※ ①で「パートタイム、アルバイトなど」と回答した方を集計

- 母親の1日当たりの希望就労時間は、「5～6時間未満」が最も高く（45.2%）、次いで「4～5時間未満」（31.0%）となっています。※父親は該当回答者がありません。

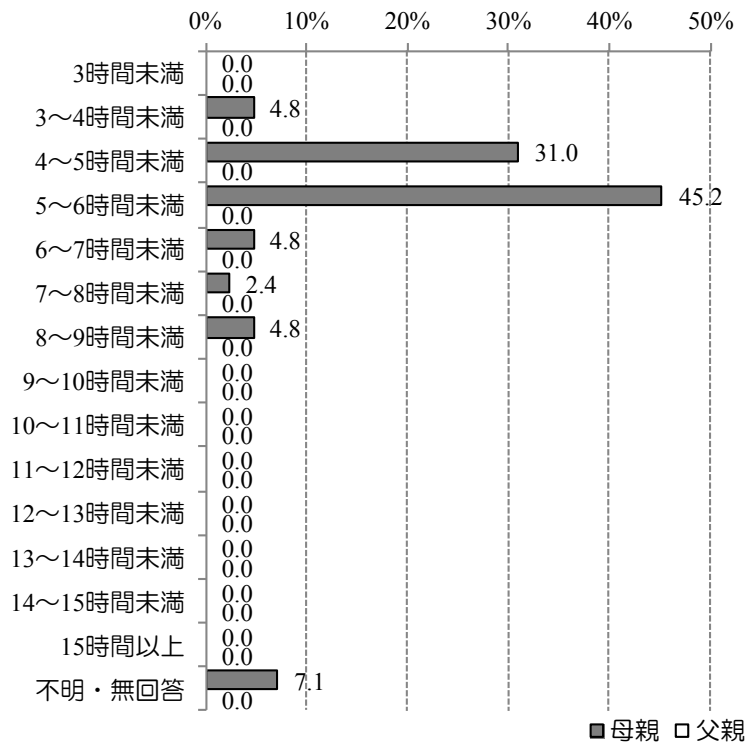


図 140 希望就労時間[母親 (N=42)、父親 (N=0)]

問 12-1 働きたい理由（複数回答）

※ 問 12で「働きたい [2. 3.]」と回答した方を集計

- 働きたい理由は、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が最も高くなっています（79.1%）。

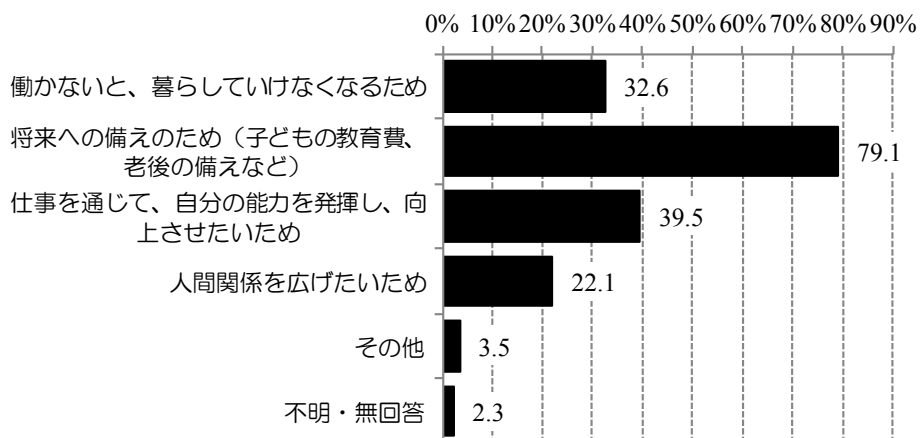


図 141 働きたい理由 (N=86)

2 放課後児童会の利用状況

問13 放課後児童会の利用有無（単数回答）

- 放課後児童会の利用有無は、約8割（79.1%）の方が「利用していない」と回答しています。

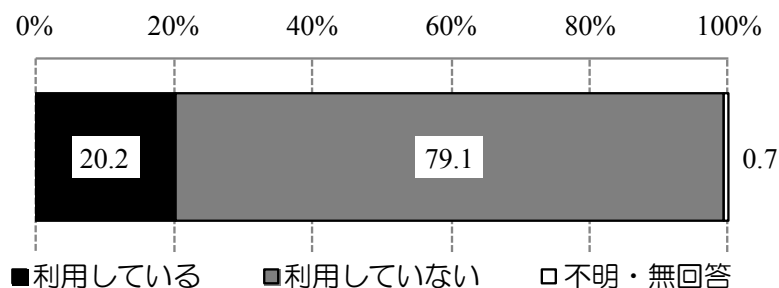


図 142 放課後児童会の利用有無 (N=564)

問14 放課後児童会の利用日数／週、利用時間／日

※ 問13で「利用している」と回答した方を集計

【現在】

① 利用日数（数量回答）

- 1週当たりの利用日数は、「5日」が最も高く（64.0%）、次いで「4日」（22.8%）となっています。

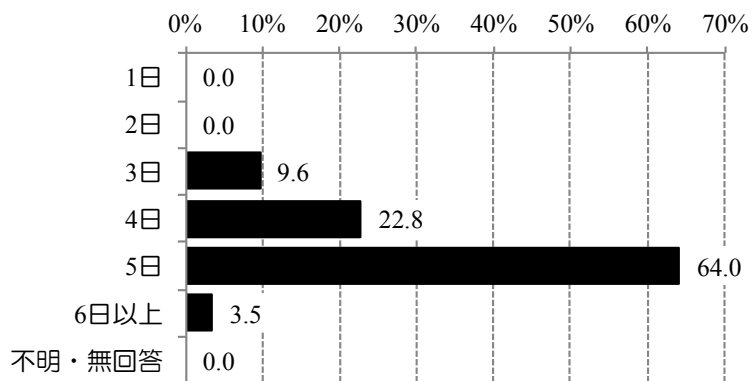


図 143 利用日数 現在 (N=114)

②利用時間（数量回答）

- 1日当たりの利用時間は、「3～4時間未満」が最も高く（40.4%）、次いで「4～5時間未満」（18.4%）となっています。

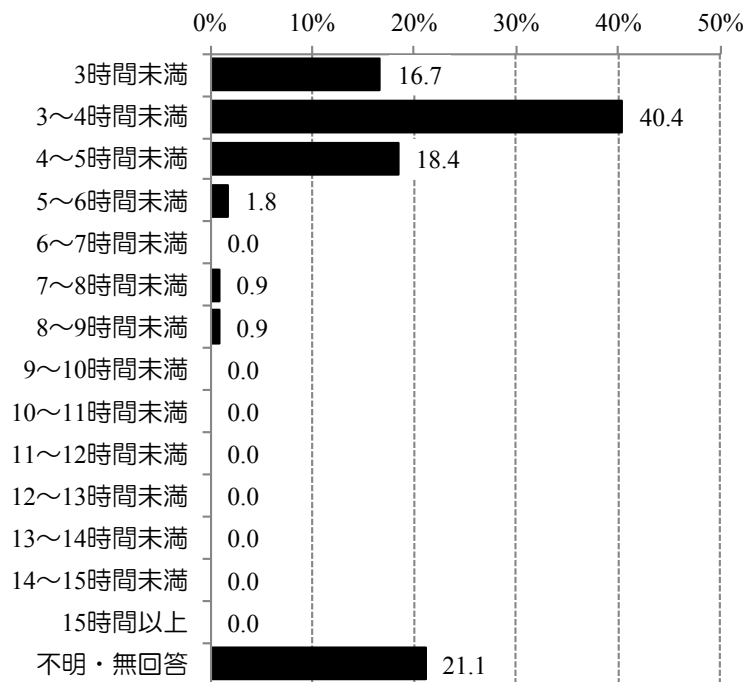


図 144 利用時間 現在 (N=114)

③利用時間帯（数量回答）

- 利用時間帯は、「18時～19時」までが最も高く（69.3%）、次いで「17時～18時」まで（28.1%）となっています。

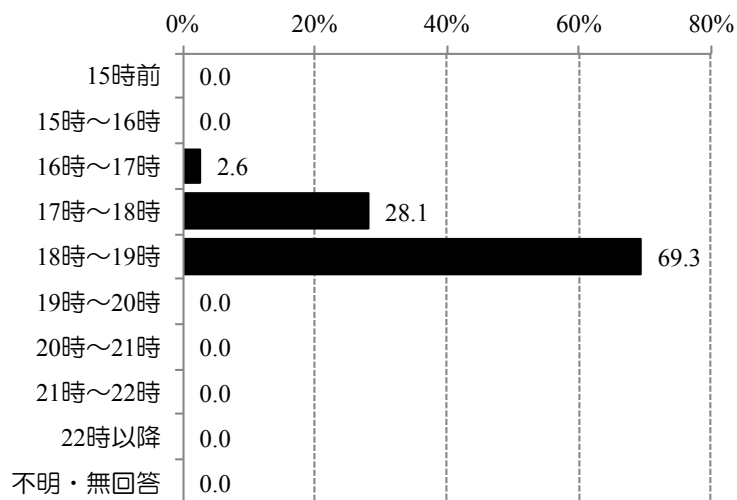


図 145 利用時間帯 現在 (N=114)

【希望】

①利用希望日数（数量回答）

- 1週当たりの利用希望日数は、「5日」が最も高く（57.0%）、次いで「4日」（14.9%）となっています。

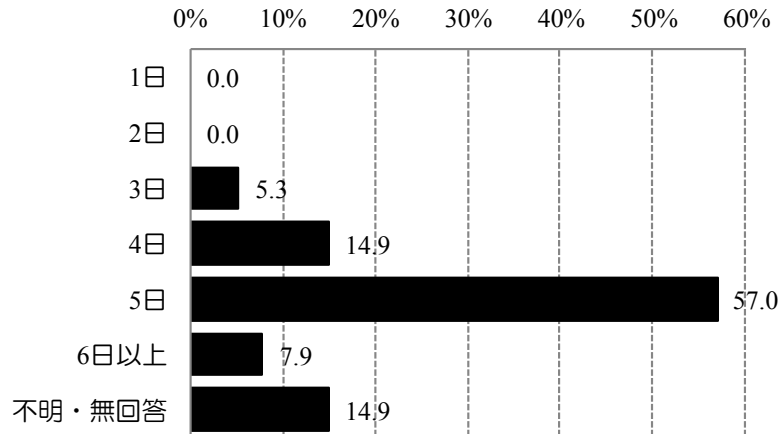


図 146 利用日数 希望 (N=114)

②利用希望時間（数量回答）

- 1日当たりの利用希望時間は、「3～4時間未満」が最も高く（23.7%）、次いで「4～5時間未満」（22.8%）となっています。

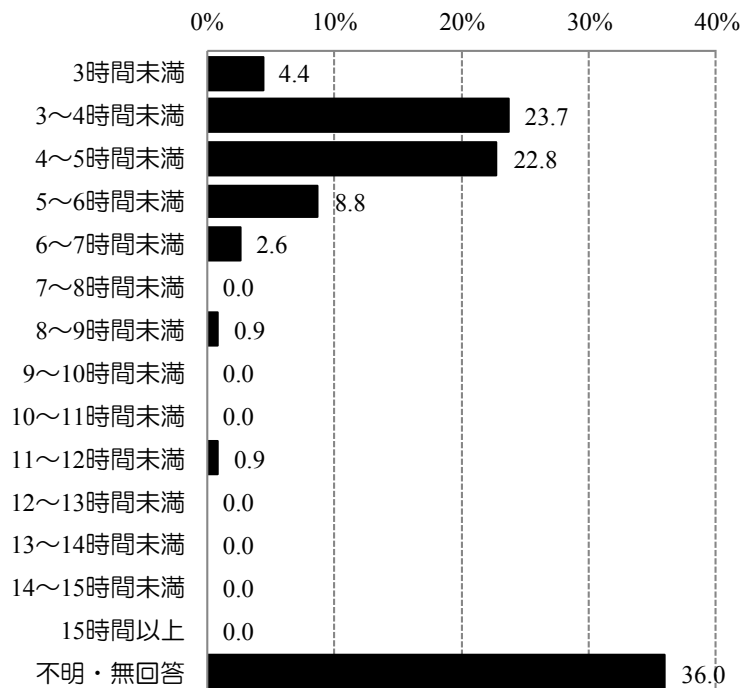


図 147 利用時間 希望 (N=114)

③利用希望時間帯（数量回答）

- 利用希望時間帯は、「18時～19時」までが最も高く（44.7%）、次いで「19時～20時」まで（32.5%）となっています。

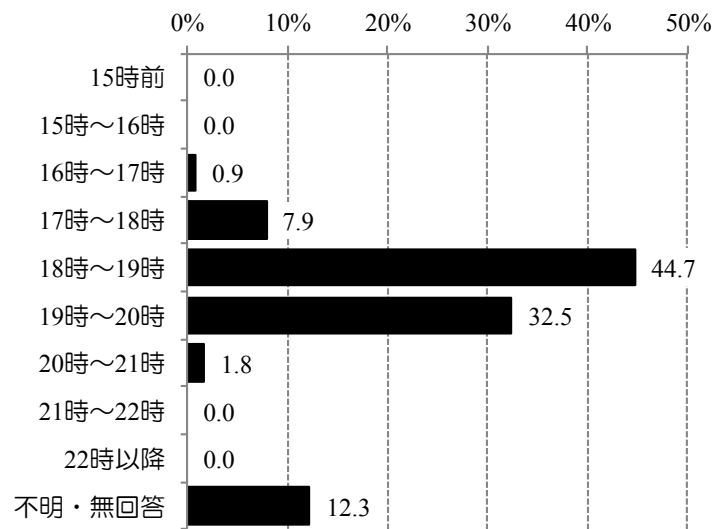


図 148 利用時間帯 希望 (N=114)

問 14-1 放課後児童会を利用している理由（単数回答）

※ 問 13 で「利用している」と回答した方を集計

- 放課後児童会を利用している理由は、「保護者が働いている」が最も高くなっています（95.6%）。

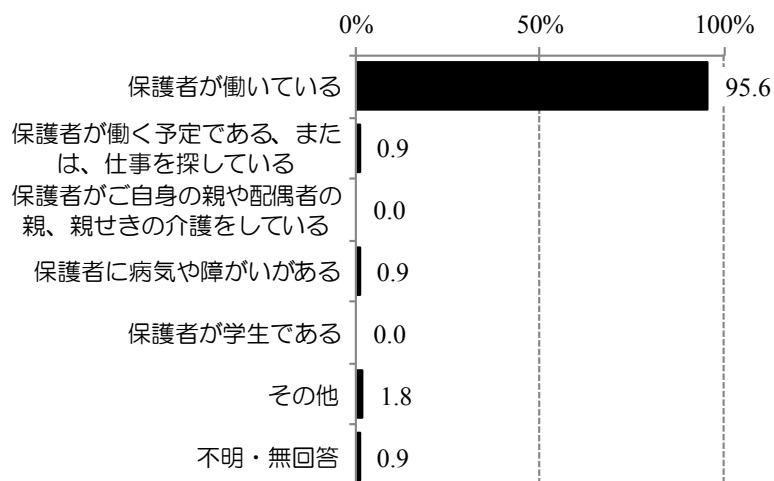


図 149 放課後児童会を利用している理由 (N=114)

問 14-2 放課後児童会の土曜日、日曜日・祝日の利用希望

※ 問 13 で「利用している」と回答した方を集計

(1) 土曜日

①利用希望

- 土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（70.2%）。

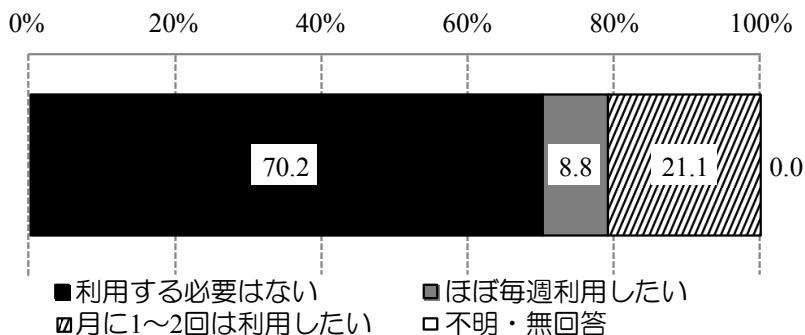


図 150 利用希望 土曜日 (N=114)

②利用希望時間帯_ほぼ毎週利用したい (数量回答)

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（90.0%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高く（50.0%）、次いで「17時～18時」（20.0%）となっています。

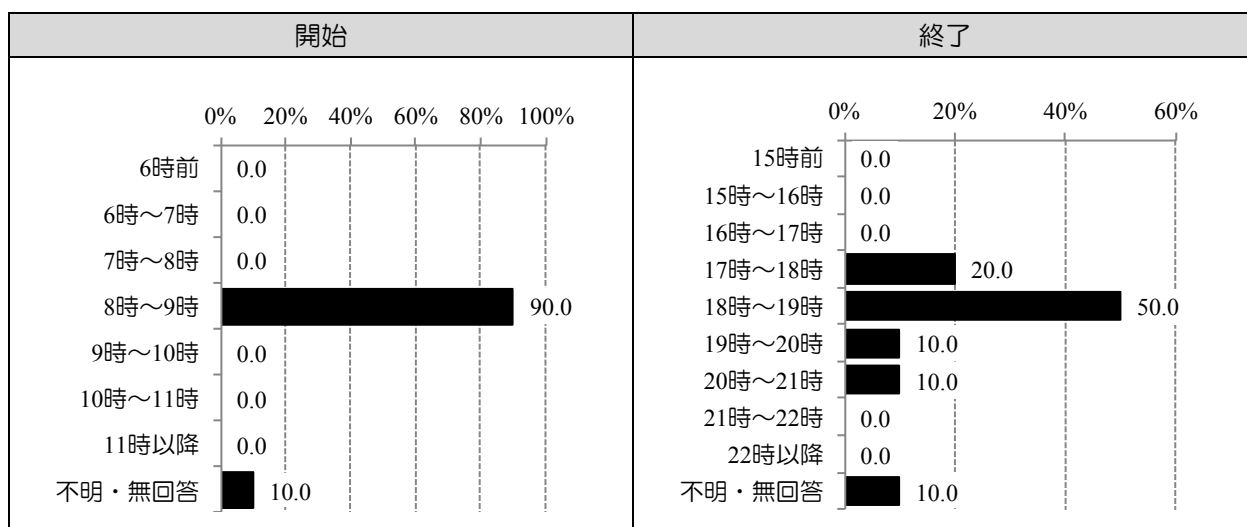


図 151 利用希望時間帯 ほぼ毎週利用したい (N=10)

③利用希望時間帯_月に1~2回は利用したい(数量回答)

- 開始は、「8時~9時」が最も高くなっています(83.3%)。
- 終了は、「18時~19時」が最も高く(58.3%)、次いで「19時~20時」(12.5%)となっています。

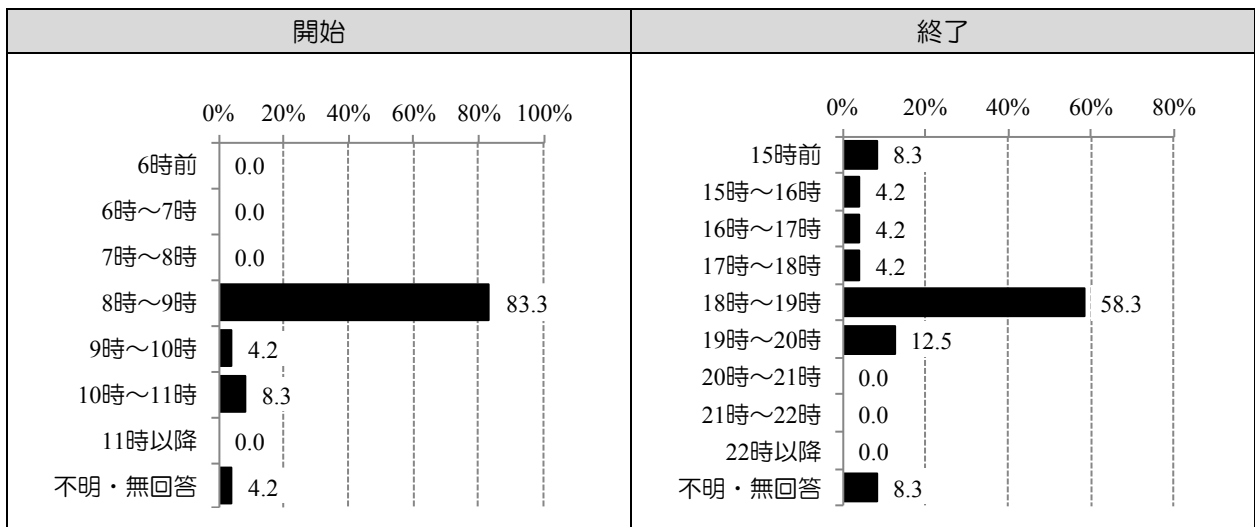


図 152 利用希望時間帯 月に1~2回は利用したい (N=24)

(2) 日曜日・祝日

①利用希望

- 日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています(87.7%)。

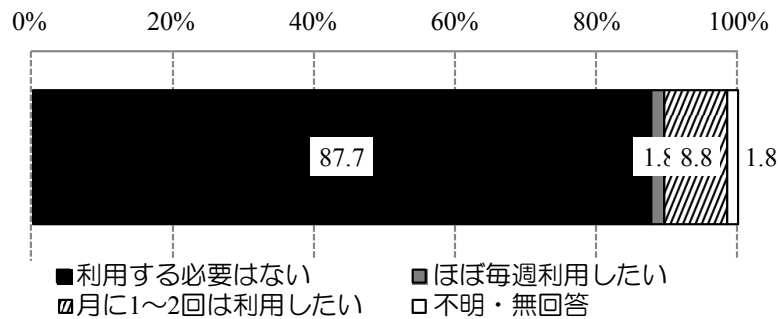


図 153 利用希望 日曜日・祝日 (N=114)

②利用希望時間帯_ほぼ毎週利用したい（数量回答）

- 開始は、「8時～9時」と回答しています。
- 終了は、「18時～19時」「19時～20時」と回答しています。

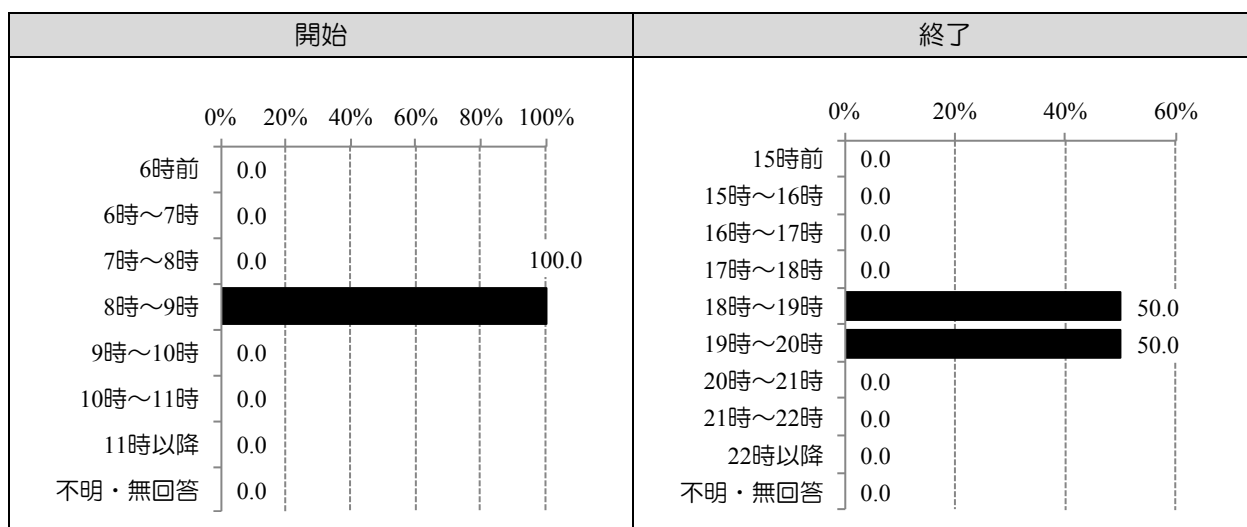


図 154 利用希望時間帯 ほぼ毎週利用したい (N=2)

③利用希望時間帯_月に1～2回は利用したい（数量回答）

- 開始は、「8時～9時」が最も高くなっています（70.0%）。
- 終了は、「18時～19時」が最も高く（70.0%）、次いで「19時～20時」（20.0%）となっています。

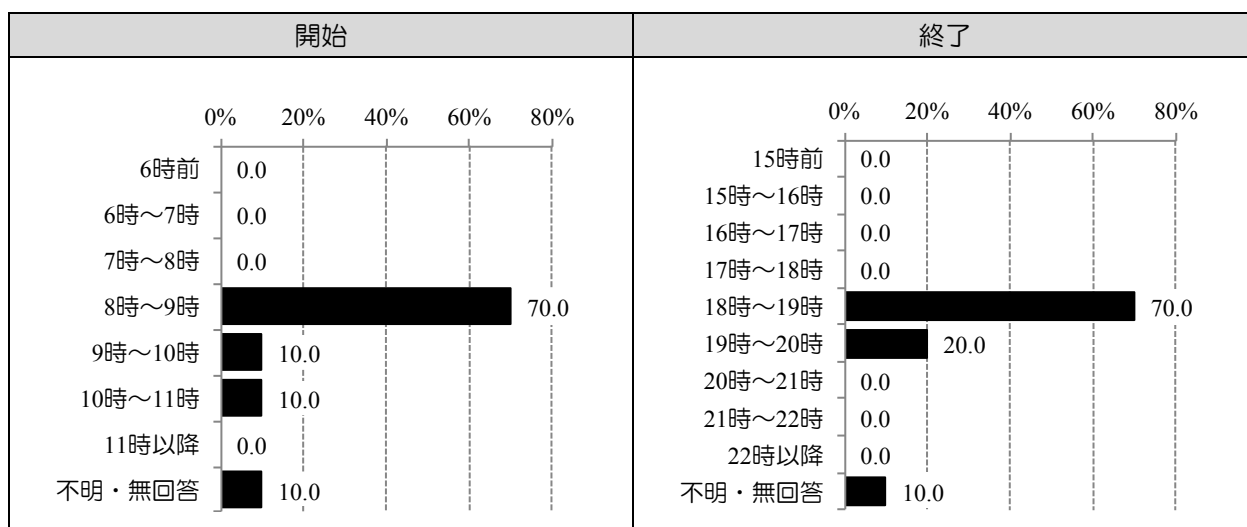


図 155 利用希望時間帯 月に1～2回は利用したい (N=10)

問 14-3 たまに利用したい理由（複数回答）

※ 問 14-2 で「月に 1～2 回は利用したい」と回答した方を集計

- たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も高くなっています（81.5%）。

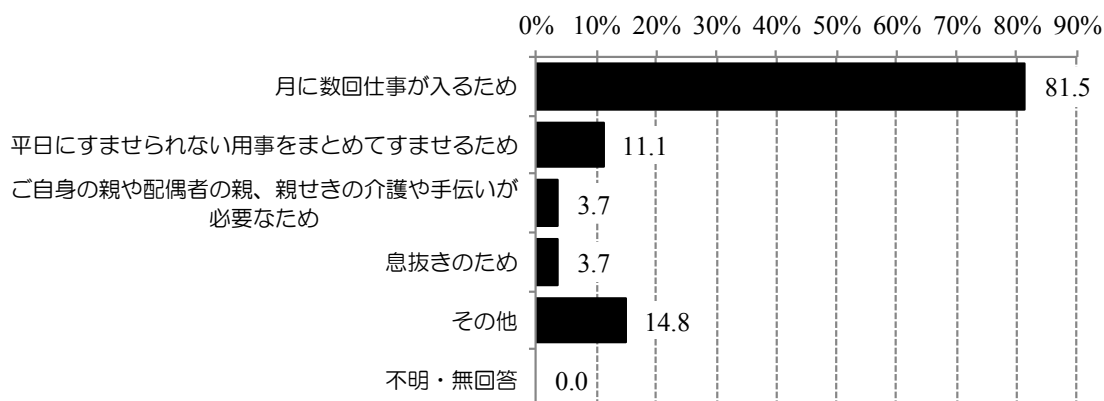


図 156 たまに利用したい理由 (N=27)

問 14-4 放課後児童会に期待すること（複数回答）

※ 問 13 で「利用している」と回答した方を集計

- 放課後児童会に期待することは、「夕方の利用時間を延長する」が最も高く（58.8%）、次いで「朝の利用時間を延長する」（46.5%）となっています。

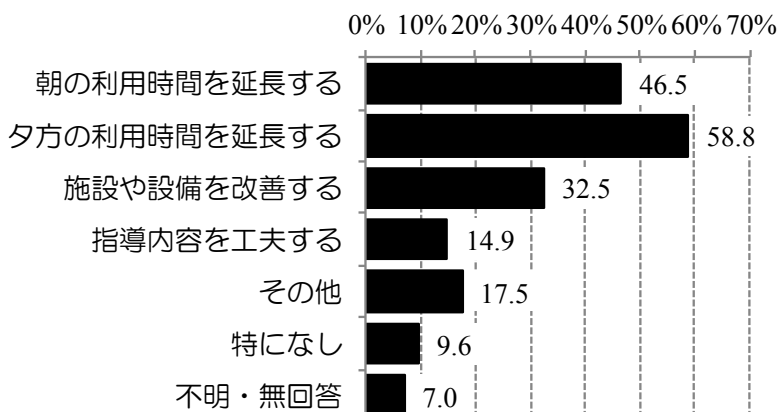


図 157 学童保育所に期待すること (N=114)

問 14-5 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方

※ 問 13 で「利用している」と回答した方を集計

①利用希望（複数回答）

- 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方は、「放課後児童会を利用したい」が最も高く（63.2%）、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」（40.4%）となっています。

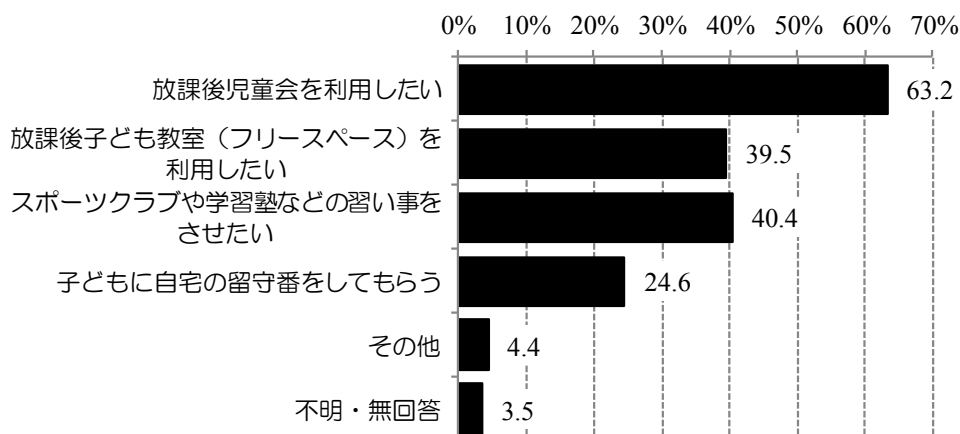


図 158 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方 (N=114)

②利用学年（数量回答）

※ ①で「放課後児童会を利用したい」と回答した方を集計

- 利用学年は、「6 年生まで」が最も高くなっています（90.3%）。

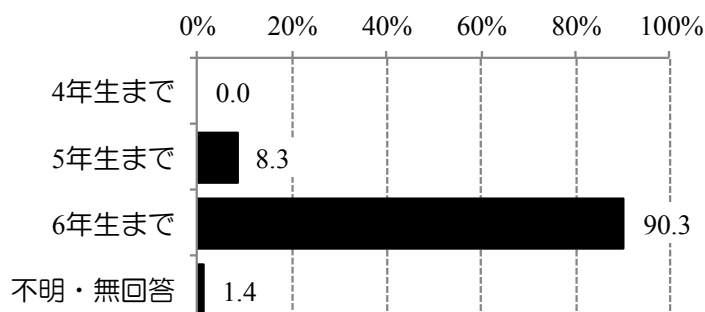


図 159 利用学年 (N=72)

問15 放課後児童会を利用していない理由（単数回答）

※ 問13で「利用していない」と回答した方を集計

- 放課後児童会を利用していない理由は、「ご自身の親や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が最も高く（63.5%）、次いで「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」「その他」（9.0%）となっています。

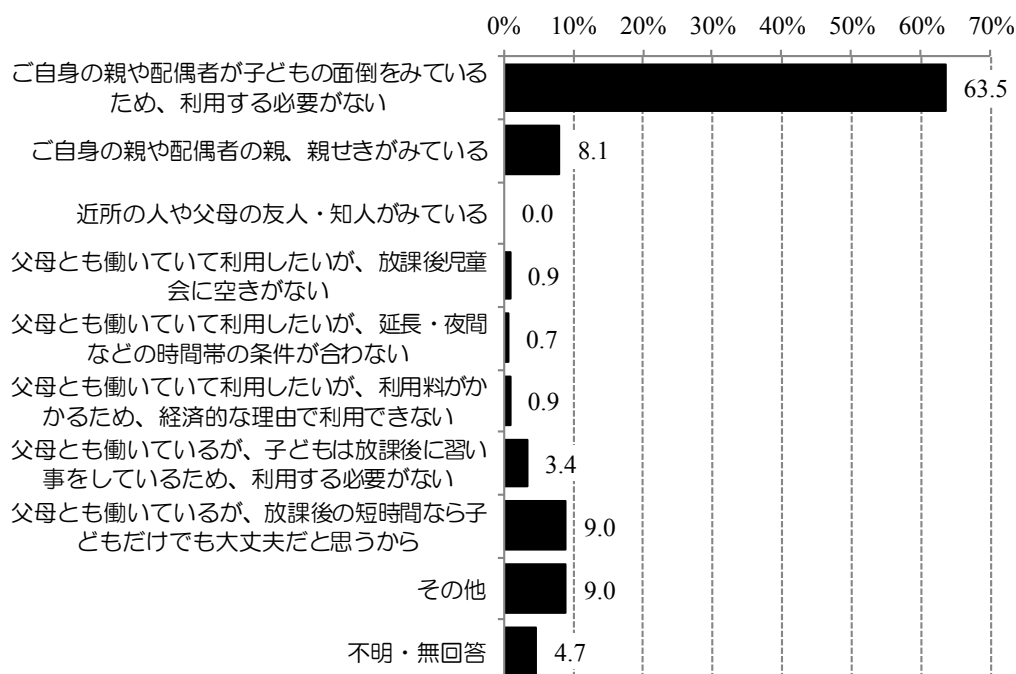


図 160 学童保育所を利用していない理由 (N=446)

問15-1 放課後児童会の今後の利用意向

※ 問13で「利用していない」と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 放課後児童会の今後の利用意向は、約9割（89.5%）の方が「今後も利用しない」と回答しています。

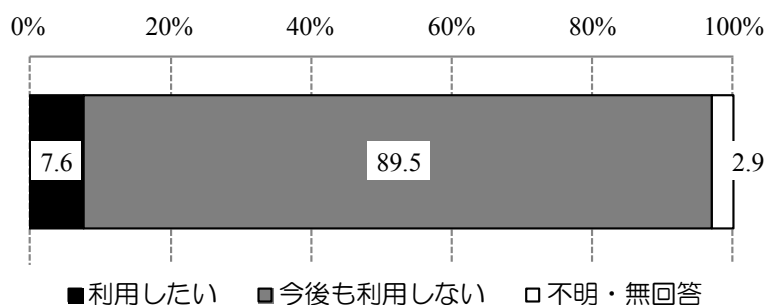


図 161 学童保育所を利用していない理由 (N=446)

②利用希望日数（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望日数は、「5日」が最も高く（35.3%）、次いで「4日」（14.7%）となっています。

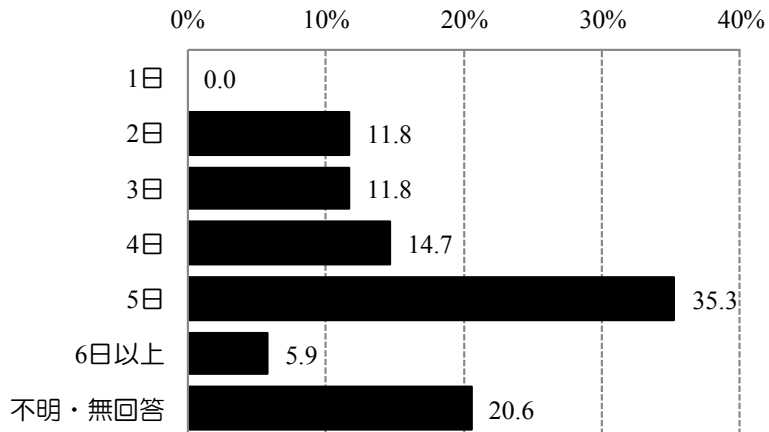


図 162 利用希望日数 (N=34)

③利用希望時間（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望時間は、「3～4時間未満」が最も高く（26.5%）、次いで「4～5時間未満」（17.6%）となっています。

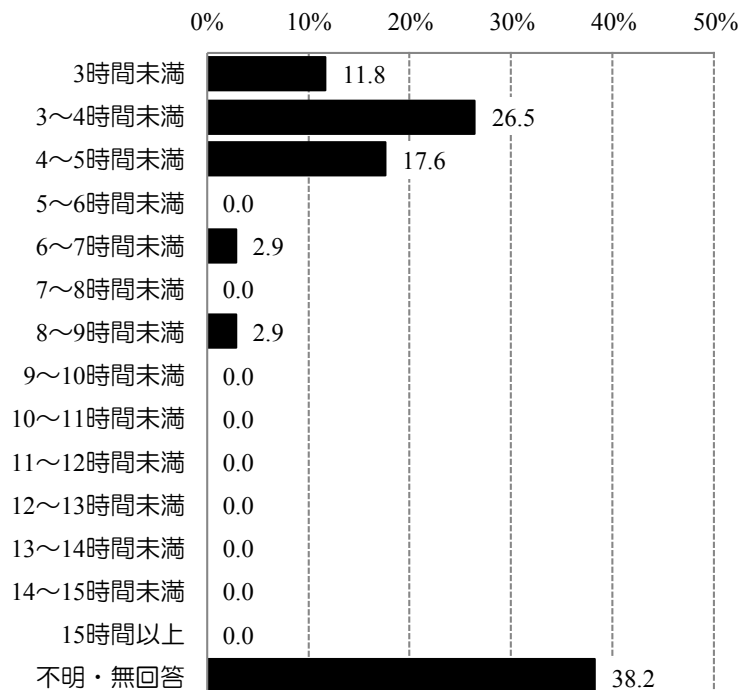


図 163 利用希望時間 (N=34)

④利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望時間帯は、「18 時～19 時」までが最も高く（38.2%）、次いで「19～20 時」まで（17.6%）となっています。

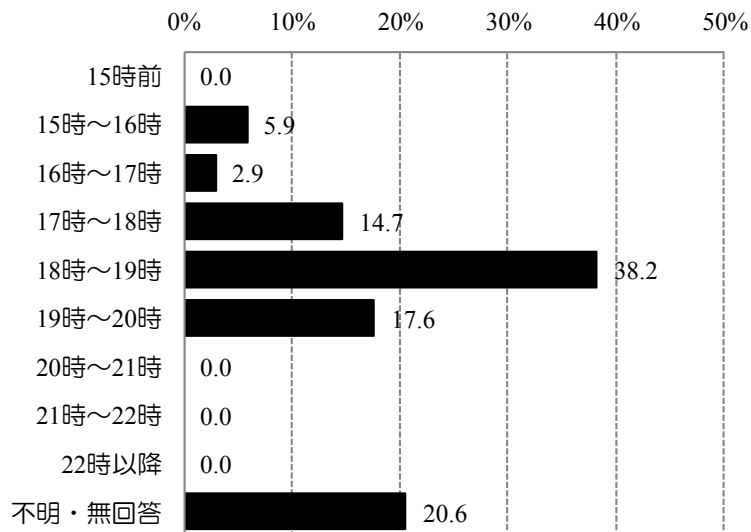


図 164 利用希望時間帯 (N=34)

⑤土曜日の利用希望（単数回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 土曜日の利用希望は、約 4 割（44.1%）の方が「ある」と回答しています。

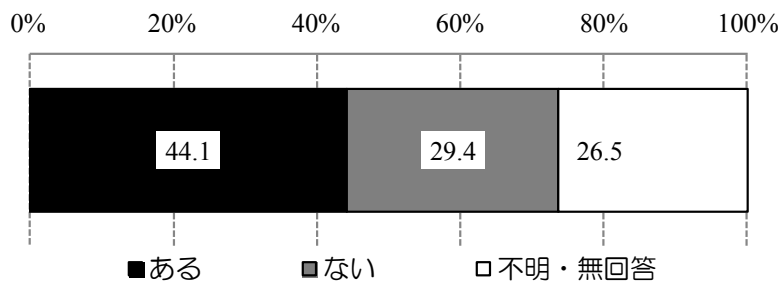


図 165 土曜日の利用希望 (N=34)

⑥土曜日の利用希望時間（数量回答）

※ ⑤で「ある」と回答した方を集計

- 利用希望時間は、「8～9 時間未満」が最も高く（20.0%）、次いで「5～6 時間未満」「11～12 時間未満」（13.3%）となっています。

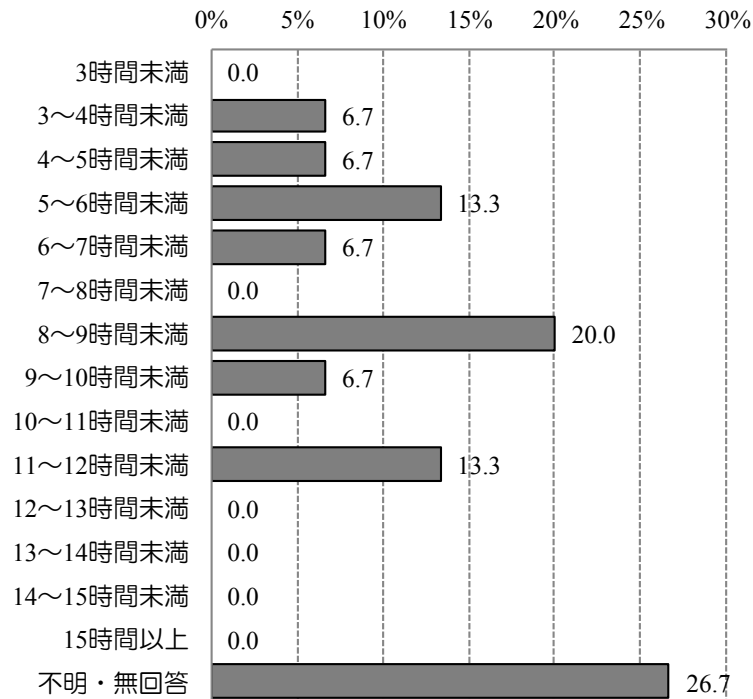


図 166 利用希望時間 土曜日 (N=15)

⑦土曜日の利用時間帯（数量回答）

※ ⑤で「ある」と回答した方を集計

- 利用希望時間帯は、「19 時～20 時」が最も高く（33.3%）、次いで「15 時前」「15 時～16 時」（20.0%）となっています。

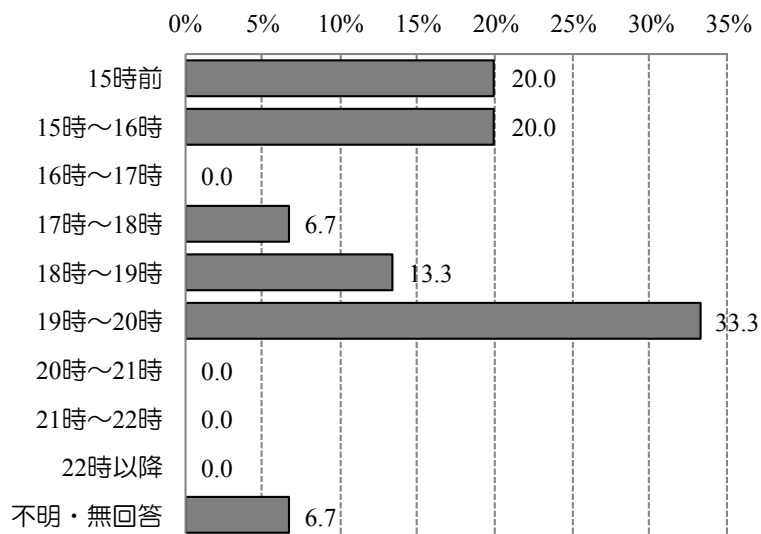


図 167 利用希望時間帯 土曜日 (N=15)

⑧日曜日・祝日の利用希望（単数回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 日曜日・祝日の利用希望は、約 4 割（41.2%）の方が「ない」と回答しています。

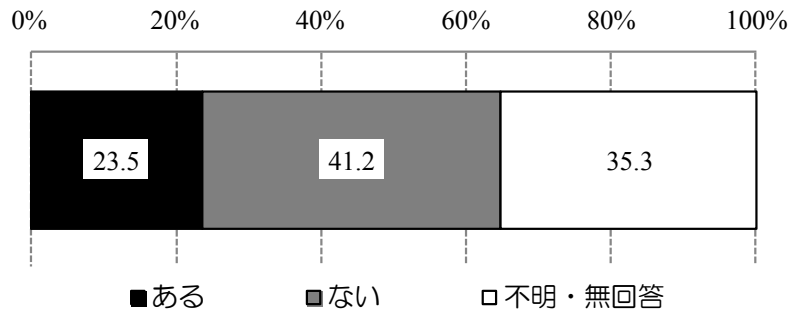


図 168 日曜日・祝日の利用希望 (N=34)

⑨日曜日・祝日の利用希望時間（数量回答）

※ ⑧で「ある」と回答した方を集計

- 利用希望時間は、「5～6 時間未満」が最も高くなっています（25.0%）。

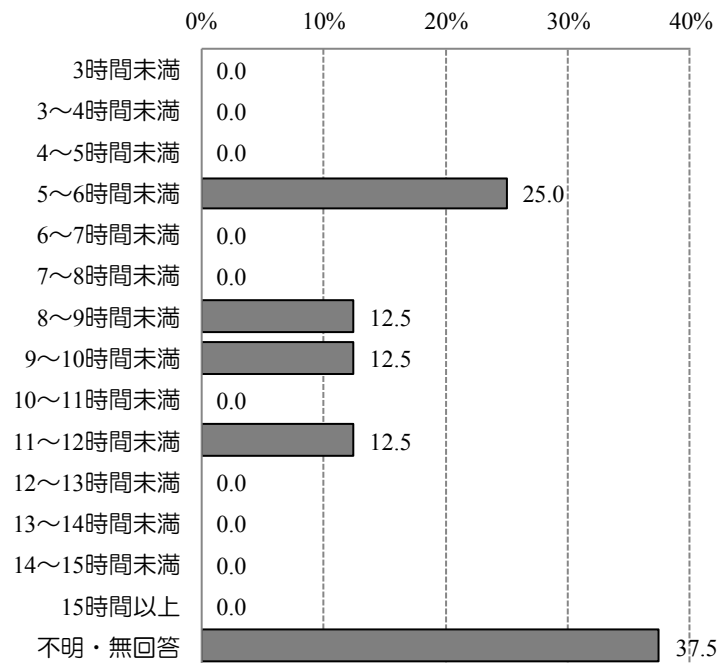


図 169 利用希望時間 日曜日・祝日 (N=8)

⑩日曜日・祝日の利用希望時間帯（数量回答）

※ ⑧で「ある」と回答した方を集計

- 利用希望時間帯は、「19時～20時」が最も高くなっています（50.0%）。

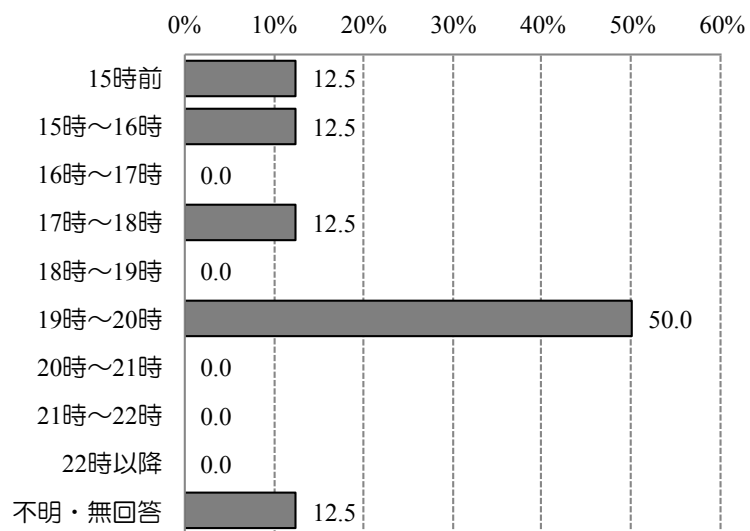


図 170 利用希望時間帯 日曜日・祝日 (N=8)

3 病気時の対応や不定期的な一時預かりについて

問16 この1年間に病気やケガで学校を休んだことがあるか（単数回答）

- 回答者の約7割（67.7%）の方が「あった」と回答しています。

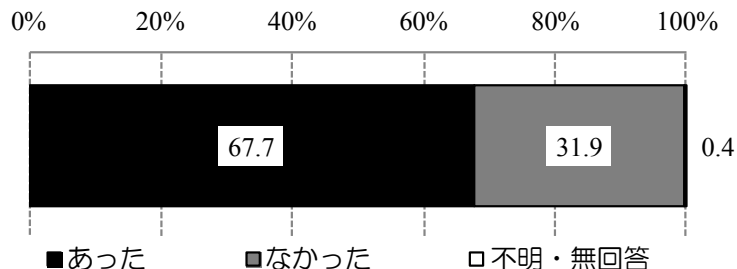


図 171 この1年間に病気やケガで学校を休んだことがあるか (N=564)

問16-1 学校を休んだ場合の対処方法

※ 問16で「あった」と回答した方を集計

① 対処方法（複数回答）

- 対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も高く（44.0%）、次いで「ご自身の親や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」「働いていない父親か母親が子どもをみた」（34.0%）となっています。

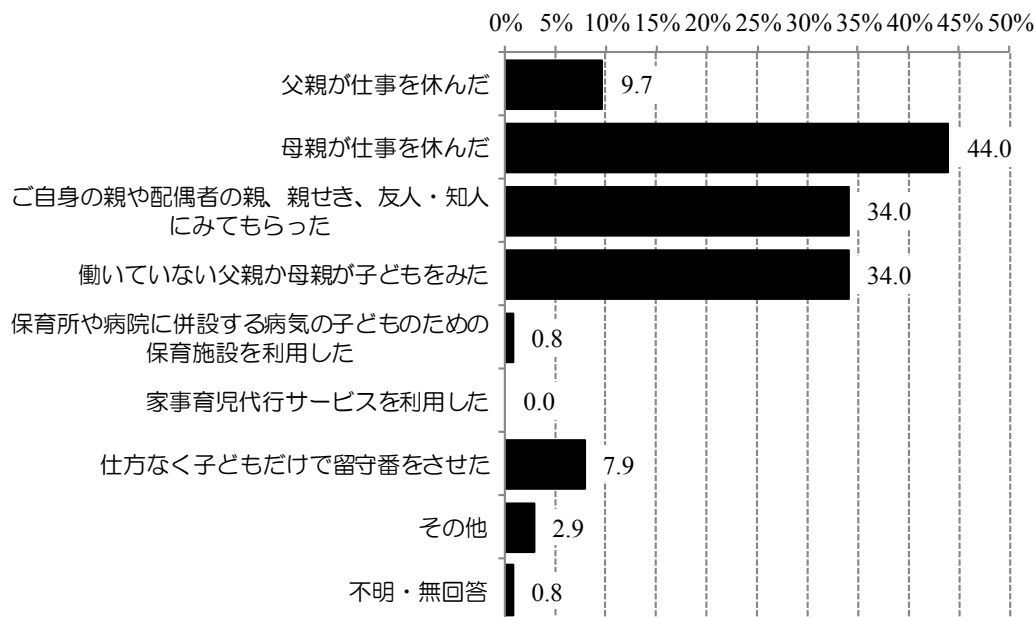


図 172 対処方法 (N=382)

③対処方法別日数（数量回答）

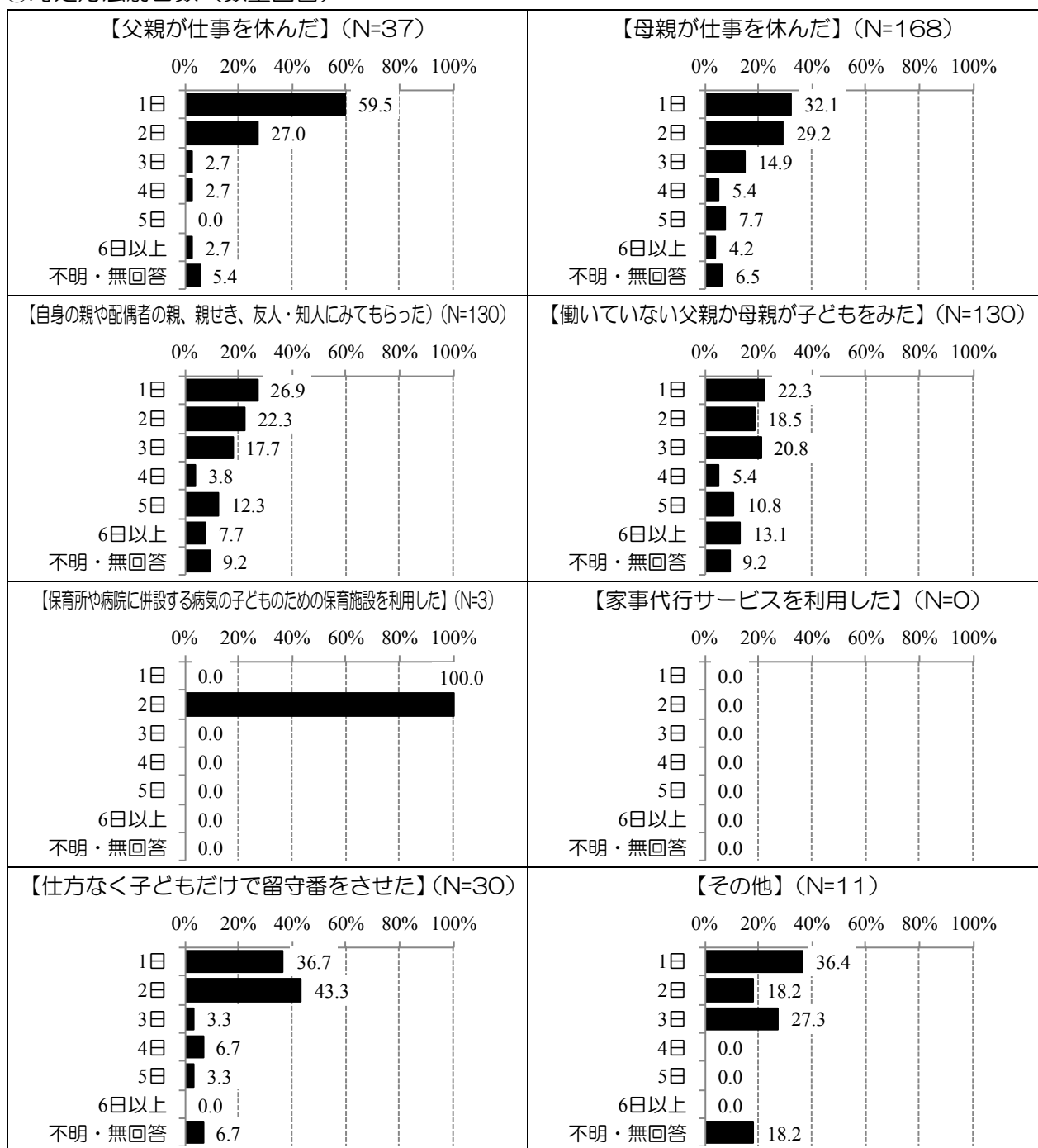


図 173 対処方法別日数

問 16-2 病児・病後児保育の利用希望

※ 問 16-1 で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 病児・病後児保育の利用希望は、約 7 割（67.0%）の方が「利用したいとは思わない」と回答しています。

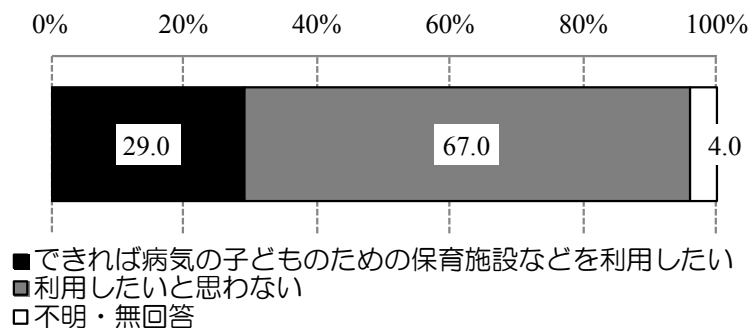


図 174 利用希望 (N=176)

②利用希望日数（数量回答）

※ ①で「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答した方を集計

- 利用希望日数は、「3日」が最も高く（25.5%）、次いで「1日」「2日」（13.7%）となっています。

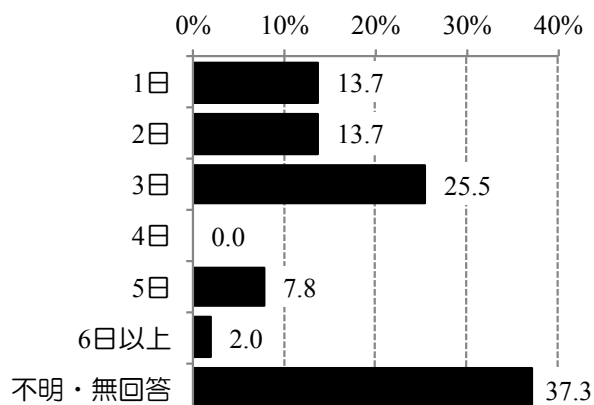


図 175 利用希望日数 (N=51)

問17 子どもを家族以外に一時的に預けたことがあったか

①利用状況（複数回答）

- 子どもを家族以外に一時的に預けたことがあったかは、「預けるようなことはなかった」が最も高く（47.7%）、次いで「ご自身の親や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」（46.1%）となっています。

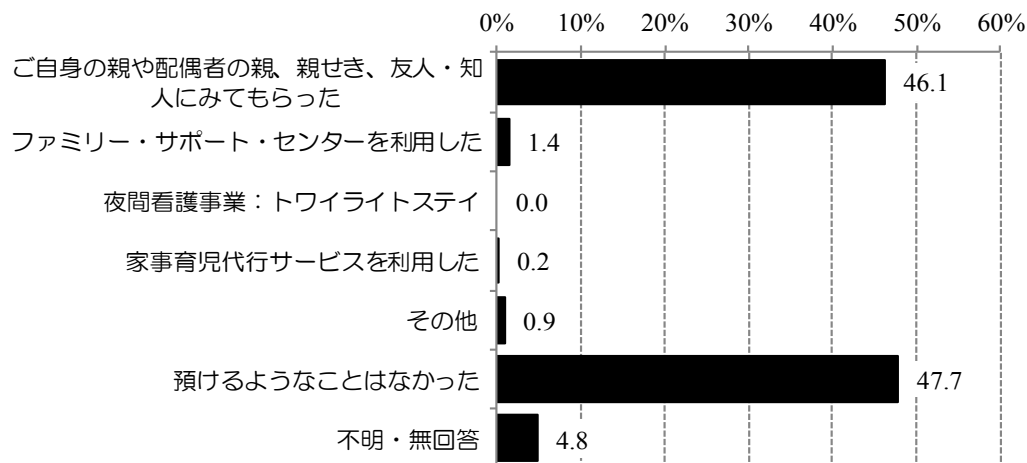


図 176 子どもを家族以外に一時的に預けたことがあったか (N=564)

②施設・事業別利用日数（数量回答）

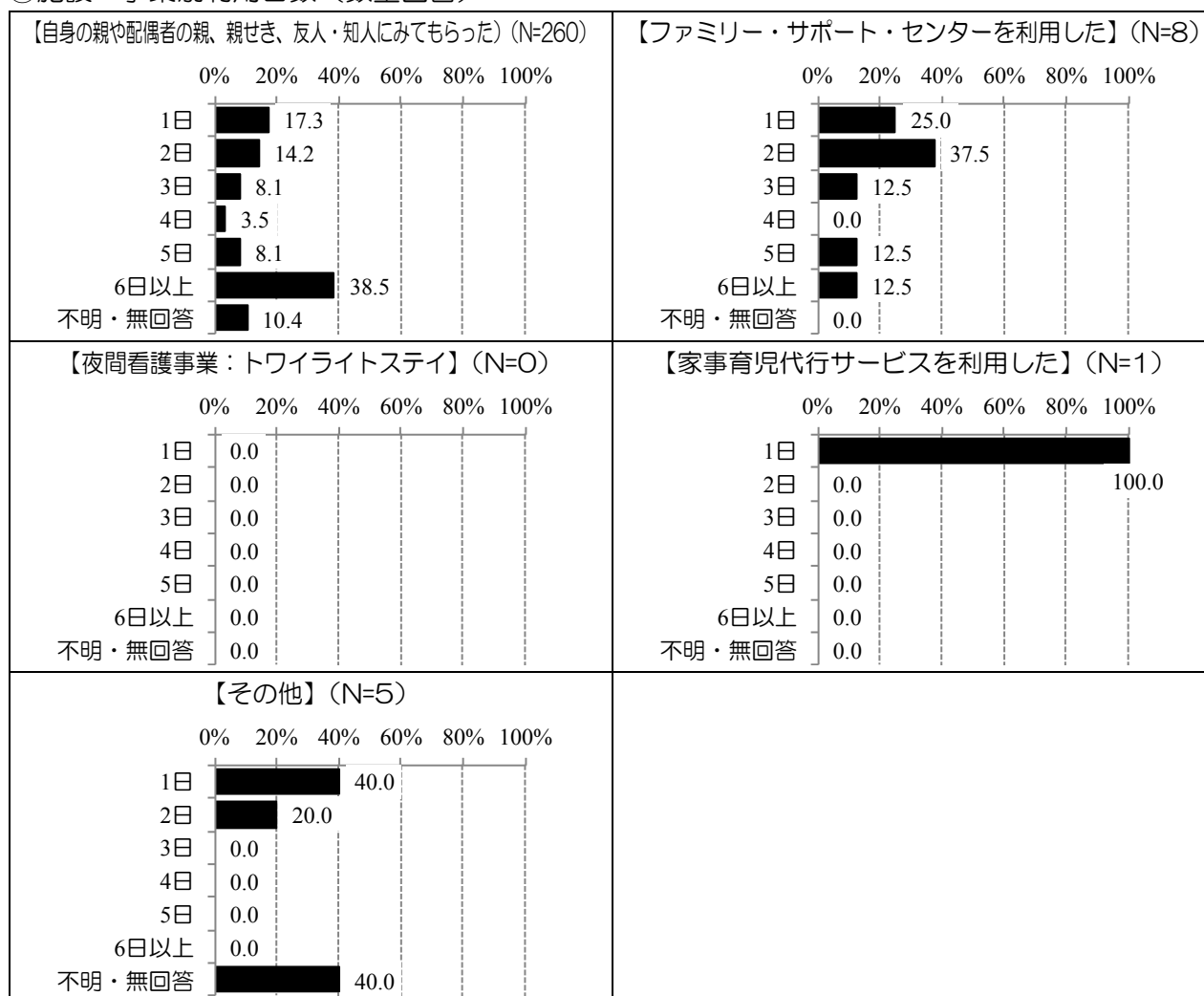


図 177 施設・事業別利用日数

問18 この1年間に保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

①状況（単数回答）

- 保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかは、約8割（80.7%）の方が「なかった」と回答しています。

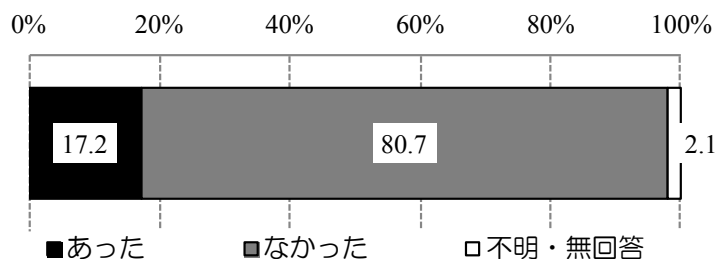


図 178 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか (N=564)

②対処方法（複数回答）

※ ①で「あった」と回答した方を集計

- 対処方法は、「(同居人を含む) 親族知人にみてもらった」が最も高く（91.8%）、次いで「仕方なく子どもを同行させた」（7.2%）となっています。

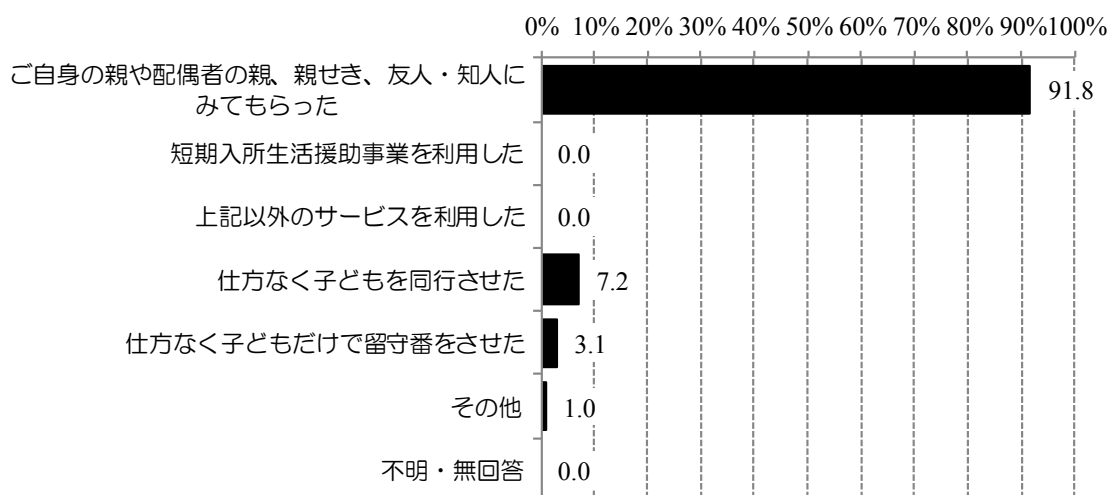
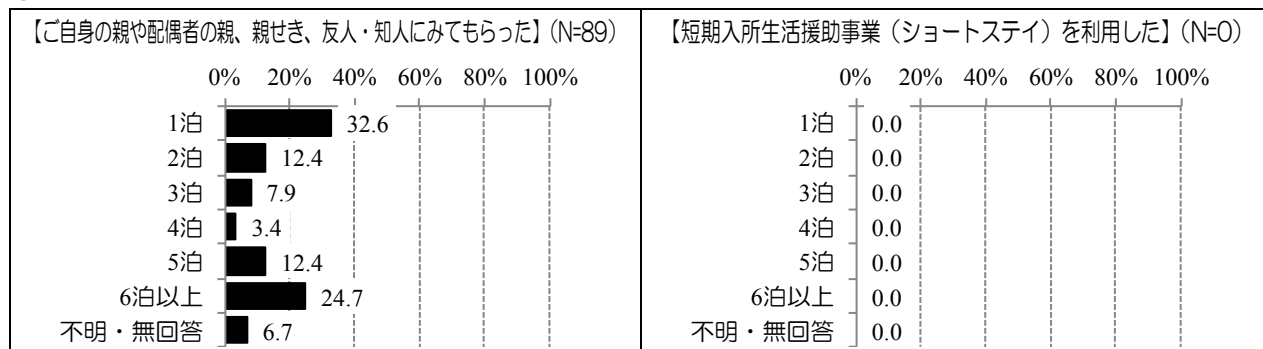


図 179 対処方法 (N=97)

③対処方法別泊数（数量回答）



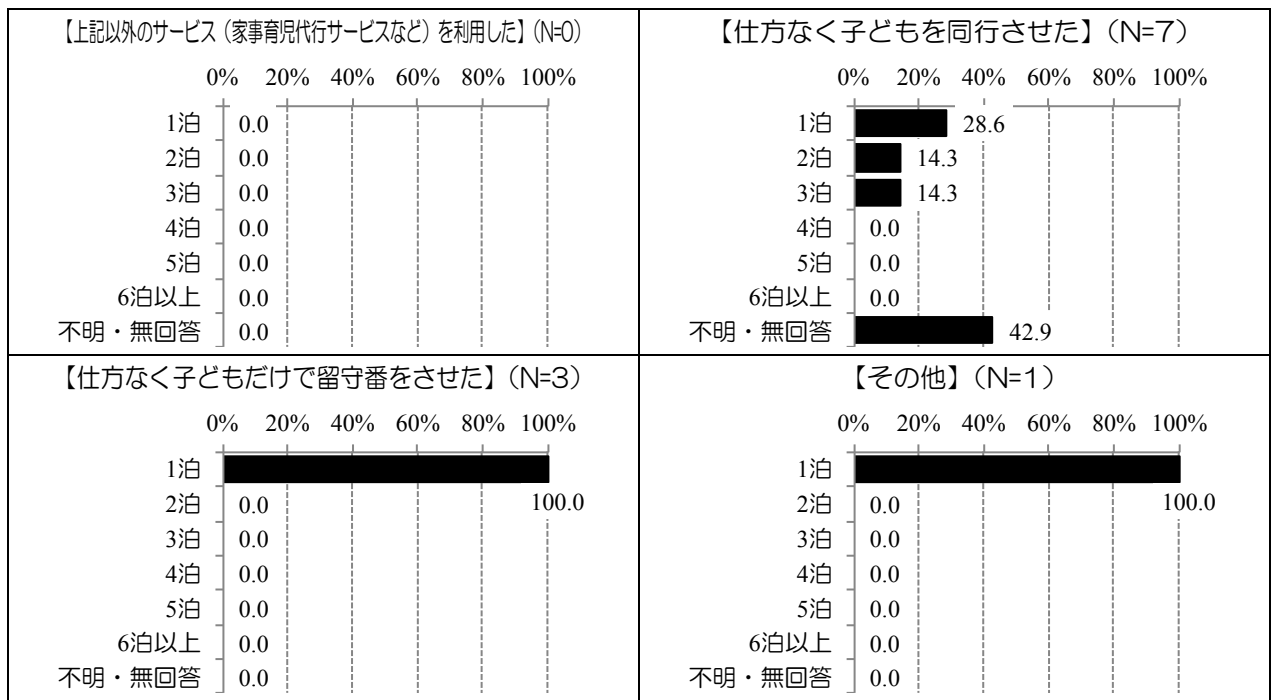


図 180 対処方法別泊数

4 仕事と子育ての両立について

問19 子どもと一緒に過ごす時間

①時間（数量回答）

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間は、「6～7時間未満」が最も高くなっています(17.9%)。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間は、「2～3時間未満」が最も高くなっています(21.4%)。

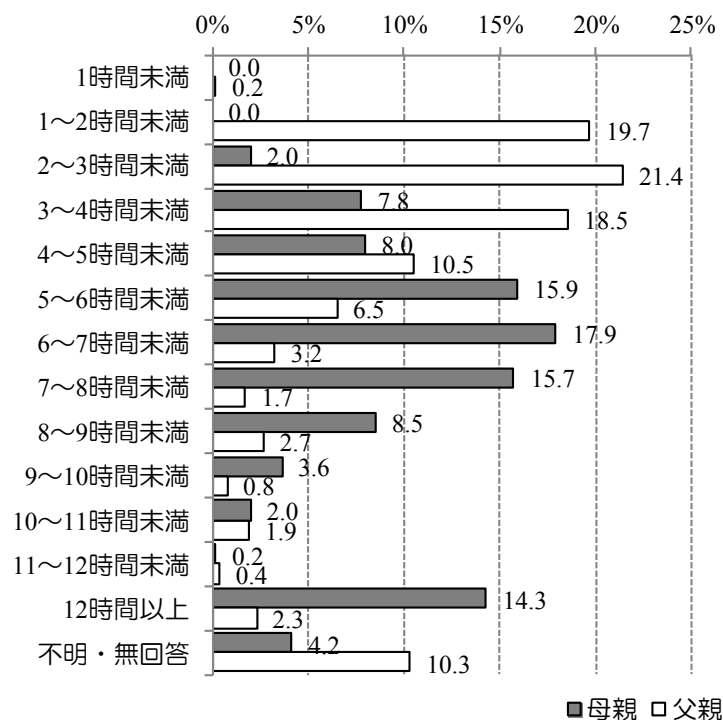


図 181 子どもと一緒に過ごす時間 平日[母親 (N=553)、父親 (N=524)]

②時間について（単数回答）

※ ①を回答した方を集計

- 母親の子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が最も高く (45.7%)、次いで「まあまあ十分だと思う」(29.6%) となっています。
- 父親の子どもと一緒に過ごす時間については、「不十分だと思う」が最も高く (28.7%)、次いで「まあまあ十分だと思う」(28.3%) となっています。

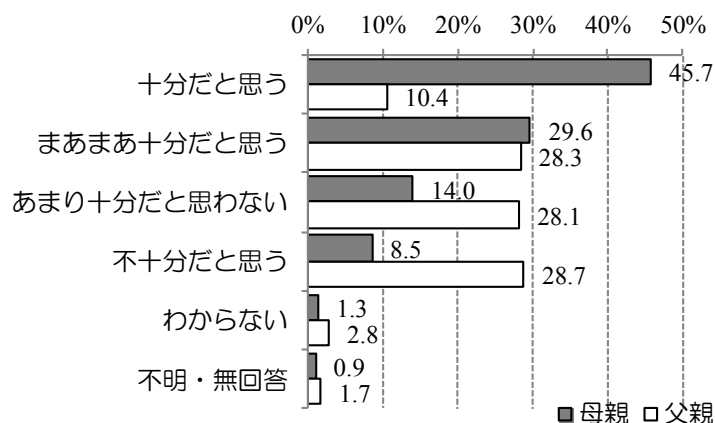


図 182 子どもと一緒に過ごす時間について 平日[母親 (N=530)、父親 (N=470)]

問20 家事に費やす時間（数量回答）

- 母親の家事に費やす 1 日当たりの平均時間は、「3～4 時間未満」が最も高くなっています（21.3%）。
- 父親の家事に費やす 1 日当たりの平均時間は、「1～2 時間未満」が最も高くなっています（42.0%）。

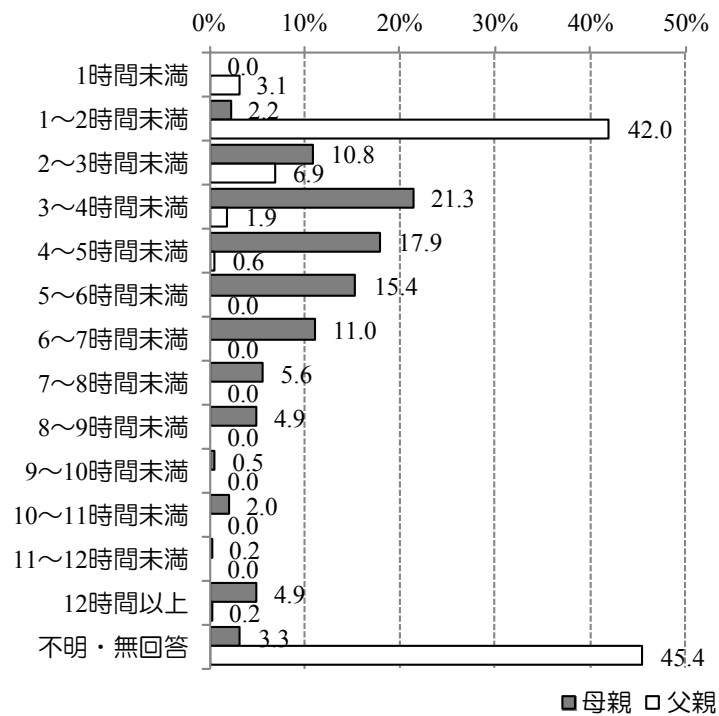


図 183 家事に費やす時間/日[母親 (N=553)、父親 (N=524)]

問21 仕事と子育てを両立させる上での課題（複数回答）

- 仕事と子育てを両立させる上での課題は、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も高く（53.0%）、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」（40.8%）、「残業や出張が入ること」（39.7%）となっています。

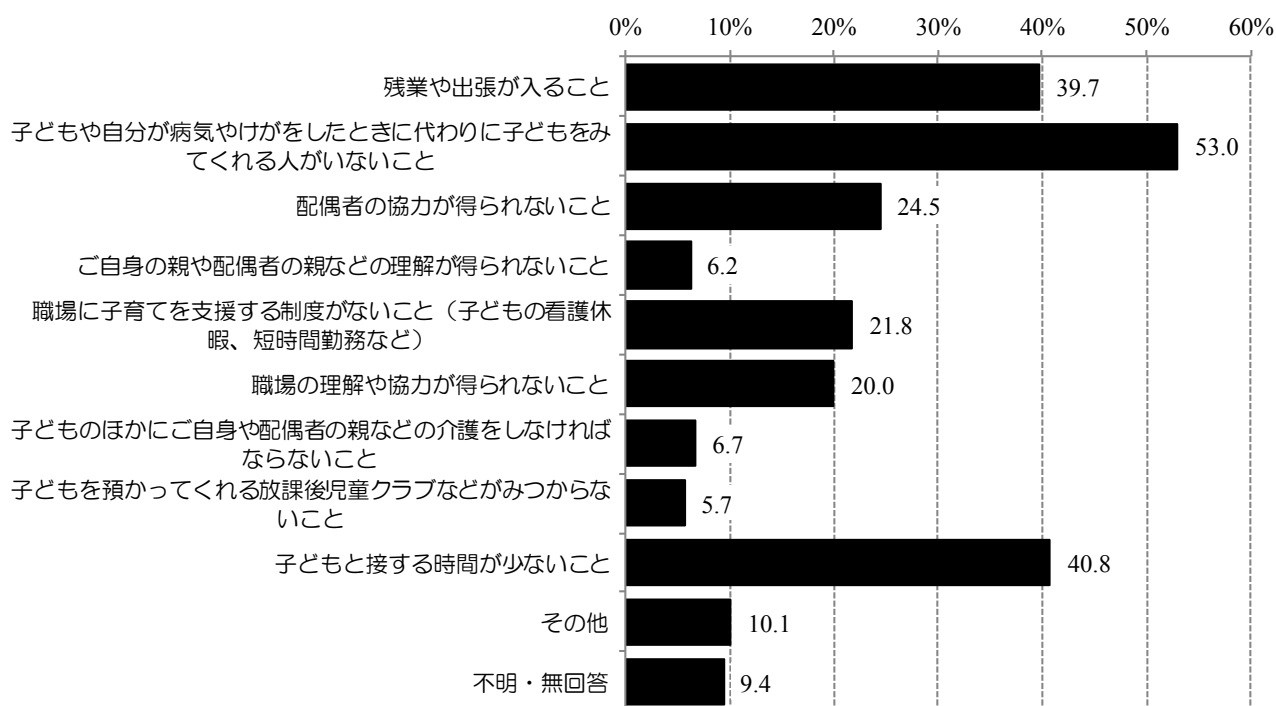


図 184 仕事と子育てを両立させる上での課題（N=564）

5 市役所などへの要望

問22 充実してほしい子育て支援サービス（複数回答）

- 充実してほしい子育て支援サービスは、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が最も高く（67.2%）、次いで「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」（59.0%）、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」（55.7%）となっています。

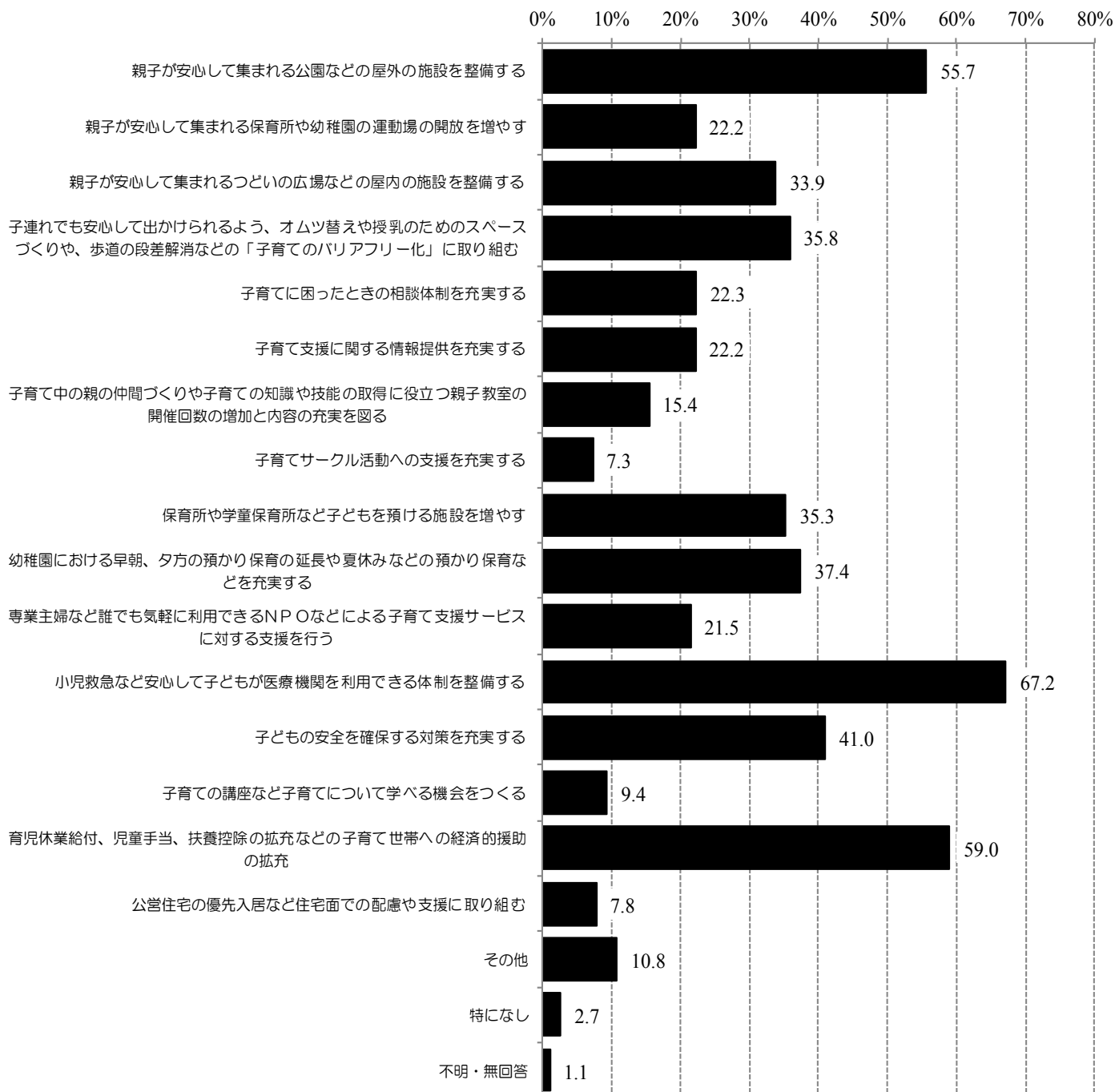


図 185 充実してほしい子育て支援サービス (N=564)

6 子どもの生活習慣

問23 子どもの生活習慣

(1) 朝食の有無

- 朝食の有無は、約9割(94.7%)の方が「毎日食べる」と回答しています。

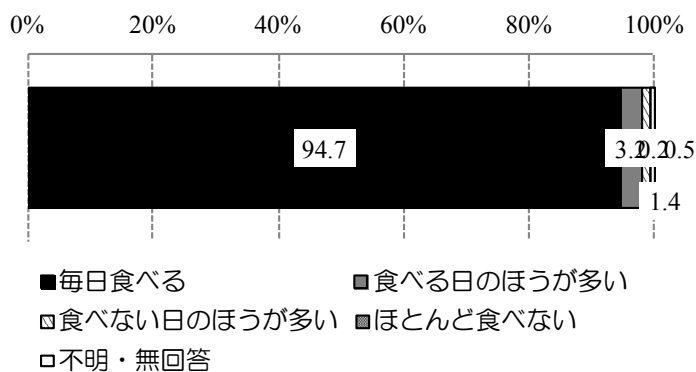


図 186 朝食の有無 (N=564)

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をするか

- 家族と一緒に食事をするかについては、97.3%の方が「する」と回答しています。

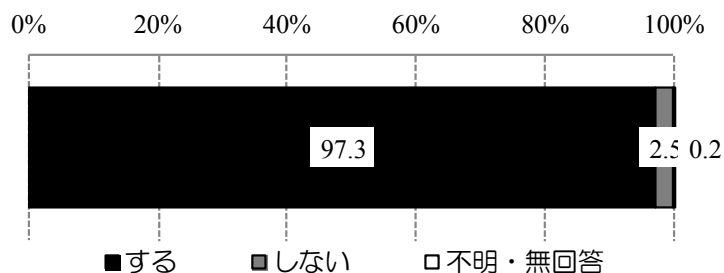


図 187 家族と一緒に食事をするか (N=564)

(3) テレビ等の1日当たりの平均視聴時間

- テレビ等の1日当たりの平均視聴時間は、「2時間以上」が最も高くなっています(31.6%)。

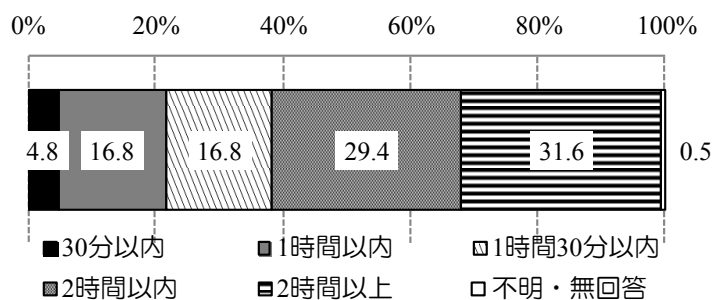


図 188 テレビ等の1日当たりの平均視聴時間 (N=564)

(4) 就寝時刻

- 就寝時刻は、「21時～21時半」が最も高くなっています（34.0%）。

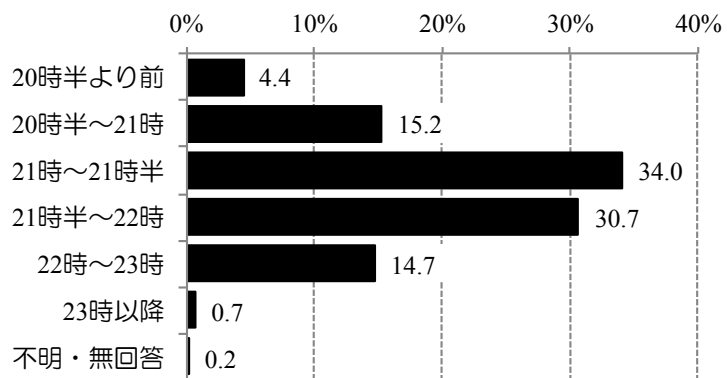


図 189 就寝時刻 (N=564)

7 子どもの普段の過ごし方

問24 子どもの普段の過ごし方（単数回答）

- 「平日の 14～16 時」の過ごし方は、「授業などで学校にいる」が最も高くなっています（63.8%）。
- 「平日の 16～18 時」の過ごし方は、「家や公園などで友だちと過ごす」が最も高くなっています（34.6%）。
- 「平日の 18～20 時」の過ごし方は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も高くなっています（78.7%）。
- 「平日の 20 時以降」の過ごし方は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も高くなっています（87.1%）。
- 「休日」の過ごし方は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も高くなっています（78.2%）。

表 1 子どもの普段の過ごし方

【平日】		14～16時		16～18時		18～20時		20時以降	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	授業などで学校にいる	360	63.8	6	1.1	0	0.0	0	0.0
2	放課後児童会で過ごす	65	11.5	102	18.1	0	0.0	0	0.0
3	放課後子ども教室（フリースペース）に参加する	3	0.5	3	0.5	0	0.0	0	0.0
4	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	33	5.9	102	18.1	444	78.7	491	87.1
5	家事育児代行サービスなどを利用する	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	家や公園などで友だちと過ごす	64	11.3	195	34.6	5	0.9	3	0.5
7	児童館など公共の施設にいる	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	0	0.0	0	0.0	2	0.4	0	0.0
9	学習塾や習い事へ行く	5	0.9	114	20.2	60	10.6	1	0.2
10	家で、ひとりで勉強などをする	15	2.7	29	5.1	14	2.5	14	2.5
11	その他	2	0.4	1	0.2	19	3.4	28	5.0
	不明・無回答	17	3.0	12	2.1	20	3.5	27	4.8
	回答者総数	564	100.0	564	100.0	564	100.0	564	100.0

【休日】		—	
		人	%
1	授業などで学校にいる	1	0.2
2	放課後児童会で過ごす	0	0.0
3	放課後子ども教室（フリースペース）に参加する	0	0.0
4	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	441	78.2
5	家事育児代行サービスなどを利用する	0	0.0
6	家や公園などで友だちと過ごす	41	7.3
7	児童館など公共の施設にいる	0	0.0
8	地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）	15	2.7
9	学習塾や習い事へ行く	16	2.8
10	家で、ひとりで勉強などをする	3	0.5
11	その他	17	3.0
	不明・無回答	30	5.3
	回答者総数	564	100.0

8 地域での自然体験などへの参加

問25 居住地域は、自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であるか（単数回答）

- 居住地域の自然、社会、文化環境は、「体験をしやすいと思う」が最も高くなっています（42.2%）。

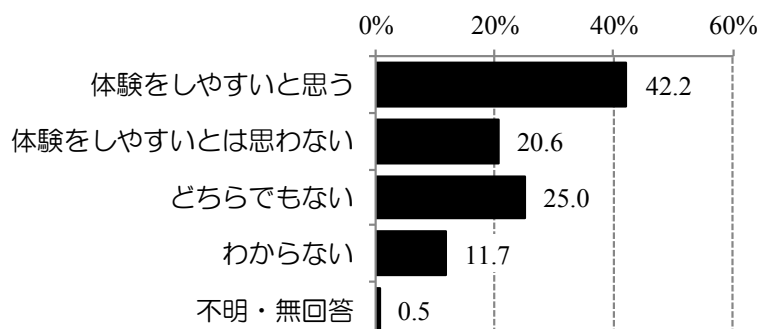


図 190 居住地域の自然、社会、文化環境 (N=564)

問26 参加したことがある自然、社会、文化活動（複数回答）

- 参加したことがある自然、社会、文化活動は、「地域の活動」が最も高く（59.0%）、次いで「青少年団体活動」（29.3%）、「スポーツ活動」（27.7%）となっています。

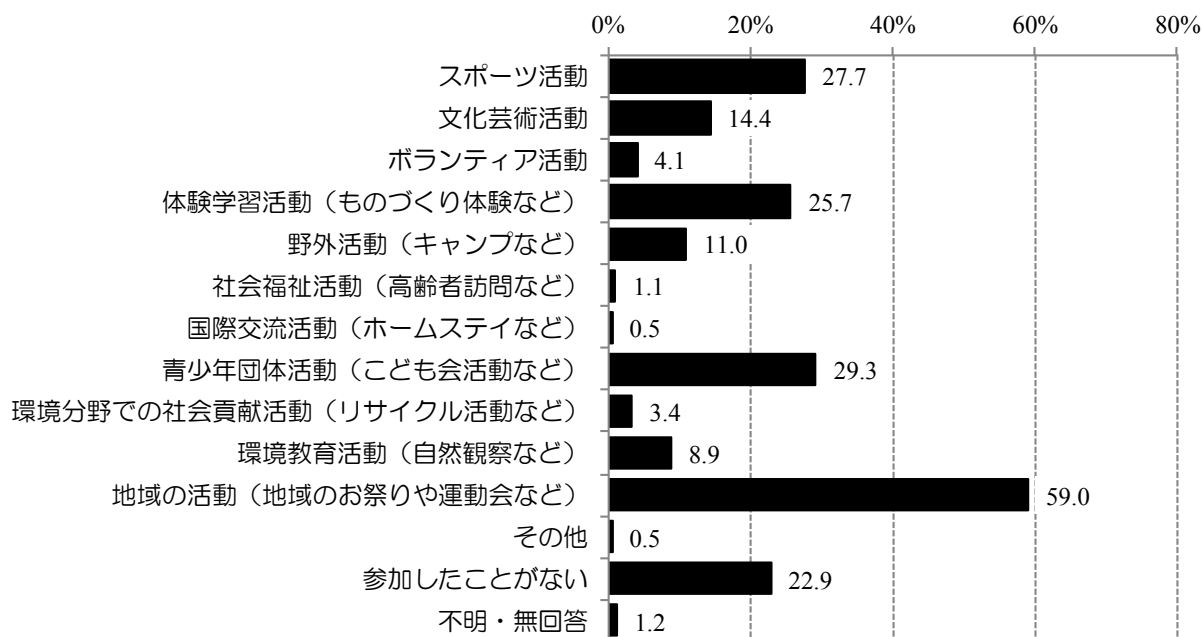


図 191 参加したことがある自然、社会、文化活動 (N=564)

問26-1 参加していない理由

※ 問26で「参加したことがない」と回答した方を集計

①利用希望（複数回答）

- 参加強していない理由は、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が最も高く（42.6%）、次いで「参加の時間帯が合わない」（35.7%）、「知り合いなどがおらず参加しにくい」（31.0%）となっています。

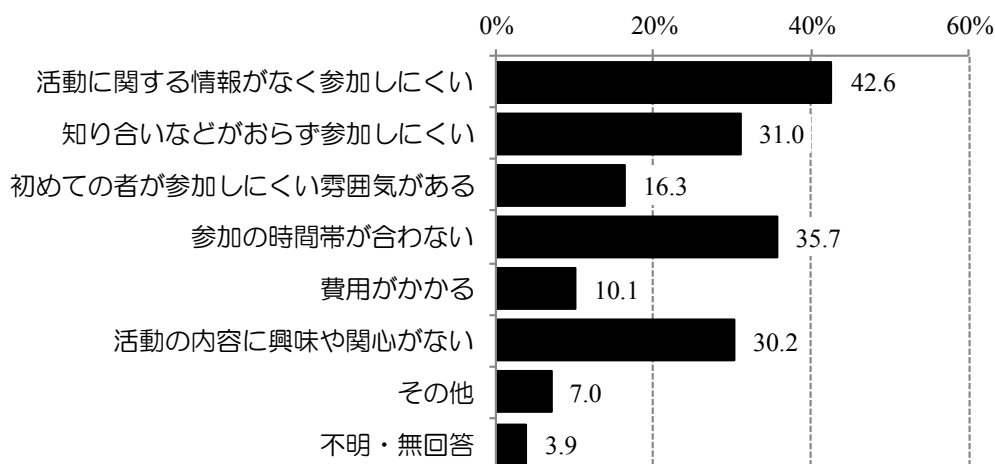


図 192 参加していない理由 (N=129)

問27 今後、参加させたい自然、社会、文化活動（複数回答）

- 今後、参加させたい自然、社会、文化活動は、「体験学習活動」が最も高く（40.8%）、次いで「スポーツ活動」（32.6%）、「野外活動」（32.3%）となっています。

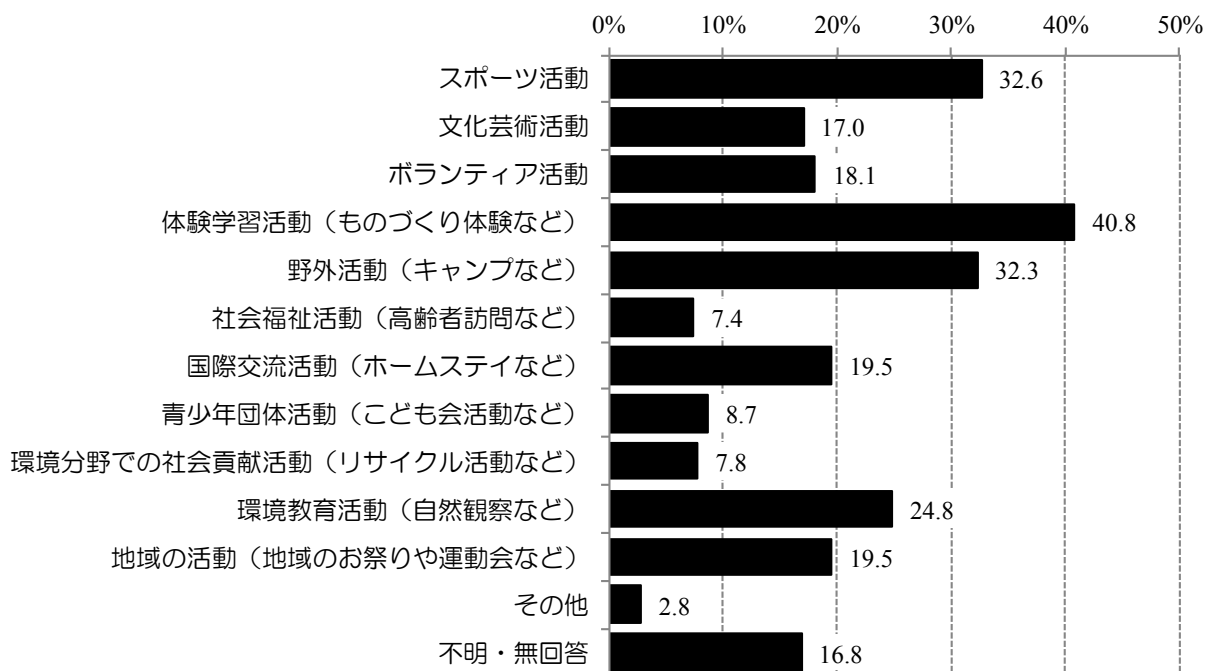


図 193 今後、参加させたい自然、社会、文化活動 (N=564)

9 子育てを支援する生活環境整備や子どもの安全確保

問28 子どもの遊び場についての満足度（単数回答）

- 子どもの遊び場については、「満足していない」が最も高く（68.6%）、次いで「どちらとも思わない」（19.0%）となっています。

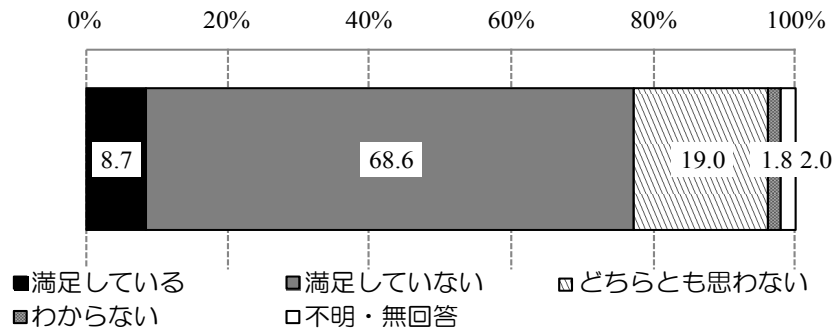


図 194 子どもの遊び場についての満足度 (N=564)

問29 子どもの遊び場について日頃感じること（複数回答）

- 子どもの遊び場について日頃感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が最も高く（68.6%）、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」（57.6%）、「遊具などの種類が充実していない」（55.9%）となっています。

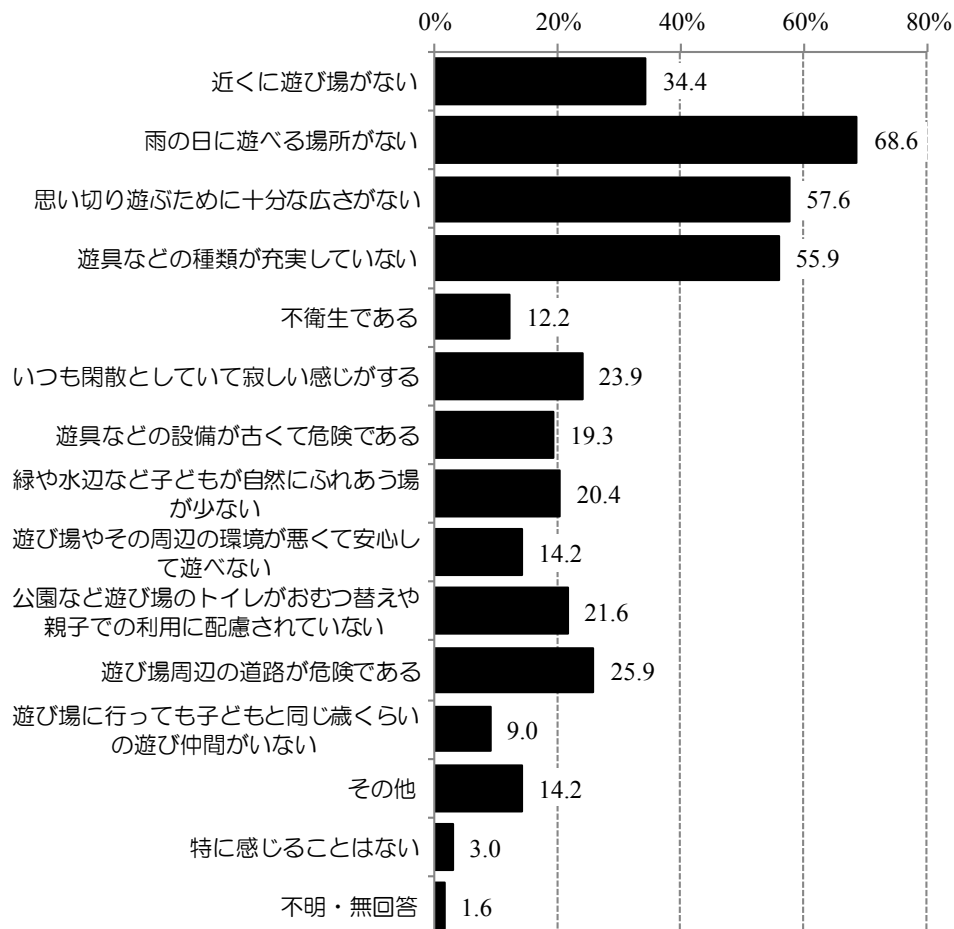


図 195 子どもの遊び場について日頃感じること (N=564)

10 子育てに対する意識

問30 子育てについて感じること（単数回答）

- 子育てについて感じることは、「楽しいと感じることの方が多し」が最も高く（63.5%）、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」（26.6%）となっています。

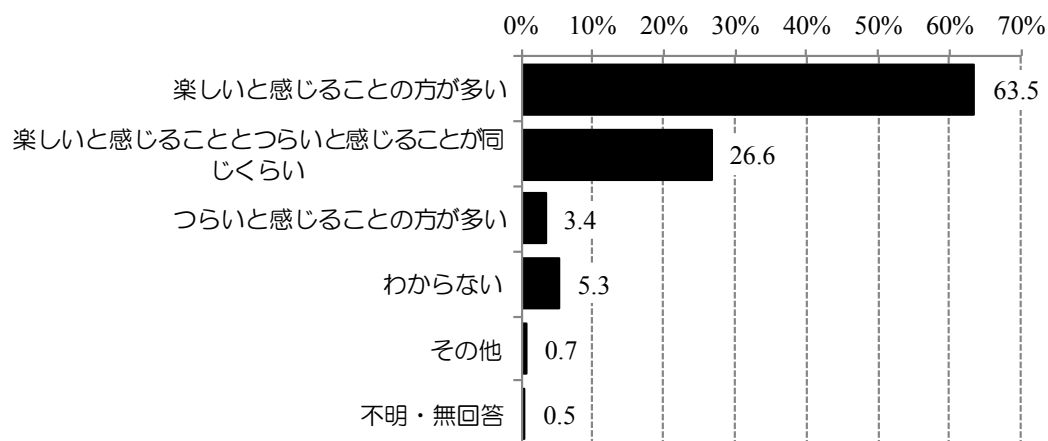


図 196 子育てについて感じること (N=564)

問30-1 有効と感じる支援・対策（複数回答）

※ 問30で「楽しいと感じることの方が多し」と回答した方を集計

- 有効と感じる支援・対策は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も高く（49.7%）、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」（46.6%）、「子どもの教育環境」（42.5%）となっています。

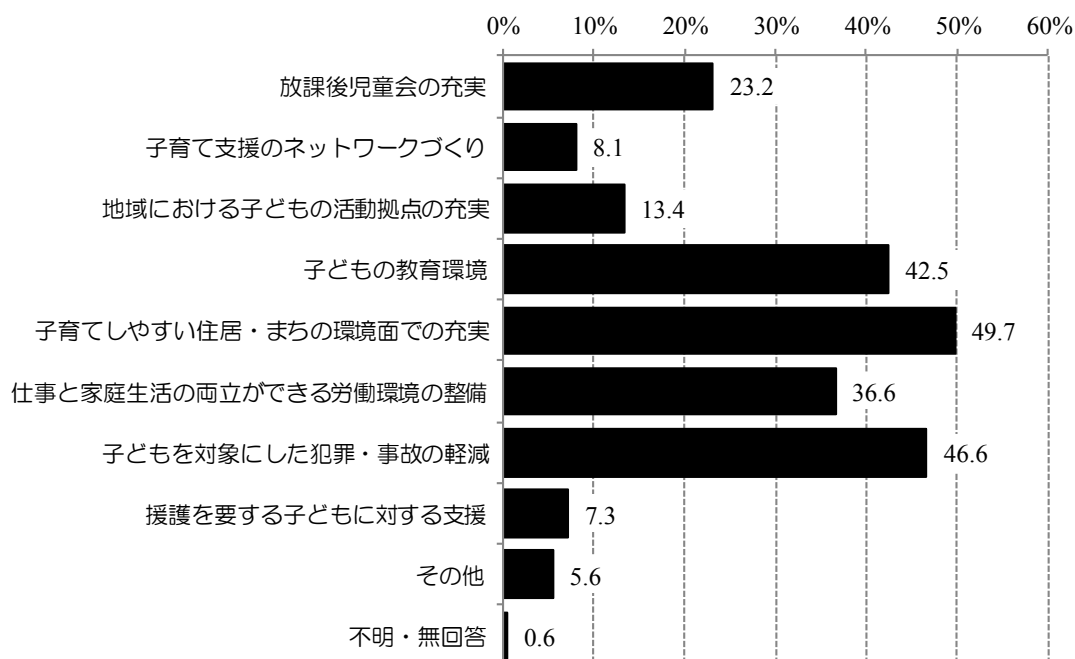


図 197 有効と感じる支援・対策 (N=358)

問30-2 つらさを解消するために必要な支援・対策（複数回答）

※ 問30で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多し」と回答した方を集計

- 必要な支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が最も高く（38.5%）、次いで「子どもの教育環境」「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」（33.1%）となっています。

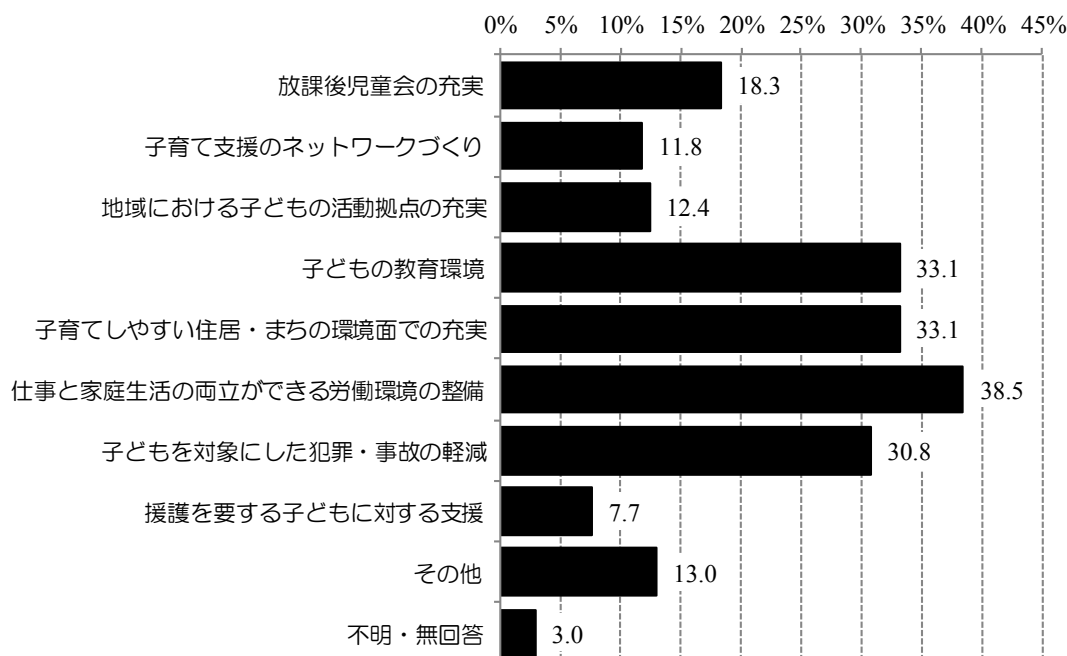


図 198 つらさを解消するために必要な支援・対策（N=169）

問31 子育てに関して悩んでいること、気になること

(1) 子どもに関すること（複数回答）

- 子どもに関することで悩んでいる・気になることは、「子どもの教育に関すること」が最も高く（45.2%）、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」（41.3%）、「特になし」（18.4%）となっています。

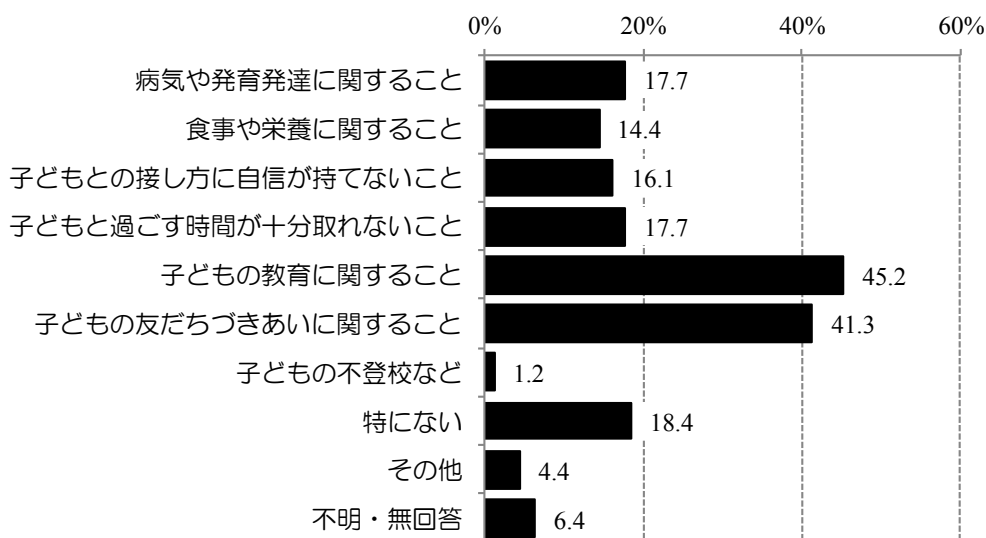


図 199 子どもに関することで悩んでいる、気になること（N=564）

(2) 自身に関すること (複数回答)

- 自身に関することで悩んでいる・気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が最も多く(42.6%)、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分にとれないこと」(34.2%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」(23.4%)となっています

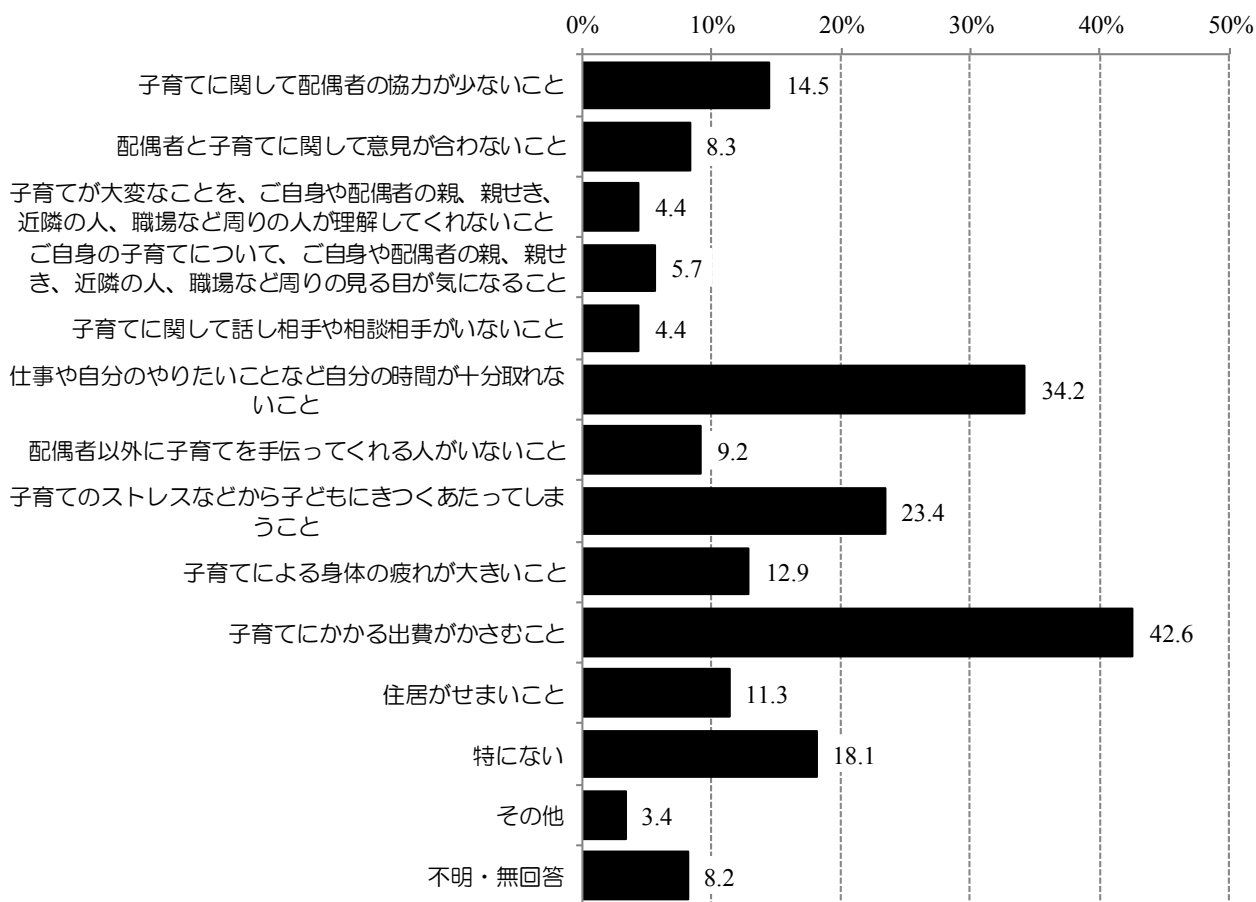


図 200 自身に関することで悩んでいる、気になること (N=564)

問32 子育てについて地域に支えられているか

①状況 (単数回答)

- 子育てについて地域に支えられていると感じるかは、約 7 割 (72.3%) の方が「感じる」と回答しています。

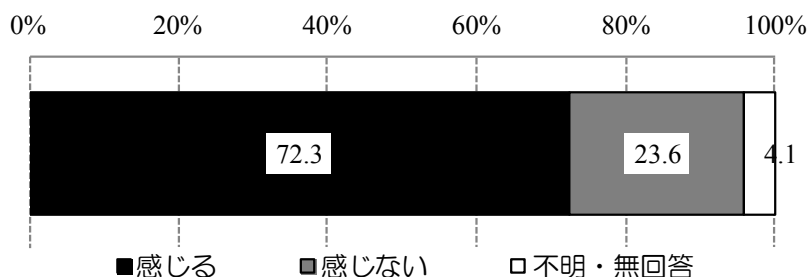


図 201 状況 (N=564)

②支えている・支えてほしい人（複数回答）

- 支えている人は、「同じ子どもを持つ保護者」が最も高くなっています（73.5%）。
- 支えてほしい人は、「同じ子どもを持つ保護者」が最も高くなっています（19.5%）。

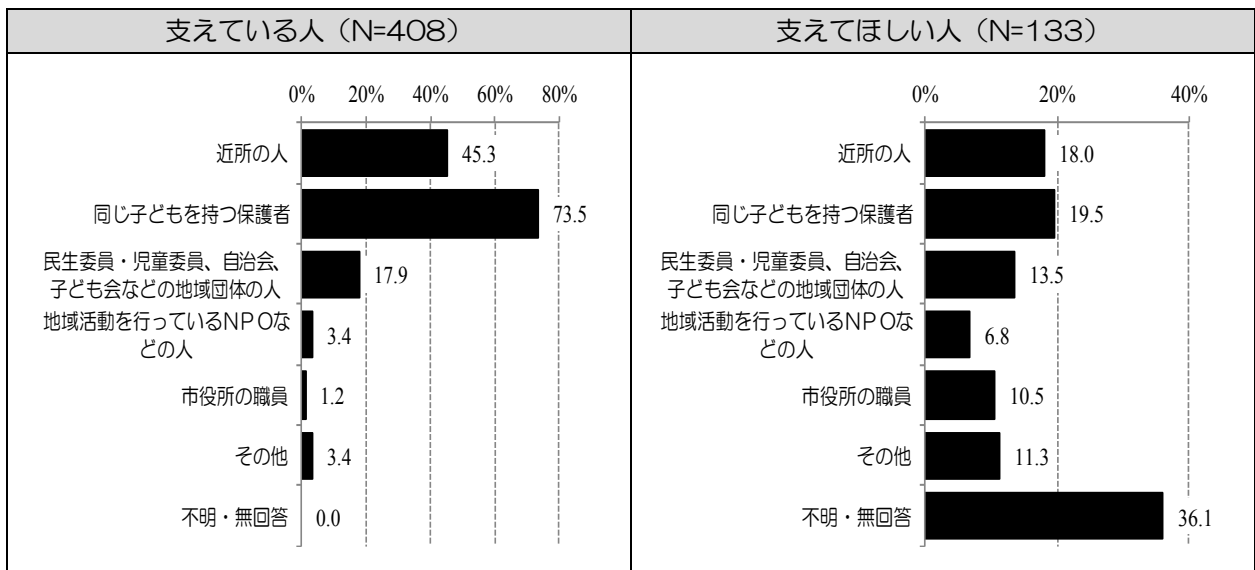


図 202 支えている・支えてほしい人